

『看護系大学に関する実態調査』

2017年度状況調査

■自由記載一覧

1. 看護系大学学部・学科、大学院の学生情報について（調査票項目 No3）
 - 1) 表 6. 卒業生、修了生の就職・進学状況（Q16）

2. 看護系学部・学科、大学院に所属する教員の研究活動について（調査票項目 No4）
 - 1) 表 7-1. 研究費の取得情報（Q17）

3. 公開講座について（調査票項目 No5）
 - 1) 表 7-3 A. 一般市民向け公開講座のテーマ数（Q18-A）
 - 2) 表 7-3 B. 看護職者等の専門職向け講座のテーマ数（Q18-B）
 - 3) 表 7-3 C. その他の講座のテーマ数（Q18-C）

4. FDとSDの状況について（調査票項目 No6）
 - 1) 表 8. A. 全学主催のFDのテーマ数（Q19-A）
 - 2) 表 8. B. 全学主催のSDのテーマ数（Q19-B）
 - 3) 表 8. C. 看護系学部・学科、大学院主催のFDのテーマ数（Q19-C）
 - 4) 表 8. D. 看護系学部・学科、大学院主催のSDのテーマ数（Q19-D）

5. 教員および学生の評価について（調査票項目 No7）
 - 1) 表 9-4. GPA制度の活用について（Q20-D）

6. 看護関連の研修および附属施設・研修機関について（調査票項目 No8）
 - 1) 表 10-1. 看護関連の研修事業の有無（Q21）
 - 2) 表 10-4. 財政基盤について（Q22-C）
 - 3) 表 10-5. 活動内容について（Q22-D）

7. 国際交流の状況について（調査票項目 No9）
 - 1) 表 11-8. 大学独自の経済的支援の有無（Q23-H）

8. ハラスメント、コンプライアンスに関する取り組みについて（調査票項目 No10）
 - 1) 表 12-3. 発生したハラスメント事例について（Q24-C）

9. 大学と実習施設等の教育連携について（調査票項目 No11）

- 1) 表 13-1. 実習施設の研修等における組織としての支援状況（Q25-B）
- 2) 表 13-2. 実習施設等と大学間における人事交流の制度や取り組み（Q25-D）
- 3) 表 13-3. 実習施設との共同研究や合同研修等の制度や取り組み（Q25-F）
- 4) 表 13-4. 実習施設の看護部等に対する臨床教授制度の導入状況（Q25-H）
- 5) 表 13-6. 臨地実習における課題や問題の内容について（Q25-I）

10. 保健師、助産師および養護教諭の教育課程について（調査票項目 No12）

- 1) 表 14-4. 保健師教育課程の実習における課題や問題の内容について（Q26-C）
- 2) 表 14-8. 助産師教育課程の実習における課題や問題の内容について（Q26-F）
- 3) 表 14-12. 養護教諭 I 種教育課程の実習における課題や問題の内容について（Q26-I）

11. 教育運営経費等について（調査票項目 No13）

- 1) 表 15-6. 看護系の学部・学科、大学院の学内研究費（Q29）

12. ご意見、ご要望（Q35）（調査票項目 No13）

Q16. 看護系の学部・学科、大学院の卒業・修了生の就職または進学状況を教えてください。

その他—記述内容

病気療養1名	学部:次年度、国家試験受験のため、就職・進学しないなど 大学院:不明1、未定2、無職1
研究生、就職準備、母国に帰国	保健師国家試験不合格
卒業後に就職活動予定	就職準備中
進路未定	未定、無職
国試に専念する	不明
不明	養護教諭等講師3、国家試験準備2、結婚1
家事従事	国家試験不合格のため入職を辞退1名、不明1名
進路再考中、就職活動中	未就職(就職を希望していない)1人
就職も進学もしない(2)、不明(1)	学部卒業生(就職せず=1)、修士修了生(未定=5)、 博士修了生(未定=1)
主婦	国家試験浪人
家居、国家試験準備	就活中1名、資格取得専念2名
(博士前期)現象ありの修士修了生 15人、未定 2名 (博士後期)現職ありの修了生 7人	未就職
就職活動、進路検討	就職、進学いずれもしなかった者
不明5人(修士)、起業1人(博士)	国家試験不合格
保育所就職、専門学校進学	不明、調査に未回答のため。
学部生1名:国試再受験、修士1名:進学も就職もしない。 修士7名・博士4名:社会人学生	不明
未決定	就職せず、国家試験合格に向けて準備をする。
就職浪人(看護師資格未取得のため)、未就職(課程の都合)、就職活動中	婚姻、就職しない、国家試験不合格
資格・進学目的の勉学、専業主婦、就職未内定者	就業先未定:2名
JICAボランティア1人、就職希望なし2人	【学部】家事手伝い2名、不明1名、看護師国家試験不合格3名 【修士】就職せず 1名
未定	就職希望なし
2名とも就職・進学していない。	就職未定
不明	なし
家庭に入る	就職活動中
育児、休養	就職を希望しない者、就職準備中の者

家族の介護(学部卒業生)、未定(修士修了生)	未定
①学部修了生 就職予定なし2名、未内定者1名 ②修士修了生 就職予定なし1名	国家試験不合格者(看護助手、アルバイト)
卒業のみ、就職しない。	未定
国家試験不合格、就職も進学も希望しない等	就職の意思がない者(1名)、足の治療を優先している者(1名)
NPO法人(看護職:非常勤)	無業者(次年度看護師国家試験に専念)
進学準備中・家事 各1名	無職
卒業後、移転の可能性がある等の理由で就職しなかった	学部・就職せず大学院・就職せず
未定	就職準備中1名、進学準備中1名
未就業(進学を目指している。)	未就職、未進学
①育児のため就職を延期。②子育てのため当分就職しない。	看護助手アルバイト 3人/介護職アルバイト 1人/就職準備中 1人/就職・進学の希望なし 2人/不詳 1人
未定	進学希望者で、次年度再度受験予定
出産し育児に専念するため	高等看護学院(保健師)2名、専修学校(保健師)1名
学部:在家庭2名	家事手伝いなど
①家業手伝い ②資格取得及び就職準備中	子育てに専念するため就職しなかった。
学部卒業生1名は平成30年度教員採用試験受験予定、 修士修了生の4名は社会人学生のためその他に計上。	教員受験予定2名、就職活動をしない1名
アルバイト、主婦	進路未決定2人(求職中1人、進学先開拓中1人)
家事手伝い等	未就職・未進学者1人
1名は、学校教諭(臨時的任用教職員(任用期間1年未満))	看護助手
無職(結婚のため退職)	国家試験不合格(自宅学習)
希望の就職や進学をするために浪人	家事手伝い
講師登録、既に就職している	保育園(看護師)・看護助手
休職中1名、アルバイト1名、不明1名	看護師国家試験を再受験するため
未定	就職先未定
在家庭	体調不良による進路未決定者
就職しない	国家試験不合格のため
その他8名のうち、7名は社会人学生、1名は修了後、就職活動をする、とのこと。	来年度就職予定
社会人入学者	就職未決定2名国家試験不合格者2名

2(表6 Q16. 卒業生、修了生の就職・進学状況)

就職活動継続	保健師課程(専門学校)
学部:就職希望なし、修士:現職1、就活中1、博士:現職3	家事手伝い(出産、育児)、アルバイトで次年度に国家試験再チャレンジ
非公開とさせていただいております	国家試験再試験準備中の者
未定	保健師等の勉強に専念
看護師国家試験不合格者	看護師国家試験不合格等の理由により就職していない。
国家試験不合格のため卒業後在家庭(3名)	就職先が確認できていない。
次年度公務員試験受験準備2名、体調不良1名	学部生:無職(看護師国家試験不合格のため就職内定取り消し)、大学院生:無職
次年度国家試験受験予定、進路未定	①パート・アルバイト ②就職活動中 ③国家試験受験予定
次年度国試に向けて勉強する	無業者
国家試験に専念、進路先は未確認	進学受験国試再受験勉強3名、就職活動1名(6/1決定)
修士修了生1名について、就職先・進学状況の把握ができていない。	資格取得専念1名
就職も進学もしていない。	看護師国家試験に合格出来なかった者。
国家試験不合格者2名、就職を希望しない者2名	その他1名は、就職していない。
2018.3月末現在で4月以降の所属が未定の者	国家試験不合格、進学希望
受験準備	家事手伝い
修学中の所属にそのまま在籍	看護師国家試験不合格のため内定取り消しとなった。
大学・大学院受験準備、就職活動継続、結婚、出産	

Q17. 看護系の学部・学科、大学院に所属する教員の研究活動についてお聞きます。

その他ー記述内容

独立行政法人国際協力機構(JICA)草の根技術協力事業 カンダラスタン郡の衛生教育改善のための学校保健室体制 の構築プロジェクト(カンボジア国)2017.2.28-2020.2.27	学長特別政策経費
岐阜県看護学生等県内定着推進事業費補助金	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会公益社団法人 日本小児保健協会
企業等との共同研究費	ひらめき☆ときめきサイエンスから採択されたもの
共同研究、政府・地方公共団体の受託研究費	企業等からの寄附金
寄附金(大学全体の研究教育経費となる間接経費を含むため 教育研究奨励費ではなくこちらに計上しました)	ひらめき☆ときめきサイエンス(日本学術振興会)
労災疾病臨床研究事業費(2016年11月申請数1件)(2017年4 月採択数1件)(継続件数0件)5850000円	挑戦的萌芽(6月内定)新規1件 1,170,000円。看護学部全 体に共同研究費として400万を配当し、申請のあった研究に 分配する。個人研究費としてQ29の金額を配当している。
民間企業との共同研究	地方自治体からの受託研究:2件企業からの寄附金(特別 研究費):2件
企業・自治体との共同研究費	継続:アジア・アフリカ助成事業[学振]
日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス」、文部科 学省補助金事業ほか	企業等による共同研究費
企業等による共同研究 継続2件(29年度入金額0円)企業 等による受託事業 継続1件(29年度入金額 1,987,200 円)、新規1件(29年度入金額1,614,096円)	科学技術振興機構の戦略的創造研究推進事業による委託 研究費
宮崎県による受託研究費	学校法人日本赤十字学園赤十字と看護・介護に関する研究 助成
・周防大島町に在住する高齢者の食生活の実態と健康上の 課題(周防大島町)・中等度のQRS幅の拡大を認める左脚ブ ロック症例に対するaCRTを用いた心臓再同期療法に関する 医師主導型臨床研究(MID-Q)(筑波大学)	なし
技術指導	440,000円
国立研究開発法人国立国際医療研究センター	総務省研究費「戦略的情報通信研究開発推進事業 (SCOPE)」2,951,000円
国際医療研究開発費	RISTEX
奨学寄附金 2件 400,000円	平成29年度放射線安全規制研究戦略的推進事業費
地方自治体からの研修委託費	教員に配分される個人研究費
総社市	滋賀県受託研究費
新潟大学脳研究所共同研究費	奨学寄附金
提案公募型研究費	鳥取県環境学術研費等振興事業
JICA:草の根技術協力事業	国際医療開発費

Q18. 2017年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

A. 一般市民向け公開講座—自由記載

健康増進外来の取組—指導しない糖尿病外来—	孫そだて
みんくるカフェの取組から—対話が生み出す地域力—	超高齢社会と在宅医療
アンチエイジングで老化予防(※複数回実施)	日本人の長寿を支える健康な食事を考える
認知症のケア(※複数回実施)	音楽療法
地域医療と看護職(※複数回実施)	感染・風邪予防
思春期の生と性(※複数回実施)	誤飲と肺炎
気にしていますか？メンタルヘルスについて(※複数回実施)	骨粗鬆症
薬物の心身への影響～薬物乱用防止～	塩分と高血圧
顕微鏡でみる生命のかたち(※複数回実施)	ロコモティブ・シンドローム
薬物・アルコールの心身への影響～依存症の予防に大切なこと～	一次救命処置(BLS:Basic Life Support)について
こころの健康を保つために	生活習慣病
人とのつきあい方-デートDVってなに？-	在宅における歯科医療と口腔機能向上について
抗加齢医学概論-老化予防の学問はどこまで進んでいるのか-	認知症予防に役立つ食事と生活
望まない妊娠をしないために、将来父や母になるひとへのメッセージ(※複数回実施)	トイレのことばかり気になる生活から一歩前へ
第16回市民健康セミナー	卒乳・断乳の時の大切なこと
医学部保健学科公開講座予防が第一 一緒に「健康づくり」を考えましょう！	共に乗り越える安産・沐浴のヒケツ
市民公開講座 知っておきたいこれからの重粒子線治療	子どもの事故予防と救急処置～アブナイカモ！と感じた経験ありませんか～
緩和ケア県民公開講座「地域包括ケアを考える?置かれた場所で咲くために?」	高齢者のスキンケア
健康を支えるキーポイントは睡眠・栄養・運動の三本柱	看護師が考える「やさしい」生活のすすめ
第8回看護生理学会 特別講演及びパネルディスカッション 作東バレンタインホテル 2017年9月9～10日	日本家族計画協会共催 女性のための健康応援セミナー
山梨県学校保健総合支援事業「子ども時代の生活習慣が及ぼす生涯の健康への影響について」	「地域とつながり健康に暮らす」—ほどほどの”おせっかい”の関係が支える—
学校保健委員会学習会「病気になりにくい体とは？今から実践、健康づくり！」	「”更年期”と上手につきあう」
2017年6月24日(土) 第7日 公開セミナー「生と死の倫理」	「世界から見る日本人の生き方」—幸福について考える—
2017年8月18日(金) 第13日 公開セミナー「子どもをまもる みんなのためのワクチンの知識」	子育てはおなかの中から始まっている
2017年9月2日(土) 第17日 公開セミナー「不妊・不育とこころの講演会」※午後	子どもの危ないを知って、子育て上手になろう
2017年9月30日(土) 第20日 公開シンポジウム「妊娠中からの気になる母子支援～次のステージに向けてから」	家族になろう

2017年11月22日(水) がんと生殖医療を考えるネットワーク OKAYAMA 第6回定期カンファレンス 公開セミナー「岡?県における妊孕性温存の現状と展望」	シリーズ不妊を学ぶ①私たちがらしい選択に向けて～不妊治療、妻の心、夫の心、そして夫婦の力～
楽しい孫育て講座	第1回こころの健康づくりシンポジウム～こころの病とこころの癒し～
高齢者の介護	シリーズ不妊を学ぶ②妊娠力を高める食事について考えよう!
第1回看護学科フォーラム「つ・な・ぐ」(看護職・看護学科在校生・卒業生・高校生・地域住民)	ライフサイクルノートを描きながら自分の生きてきた証を辿ろう
消費者セミナーぎふ 超高齢の中での生活を考える	阿品地区防災訓練救急法講習会
現代の子どもの心の問題	フジグランナタリー健康・介護フェア
ITが医療を変える	絵本で育む子供の成長
「最新の研究から家庭の保健・医療へ」ー明日からの健康のためにー	あいプラザまつり～食事に関する展示と相談～
アフェシス:治療が難しい病気に関する新戦略	廿日市市生涯学習フェスティバル～災害時に活用できる日用品の紹介・AEDの体験 ほか～
体の仕組みと健康について勉強しよう	安芸太田町シニア健康大学外部視察研修会「口腔ケアに関する講義・演習」
大切な人を亡くしたひとへのケア	夢あじなプロジェクト～ロコモティブシンドローム予防体操 ほか～
「加齢に伴う膝の痛みのおはなし」～変形性膝関節症の病態と治療～	変わる北海道の気候と自然災害
「関節リウマチのおはなし」～早期診断の必要性和治療の進歩・最新の知見を含めて～	災育から紐とく地域の安全
「骨の老化のおはなし」～骨粗しょう症(骨粗鬆症)の病態と治療～	乳がんの現状
「骨・関節の老化に対する運動」～実際に身体を動かしてみよう～	第13回リカレント教育: 肺の構造と気管支動・静脈の走行
「なぜ人は眠るのか。睡眠の重要性」	第13回リカレント教育: 結核と肺MAC症の診断と管理について
「不眠症の原因と対策」	精神科病院・高齢者施設で活かせる感染対策
「寝心地の良い寝具とは」	数学のひろがり37 ～「素数はめぐる」～
「病気と睡眠障害」	数学のひろがり38 ～「一筆書きの数学」～
秋にこころとからだを整えよう	数学のひろがり39 ～『原論』をつくった人々～
精神科ピアサポート勉強会(月に1回程度＝年間合計約10回)	健康で長生きする生活習慣とは
精神科ピアサポート研修会 2回	高齢期の生活における危機とその管理
オープンダイアログ講演会 1回	乳幼児の病気と自宅で実践できるホームケア
テキストマイニングの世界-看護研究のためのテキストマイニング-	小学生向け しごと体験メディカル・キッズ
地域包括ケアの実現のための地域運営組織とその仕組みー山形県川西町きらりよしじまネットワークの仕掛けー	小学生向け 認知症体験学習会
生活困窮者の支援の現況と課題～特定非営利活動法人仙台夜まわりグループの活動～	一般向け 高齢者の耳の聞こえ
建築学の立場から考えるケア～震災のコミュニティケア型仮設住宅・サポートセンターの経験から～	認知症の理解と予防

小児看護と家族看護、そして家族への心理的支援について	がんと向き合い自分らしい生活を送るために
みんなで考えよう地域福祉～知って安心、てんかんのこと	生活習慣病の予防と進行を防ぐ暮らしのコツ
遺伝について楽しく学ぼう	知っていますか？ 緩和ケアのこと
中高年の生活習慣病対策と認知症予防	上手な救急外来のかかり方
「ニューロエシックス(脳神経倫理)について」 第66回新潟生命倫理研究会	在宅での看取りについて
「新潟薬科大学における生命倫理、医療倫理の取り組み いまどきの臓器提供、患者・家族の意思を叶えるために ～新潟県、ドナーアクションシステムの構築～」 第67回新潟生命倫理研究会	「町の保健室」事業
子どもの成長と睡眠-スムーズな就学を迎えるために-	高齢者のロコモティブシンドローム予防講座(3回)
生活習慣と感染予防	睡眠講座(4回)
第9回公開高血圧講座「高血圧に負けない 上手なつきあい方」	心の健康講座(2回)
高齢者への高齢者疑似体験会	ストップ・ザ・脳卒中
血糖値改善教室(2件)	子どもの病気・事故 こんなときどうしたらいいの？
大学院保健科学研究院公開講座「ようこそ！ヘルスサイエンスの世界へ」	高齢者と子どもの世代間交流の実施状況とその影響
医療事故に学ぶ医療安全	～タッピングタッチでリラックス～
薬物相互作用～身近な薬から食品まで～	介護予防・介護する人の支援「体力測定会」
「老い」を支えるということ	がんサポートプログラム「おしべりカフェ」
病気の子どもの自立にむけた療養支援	ナイチンゲール看護覚書を読む
いい歯の日～ずっと自分の歯でおいしく食べましょう～	遺伝リテラシーって何？
がん予防に役立つミニ知識講座	リラクセーションを取り入れた健やかな生活を目指して
すこやかに生きる「ロコモティブシンドロームをご存知ですか？～美しいエイジングとは～」	家庭で役立つ看護技術
がん患者・家族を癒す緩和ケアの実際	みんなで支え合う地域づくり
市民ランナーのためのランニング科学講座	エイズと共に生きる力
市民ランナーのためのランニング科学講座 in 久米島	人生の終盤を豊かにするために
世界の高齢化と健康寿命	日本武道の美
地域で守る子どもたちの未来ー知っておきたい子どもの救急リテラシーー	姫路市シニアオープンカレッジ(全5回、テーマ:幸せに生きるための秘訣)
地域を支える救急医療ーとっさの時、あわてないためにー	認知症の新知見と予防からケアまで
健康生活に役立つ運動のヒント	メタボよりこわい慢性腎臓病

「1日1個のリンゴで医者いらず」を科学する	脱水予防
障がいを抱えても自分らしく生きるために	笑いの効用
変化する社会保障制度の背景を理解しよう！	おじいちゃん・おばあちゃんの孫世代育て
県民課題としてのヘルスリテラシーの向上	食事に含まれる脂と油
自分のヘルスリテラシーアップに挑戦しよう	高齢者の睡眠と睡眠障害への対応
皮膚のアンチエイジングで健康で長生きしよう	大人のスキンケア
がんの予防ーさまざまながんをどこまで予防できるか、具体的に考えるー	地域貢献と食-最近の知見の紹介-
認知症サポーター養成研修	冬の脱水予防
認知症サポーターステップアップ講座	インフルエンザの予防
「健康と介護予防について考える」	スキンケア
災害につよい街づくり	冬場のヒートショックの予防
健康づくり講座	いきいきすこやか食生活
「医療者・患者への抗がん剤曝露予防を考えよう」	ほっとハート心臓のお話
夏休み親子科学教室:ペットボトルで顕微鏡を作ろう、体の中を探る仕組み	体のコリを和らげるヨガ(呼吸とストレッチ)⑮人生100年の過ごし方⑯お口の健康⑰いきいきすこやか食生活パートⅡ
一般医療教育:車椅子は「イス」?それとも「車」?	人生100年の過ごし方
一般医療教育:日常生活動作の介助方法と工夫	お口の健康
一般医療教育:脳卒中を予防しよう!脳卒中予防のための10か条	いきいきすこやか食生活パートⅡ
一般教育:介護を通じた家族と認知症の理解	第1回「しなやかに健やかに暮らす知恵」 認知症にならないために そして認知症になったときには
看護学におけるリプロダクティブ・ヘルスケア～児童養護施設の思春期女子を対象にした個別ケアの実際～	第2回「しなやかに健やかに暮らす知恵」 わたしたちの災害復興支援「きみはひとりじゃないーつながりから始まるビルド・バック・ベター」
介護のにおける腰痛予防	第3回「しなやかに健やかに暮らす知恵」 がんになっても健やかに生きるには
災害に備えるー熊本地震から学ぶー	第4回「しなやかに健やかに暮らす知恵」 こころの健康を保つには
総合人間学①ダイバーシティマネジメントができる優秀な人材育成	第12回国際セミナー (Globalization and Health Care/グローバルイノベーションとヘルスケア)
総合人間学②空間デザインかたみた地域創生のためのまちづくり	第13回国際セミナー (Disaster and Healthcare/災害とヘルスケア)
総合人間学③みんなで支える明日の社会	転倒予防について
総合人間学④がんと共に生きる患者・家族の支援	あなたの体、血管は大丈夫ですか?ー減塩食・低脂肪食の秘訣ー
総合人間学⑤オモイをカタチに～学生の力を被災地につなぐ～	健康寿命を延ばすために大切な骨密度ーあなたの骨は強い?もろい?ー
総合人間学⑥いま地球は病気です～温暖化と食と異常気象～	看護学生になってみよう!

総合人間学⑦県議会の仕組みや役割、議員活動等について	健康教育
総合人間学⑧グリーンフ:その理解とナースの役割	退院後の生活に役立つ知識
肺の病気と栄養について	孫育て一子どもの遊び一
知って得する糖尿病との付き合い方(公開講座)	心の健康
糖尿病との付き合い方(愛育委員対象)	回想法で若返り
思春期の子育て～知っておくと安心な知識と子育てのポイント～	コツコツと運動、健康生活
出生直後の新生児のケア(高校生対象)	自分で始めよう!!かんたん認知症予防。
医療と自己決定(吉備創生カレッジ)	「死」と「看取り」を考える-超高齢・多死社会を生きる私たちに必要なこと-
がんに罹患した後の人生を力強く生きるために	COPD(慢性閉塞性肺疾患)ってどんな病気?-COPDとうまく付き合っていく方法-
慢性病と共に生きる～慢性腎臓病との付き合い方～	脆弱な皮膚と褥瘡とナイチンゲールの「看護覚え書」
学ぶことは生きること	高齢者介護の行方-秋田看護福祉大学での研究を振り返って-
災害と保健福祉	生活習慣を見直してみませんか。-糖尿病予防行動は健康の源(みなもと)-
日常の健康管理に生かす看護技術-そうだったのかバイタルサインの測定と感染予防の方法-	貴方の血圧、健康大丈夫?
がんって何?-キーワードは「早期」-	「妊婦さん集まれ」地域活動と共同開催
男女共同参画者社会に向けて「女性がイキイキとはたらくために」-女性の体と心の変化を知る-	ブラジル アマゾナス州 マナウス市に暮らす日系人の人々
O型慢性肝炎患者の語りから学ぶもの	認知症の知識と家族ケア
自死遺族の語りから考える～レジリエンスを促進するものとは～	元気な時から考える医療事前指示書
吃音の合理的配慮を考える	人生の節目と心の健康
夏休み からだとこころの科学塾2017 不思議・びっくり!からだの世界	「心と表情」の医学
「飲み込む」ことの重要性について	意外と知らない低血圧の話
家庭や施設における子どもの怪我、事故の対処法	模擬患者養成講座
あなたの記憶力はどのくらい!?	吹田市健康展「助産師になりたい人への相談コーナー」
医療崩壊の現状	生涯学習吹田市民大学:千里金蘭大学キャンパス講座「家族構成の変化と健康長寿」
地域包括ケア時代ってなあに?	法と人間
血液ドロドロと血液サラサラのウソとホント	ヒトは動物と生きていくためにどうすればいいのか
感染症予防の基本を身につけよう	人間関係を深めるコミュニケーション～看護のテクニックを用いて一緒に考えてみませんか～
第15回脳を見るシンポジウムin三原	日本二百名山を踏破、次なる挑戦へ
頭と体をフル活用!簡単エクササイズ講座	いつまでも元気に歩ける知恵と工夫

家族支援の実践実技講座	食事介護の知恵と工夫
脳と身体のいきいきトレーニングー認知症予防講座ー	歯と口腔の健康:いつまでも美味しく食べるために
地域包括ケアにおける専門職連携と地域への働きかけ	足の健康:自分でできる足のトリートメント
健やか子育て講座	元気に歩き続けるための足と靴
高校生のためのプレママプレパパ教室	高齢者の健康づくりと介護に活かすインターネット活用術: ネットサーフィンを一緒に
健康長寿体験型セミナーin 土佐清水市「物忘れから始める認知症予防」	自然災害の被害の実際:「もしも・・・」考えてみましょう
健康長寿体験型セミナーin 安田町 Part1「認知症になってもいい まちづくりとは」	心とからだも楽ラク認知症介護～対応のヒントを知って楽しましょ～
健康長寿体験型セミナーin 安田町 Part2「認知症になってもいい まちづくりとは」	『未病からさきがけの医療へ』つなごう健康の和・輪・環！ ー
健康長寿センター第2回公開講座「～効果的な生活習慣病予防・重症化予防を目指して～ヘルスリテラシーを高めるための援助とは」	糖尿病と上手につきあおう！
プレパパ・プレママセミナー	スポーツにおけるけがの防止
COC市民公開講座「地域住民が育てる大学生」	2017年度山陽学園文化セミナー「生活にいかず看護の知識ー依存症についてー」
COCフォーラム「COC事業5年間の取組みと地域連携教育」	2017年度山陽学園文化セミナー「大人のためのライフスキルトレーニング」
職場のメンタルヘルス	健康科学概論
がんになったらどうする？-あなたに贈る3つのヒント-	生活習慣看護論
精神障害者家族による家族自身のリカバリートーク～私たちは何を体験したか～	ターミナルケア
女性のための健康講座 -アロマやエクササイズを活用したセルフケアのすすめ-	家族看護論
感染予防としての手洗い-自分の洗い方を見直してみませんか-	心の病気を知る
市民と共につくる看護学教育ー看護教育における模擬患者参加型演習	こころの病をもつ人と共に
まちの健康応援室 ×4回	こころの病をもつ人と共に～力をあわせて～
ナースが推奨する自然療法の活用「アロマセラピー」	おりぴい健康マイレージ 食生活と生活習慣
健康情報学-健康・医療の情報を賢く判断し選ぶために-	おりぴい健康マイレージ 知っておきたい休養の心得
メンタルヘルス講話とストレスチェック	おりぴい健康マイレージ 健康と運動習慣
話を聴いてもらっていますか・話せていますか-患者として主体的に治療に参加するため-	認知症サポーター養成講座
地域の介護力を活かす ー認知症当事者・家族の語りを看護の力にー	彩の国コンソーシアム公開講座(生活不活発病を改善するうつ伏せ姿勢のすすめ)
虐待を受けた子どもたちを考える	アクティビティ・ケア 健康づくりサポーター養成講座
こころの健康維持のために	よりよく生きていくために必要な医療・看護の倫理
糖尿病の生化学的知識	がんになっても自分らしく生きてゆくために

人生を振り返る	床ずれを予防するために、在宅の日々の生活で必要なこと
生命を守る皮膚と創傷治癒システム	見つめなおそう 自分の身体を！
“がん”についての予防教室（所在地域主催のがん検診会場）	日常生活の見直しから始める認知症予防～水分について～
佐久総合病院と今後の地域医療	日常生活の見直しから始める認知症予防～食事・運動について～
産み育てることに目を向けて	始めよう、食生活改善！ ～ひと目でわかる栄養バランス～
子どもや家族とともに創造する看護を目指して	がんは治る、がんによる死を防ぐために
市民公開講座 避難所運営どうする？ HUGを体験してハグレない防災力を！ ～台風・地震等自然災害への備え～	自動車運転再開に対するリハビリテーションの支援
これからパパ・ママになるあなたへ ～赤ちゃんをお風呂に入れてみよう～	幸手市30周年から「成長のまち」へ ～未来につながる幸せの手～ 講演①成長のまちづくり ②あきらめない子の育て方
特別市民公開講座 子どものアレルギーの基礎知識とケア	共に乗り越える安産 沐浴のヒケツ
第5回地域連携セミナー いつまでもおいしく食べるために～食べること、飲み込むことについて知ろう～	まちの保健室(ひがしが丘保健室) 2回開催
昭和生涯学習センター共催講座 第2回公開講座「こころの元気の素①～意識を変えて身体と能をリラックス！～」	抗糖化ライフで老化予防
昭和生涯学習センター共催講座 第3回公開講座「こころの元気の素②～世代を超えたコミュニケーションを考える～」	先人に学ぶ 心と身体の健康
昭和生涯学習センター共催講座 第4回公開講座「こころの元気の素③～新しい視点の見つけ方～」	健康のためのナース活用法 ―ナースは何者？何を提供できるのか―
温泉の楽しみ方と入浴法	に美の生活を整えるところから
幸せに生きる医学	脳の健康を考える
長寿の秘訣！これならできる運動のススメ	知っておきたい高齢者の目の病気
せん妄をご存知ですか	鼻呼吸と腹式呼吸の重要性
ケアマネジャーって何する人？どうつきあう？	ハハ歯の笑顔で快適生活 ～歯の健康を一緒に考えよう～
笑ってすこやかいきいき人生―4つの健康を目指しましょう―	性の多様性について
健康長寿社会の実現を目指して	世界的リーダーから引き継いだ社会貢献への情熱と真のボランティア精神について～東大&ハーバード流リーダーシップを学んで得た知見～
最期まで自分らしく生きるために	”しあわせホルモン”を活性化して生ききろう！～うつ病と自死の予防～
看護の視点でみる身体のしくみ	「パパとママのための育児体験教室」
リラクゼーション講座2018年度(前期)	聖母病院との共同開催 介護予防講座「聖母お元気倶楽部」
リラクゼーション講座2018年度(後期)	健康づくりリーダー養成講座 初級編(全3回)
親孝行手帳―お家で介護する人のための基礎知識―	健康づくりリーダー養成講座 中級編(全4回)
地域住民の感染症予防スキルアップ事業、ユニフィケーションシステムによるヘルスプロモーション推進事業	パートナーと一緒に過ごすマタニティライフと出産・育児

マザークラス田川	子どもの健やかな成長のために～子どもの成長・発達と家族の役割～
マザークラス福岡	発達障がい児との関わり～実践していることのいくつかについて～
健康大使への継続教育	老いてこそ輝く 自分らしく生きる
筑豊市民大学・ヘルシーエイジングゼミ	防災&福祉でつながる地域づくり
健康教室(ヒーリング)	学生の地域活動から防災×福祉を考える
「癒しの空間」の管理運営	市民公開講座「動脈硬化による心臓病と高血圧のお話」
職によるヒーリングパワー	看護の日「看護の日、それは健康への気配りの日」
女性と子どものためのスペース「ら・どんな・まんま」	ヨコハマ大学まつり「素敵なナースになるために！」
性の健康に関する事業(布ナプキン作成、マンスリーブス、月経なんでも相談、性教育)	横浜創英大学公開講座「薬害について学ぼう」
エンド・オブ・ライフケア教育	発達障がい児の理解と適切なかわり方～ライフステージを通じた支援～
こころの病気・精神疾患を知ろう(2)	認知症にならにための対策講座
サルコペニアって何?(2件)	危機管理時(災害時)の保健・栄養・食生活
知って防ごう熱中症	「こころ」と「からだ」の健やかさを育む「食」のち・か・ら・
楽しく・おいしく減塩しましょう!(2)	生活習慣の改善でがんを防ぐーパート5ー
タッピングタッチでこころも体もリフレッシュ(3)	男女共同参画社会のウィメンズヘルス
知っておこう!こころの病(2)	私が、家族が認知症になる前に知っておきたいこと
日常生活の中で運動を!(2件)	楽しく楽しい孫育て
社会的活動としての話すこと・聴くこと(2件)	心の健康と自分らしいストレス対処
呼吸法と瞑想で心と体をすこやかに!(2件)	健康は足元からーとっておきスペシャルー
災害発生から3日間の健康管理(2件)	もしあなたが手術を受けることになったなら～備えあれば憂いなし～
ストレスをふっとばせ	たかが睡眠、されど睡眠ー知って得する睡眠のメカニズムと睡眠障害
薬に関する四方山話(2件) ほか	自然災害に備えるこどものチカラを高めよう～今日からできる備え～
アピアランス(外見)の心理学	健康寿命を延ばそう! <第2回> 体の非常識に学ぶあなたの健康常識
地域住民と専門職の連携協働による地域づくりの方法ー高齢化が進んだ住宅地の活動からー	健康寿命を延ばそう! <第3回> 心の面から 健康寿命を考える
男女の違いから育児の本質を探るー産後における夫婦の相互作用の研究よりー	コンピュータ科学の医学応用と未来
家族が乳がんと診断された時の考え方と取り組み	アミノインデックス技術の臨床応用:近未来の健康診断
支え合う地域社会	NKK「ためしてがってん」:がん検診
多胎育児仲間の力	市民公開講座6件

子どものホームケア	看護の日「地域住民の健康意識の増進を図る事を目的に健康相談・ヘルスチェックを行う」
人口で見る仙台の過去・現在・未来	市民公開講座 看護の科学「災害と看護」～災害に備える身体と心の準備～
介護の現状とこれからの展望	水戸市主催 危機管理学セミナー「避難所生活に備えよう」
からだにやさしく科学的な健康づくり(運動)のコツ	こどもの応急手当 救急処置
からだもこころも生き生き健康生活(5回)	健やかに生きる「母子の心身の健康」
神話のふるさと県民大学(6回)	褥瘡の基礎知識
「輝く人になりましょう～思春期の皆さんに伝えたいこと～」(3回)	親が輝けば子も輝く
子育て講演会(4回)	健やかな睡眠
「電子メディア社会の子どもたち」	安全な車椅子の使い方
健幸への道しるべ	計ってみよう心の疲れ 守ろうこころの健康
「山形発・地元ナース養成プログラム」の取り組み～地域で暮らすあなたを守るために～	視覚・聴覚障害者と補助犬(盲導犬・聴導犬)の日常生活を知ろう
「え？まさか、私(家族)が患者になるなんて…」ー受診・通院・入院する 患者術ー	「超高齢社会における生活支援に向けた地域産業創出を考える研究会」第7回講演会
特性を活かしたまちづくりー山形の生活文化と保健医療福祉の現状ー	生き生きプラザ斑鳩開館10周年記念イベント
ストレスとの上手な付き合い方	第3回目「リ～べるカレッジ」
お手軽な運動でロコモを予防しましょう	教職員自主支援 大学オープン講座(夏季講座) 明日から使える！学内での急変・救急時の対処法
いい汗かいて熱中症を防ぎましょう	関西文化学術研究都市7大学連携「市民公開講座2017」
はじめよう！ フットケア～自分の健康は自分の足で～	第3回奈良学園大学シンポジウム「社会を生き抜く力を育むー未来を拓く教育とはー」
身近な病気やけがのウソ・ホント	公開講座「登美ヶ丘カレッジ」最新痛みのリハビリテーション～痛みの病態に応じたケアを考える～
自分に合った「転げん」ための秘策を考えましょう	笑いの力は素晴らしい
子どものこころの育ちについて	知っていますか？正しい手洗いの方法
ポジティブ心理学介入の発展と実践	意外と知らない、光の効用 ー太陽光をうまく活用しようー
頑張らない運動で「ロコモ」を予防しよう	ロコモティブシンドロームとは？ー自分の身体を知りましょうー
家庭でできる(冬の)子どものからだ作り	音楽で心と体を原器にしよう!
生活を豊かにするアロマセラピー&今日からできる簡単エクササイズ	病気をしながら子どもは育つ
摂食嚥下(食べること・飲み込むこと)のメカニズムと誤嚥予防～いつまでもおいしく食事をするために～(①のテーマで2回実施)	実践！発達理論から考える子育て・子育て
生き生き健康づくり ～フレイルって何？楽しく学んで、元気に暮らそう～	災害発生！72時間、自分の命を守れますか？
支える側が支えられる時ー認知症の母が教えてくれたことー	あたま元気で過ごすために～老熟という生き方～

生活の質を高める健康習慣とは	栄養は健康長寿のカギ
無駄の要	元気に暮らそう!!～あたま・からだ・こころ～
過去を振り返らず、未来を不安に思わない	あなたの身体は大丈夫?～100歳まで元気に活動するために～パート1
あなたの知らないフルーツの不思議	あなたの身体は大丈夫?～100歳まで元気に活動するために～パート2
ルーツを求めて～笛とともに～	おいしく食べて元気に過ごそう
ゆんたくしながらヘルスアップ	お肌の元気はからだ元気
相手の立場にたって考えるとは	みんなで楽しくウオーキング (2回)
子どもの応急手当	話し上手と聞き上手～ストレスのない上手なお付き合い (2回)
健康づくり	認知症について知っておくといひ話
キネステティックで学ぶ	看護学部リレー講座「生涯を通じた女性の健康」—いきいき健康に過ごすために—
メンタルヘルス研修「こころと体の健康づくり」	看護学部リレー講座「看護におけるコミュニケーション」—信頼関係を築くために—
認知症について知ろう	健康を繋ぐ ～健康寿命という新しい考え方～
チャーがんじゅう健康生活	限りある人生を楽しもう ～認知症予防につとめる～
千三百年の歴史を未来につなぐ「東京スカイツリーの秘密を語る」	エイズについて知ろう
アロマで心と身体のリフレッシュPart.12 (全3回)	骨密度の測定と骨粗しょう症予防骨密度測定
ママと赤ちゃんのヨガ教室 (全2回)	お母さんの元気は家族の元気身体測定、ストレッチ体操
出産前後のからだ作り講座～温活塾～ (全5回)	育児のリフレッシュ “笑いヨガ”で心と体のストレッチをしましょう!
前向き子育てのための親講座 (全4回)	子どものからだところの発達
模擬患者(SP)養成講座 (全5回)	“フレイル予防、あなたと私一緒に踊ろう!”2017「聞き書き」
口からの生活習慣病の予防～歯科保健～	“フレイル予防、あなたと私一緒に踊ろう!”2017「歌うことは口腔ケア」
地域包括ケアシステムにおける看護の役割～未来につなぐ訪問看護の力～	“フレイル予防、あなたと私一緒に踊ろう!”2017「認知症の人の暮らしと終末期ケア」
笑い健康(2回実施)	子どもから大人までのファーストエイド入門講座
高齢者の健康(老化に伴う心と体の変化、栄養と食事等)	超高齢者の口腔機能向上へのアプローチ 講師:三浦 宏子
格好良い年の重ね方～体のメンテナンスについて～	声と発音のトラブル 京都学園大学健康医療学部 苅安 誠
信頼関係をつくるコミュニケーション	難聴と耳鳴り 京都学園大学健康医療学部 松平登志正
薬の常識・非常識	失語症とコミュニケーション 京都学園大学健康医療学部 吉村貴子
飛びつく前に考えよう～健康食品の正しい利用法～(2回実施)	私がお化粧をする理由
心の健康づくり～心は泣いていませんか?～	自分らしい最期を迎えるための準備について考えてみましょう～延命治療って何?～

2型糖尿病と診断されたら・日常生活をよく観ることと守りたいABCDE	高齢者看護の視点から—認知症予防最前線—
防災・減災セミナー「災害への備えを学ぼう！-できることから始めよう-」	健康を維持するための食生活
アロマのハンドマッサージでリラックス-ハンドマッサージを体験してみよう-	知って得する認知症対策！認知症になりにくい身体づくり
ずっと、いきいきと暮らすための知識～あなたは大丈夫ですか？～	高齢者に起こりやすい健康障がいの理解
認知症予防～今から始めてみませんか？脳と身体を使ったエクササイズ～	床ずれ予防
県民大学「自分で伸ばそう 健康寿命」～身体と心のスマート・エイジング～	認知症の予防と対応
IC看護講演会 終活のすすめ 安心して旅立つためにあなたができること	うつ病に備える
第3回公開講座「防災対策について考える～自助、互助、共助の観点から～」	共に暮らす地域の力
地域連携フォーラム	腰痛をほったらかしにしない
市民福祉大学講座	パラスポーツってどんなの？
子ども支援セミナー	みんなで考えよう 子どもの事故!
ベビーピクスでみんな一緒にリフレッシュ	脳に人工知能をつなぐ時代へ
あなたの骨は健康ですか？(吉備国際大学公開講座 まちなかゼミナール)	「めまい」との付き合い方
介護のポイント！-お互い楽な動作のために-	地域で暮らし生ききる
アレルギーのある子供の身体と心のケア	看護の人間学 —寄り添い—
地域で育もう子供の未来～子ども虐待の防止に焦点をあてて	方言から見る 鳥取の文化
保健気功でこころとからだを寛放する～毎日できる簡単な保健気功をたいけんしてみよう～	「看護の日」とナイチンゲール
自分らしく生きるヒント 高齢期のアドバンスケアプランニング	地域と看護
食事と認知症予防～最期まで美味しく食べるソフト食～	一生元気に食べましょう～健康な食生活を送るために～
災害の多発する時代に生き抜く知恵と支え	アロマセラピーでリラクゼーション
認知症になっても地域で幸せに暮らすために	豊かな暮らしのために
平穏死のすすめ	脳と老化
新たな薬剤耐性菌の時代	育児不安・困難について考えてみよう
地域医療と住民参加	我が国の抱える精神衛生の課題
いたみと健康	認知症の人の環境づくり
不妊治療の現状について	専門家が語る健康・福祉・癒し
不妊治療の体験を通して	からだど心の働きのちょっとした変化と今日からできるケア なんとなく気になるがんのこと～がんの予防と早期発見～
いのちの泉-目の前の患者さんと共に-	からだど心の働きのちょっとした変化と今日からできるケア 健康につながる手のケア

ノロウイルス感染症と予防	からだと心の働きのちょっとした変化と今日からできるケア 触れて気持ちを伝えるケア
からだのタンパク質の働きと病気	からだと心の働きのちょっとした変化と今日からできるケア 認知症の人の世界から見えるケア
花粉症・熱中症と気象との関連性	からだと心の働きのちょっとした変化と今日からできるケア 心と身体の宝をほりおこそう～健康体操で生き生き暮らそう～
ふじさわプラス・テン大交流会～成果報告とこれからの広がり～	一宮研伸大学開学記念公開講座「その人らしい旅立ち」を支援するために
公開講座「スポーツと健康」	生活習慣と健康
脳活き活き！認知症予防アクティビティの実践（公開講座の授業の一コマ、90分）	住み慣れた地域での在宅ケア
足元から元気！ “自分の足のこと”知ってみませんか	子どもと家族の健康増進
アロマでリラックス ～明日への活力をつけよう～	平成29年度 市民公開講座「豊かな子育てにつながる地域づくりーアロマザリングの視点から考えるー」
いつまでも元気！ しっかり栄養がとれる食品の紹介	《老活》のすすめ —最期まで自分らしく生きるために—
知ろう！ 理想の体成分バランス♪	地域包括ケアシステムについて
測って知ろう！ 血管年齢	看て護る人たちの感情労働
わくわく測定2017	身近な人を看て護るー実践編ー <その1>人が倒れていたなら
女性ホルモン(エストロゲン)なくなったらどうなる？(市民講座)	身近な人を看て護るー実践編ー <その2>けがや急病の手当て
市民公開講座「脳卒中の予防について」	身近な人を看て護るー実践編ー <その3>おいしく食べる工夫
市民公開講座「冬場に流行する感染症を予防するための方法」	地域の人々とともに命を育む
市民公開講座「コミュニケーションと健康」	身近な人を看て護るー実践編ー <その4>排泄と皮膚のケア
市民公開講座「最期まで自分らしく暮らす-訪問看護を上手に使おう-」	地域の人々とともに認知症の方を看て護る<その1>認知症の方とそこご家族への理解
市民公開講座「こどもの夜尿症について知っておくべき基礎知識」	地域の人々とともに認知症の方を看て護る<その2>認知症の方とそこご家族を支えるネットワーク
市民公開講座「いざというとき困らないために」	幸せな人生の最期を看て護る
市民公開講座「肺の健康を考えよう」	地域の中で精神障がいのある方を看て護る
市民公開講座「こころの健康 マインドフルネス瞑想をやってみよう」	地域包括ケアシステムの運用について
認知症になっても安心して暮らせる地域づくり	看護学部×千葉市市民公開講座「健康×生き方×情報」をデザインする①病院と薬に頼らないソーシャル健康法
いつまでも元気で動けるために～自分の体を知ろう！ 対策をたてよう！～	看護学部×千葉市市民公開講座「健康×生き方×情報」をデザインする②ひっぱらないもちあげない楽々介助技術
地域とともに生きるを支援	看護学部×千葉市市民公開講座「健康×生き方×情報」をデザインする③ケガ予防のちょっとしたコツ
よりよく生きるーよりよく支える医療ー	看護学部×千葉市市民公開講座「健康×生き方×情報」をデザインする?ワークショップ講談ー最後まで食べる
よりよく生きるー脳卒中予防の10ヶ条を知ろうー	看護学部新設公開講座「病とともにまちで暮らすーがん哲学外来がもたらすエンパワーメント」
子育て世代をよりよく生きる	看護学部新設公開講座「キャリアデザインとケアー私が出会ったしなやかでたくましい看護師」

よりよく生きる—認知症を予防しよう—	オープンキャンパス公開講座「私の新卒訪問看護奮闘記」
生と死—安らぎと希望のうちに生きる—	オープンキャンパス公開講座「まちとともに育つ、まちとともに歩む、これからの看護教育」
「がんとともに、その人らしく生きる」を支える	オープンキャンパス公開講座「語り合おうしなやかにたくましく働く」
「健康情報を見極める力を身につけよう！」	オープンキャンパス公開講座「地域ケアを変えるテレナーシング」
「みんなでやろう認知症予防！」	オープンキャンパス公開講座「障がいと共に街で暮らす」
「備えて安心！認知症」	看護学部公開授業：地域に貢献するたくましい看護師・私が出会ったしなやかでたくましい看護師
「『グローバルな自分』を育てよう」	元気な脳のつくり方 ～脳の健康を科学する～
健康情報の探し方、選び方、使い方を学ぼう！（いなかもち学習プログラム）	リンパ浮腫のセルフケア（自己管理）【看護職者等も含む】
「健康に過ごすためのこころとからだの使い方」	知って得する介護保険あれこれ—今日から始める介護予防—
「住み慣れた場所で健康に暮らそう」	4年制大学で看護のことを知ろう（自分の体を調べてみよう）
「今、考えよう、自分の最期の過ごし方」	楽しい子育ての向うには
働く女性のためのプレママ教室	足揉み入門講座
まちの保健室におけるミニ講話	救命救急訓練
子どもの貧困とその支援の最前線	生きがい教室「あなたは健康ですか」
認知症予防運動（体操）：3回実施	乳がんという病気を知っていますか
家族に病人・介護を必要とする人を抱えた時、家族メンバーはどう対処する？	生きがい教室「ストレスと上手に付き合う方法」
親ががんになった子どもの心に寄り添う：3回実施	生きがい教室「健康長寿を延長するために」
おいしく食べる —お口の中を清潔に	足から健康になる
子育て支援	美しく年を重ねるヒントシリーズ
くすりを正しく使用するために	

Q18. 2017年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

B. 看護職者等の専門職向け講座－自由記載

地域へつなぐ・地域でつなぐ・退院支援と地域連携	文献検索の基本～看護研究の論文を探す・入手する～
退院支援スキルアップ講習会	さあはじめよう看護研究～研究計画書の書き方まで～
中堅期保健師の役割について(※複数回実施)	患者の安全を高めるTeamSTEPS(充実編)
保健師教育と現任教育について(※複数回実施)	認知症の理解とケア
個別支援・保健師の専門性	はじめよう！フットケア
育ちあう現任教育(※複数回実施)	わかりやすいプレゼンテーションのやりかた
保健師の個別支援の視点と事例検討の意義	高齢者の皮膚をまもる－スキンケア(皮膚裂傷)の予防と管理－
子どもの健やかな成長と育児支援	自分を活かし後輩を活かすプリセプターシップ/パートナーシップのあり方
保健師のキャリアに応じた人材育成	エンゼルケア・エンゼルメイク(被災地での活動も含めて)
保健師の看護過程・家族看護の視点の理解	認知症を抱える方のための食事支援
がん看護ジェネラリスト研修(※複数回実施)	災害看護講座:シミュレーションで学ぶ避難所ケア
認定看護師による看護フェア「看護体験と看護相談」	あなたの修士論文、眠らせないで論文投稿へ
産科出血の基礎知識と対応	臨床実践に活かすためのせん妄のとらえかた
エンド・オブ・ライフ・ケア研修会	がん患者および家族への緩和ケアについて
えひめ排泄ケア研究会 第1回・第2回 東予地区・中予地区・南予地区 勉強会	看護職へのリカレント教育、身体感覚活性化「世にも珍しい」マザークラス医療者向けセミナー
第15回日本小児がん看護学会学術集会	保健師リカレント教育
第59回日本小児血液・がん学会学術集会	第5回糖尿病看護実践力開発セミナー
第22回公益財団法人がんの子どもを守る会公開シンポジウム	知ってるようで知らない感染看護
トリプルフォローアップ研修会	医療事故はなぜ起きる？－ヒューマンエラーを防ぐための人間工学－(3件)
看護研究サポートセミナー 第1回～第3回	個人・家族を支える保健師の役割とは
看護教育セミナー	子どもの自己肯定感を育てる関わり方
愛媛県在宅緩和ケアコーディネーター養成研修	こころの元気を守る看護師向けセルフケア研修(2件)
日本老年看護学会認知症対応力向上研修	心肺蘇生法をマスターしよう！
小児看護エキスパート養成講座(理論コース年7回、基本的生活習慣支援コース年7回)	一人暮らし認知症高齢者の認知症進行に伴う生活障害への支援
おおいた精神看護をもっと深く学ぶ会(年5回)おおいた精神看護事例検討会(年4回)	在宅・施設での高齢者の看取りについて(2件)
がん看護能力スキルアップセミナー(インテンシブ)「知ればケアが変わる！がん化学療法看護の知識と技」	在宅の高齢者虐待事例対応

(岡山大学病院看護部新人研修)	在宅での摂食・嚥下ケア(基礎編)
ミャンマーからの研修生対象の講義『』(看護教員)	患者さんの思いに寄り添えるコミュニケーションのヒント
エンド・オブ・ライフケアー生きるを支えるー	新人看護師として働く卒業生のための集い
訪問看護ステーションの人材育成アップ研修	新卒看護職員研修の新任教育担当者育成フォローアップ講座(全3会場)
訪問看護の看護過程	地区別新人職員研修新任教育担当者育成講座(全3会場)
2017年9月1日(金) セミオープンセミナー「安心を支える～妊娠中・産後の精神支援～」	看護研究指導者研修(全6回)
2018年3月9日(金) 第36回 不妊・不育とこころの研修会	中間管理職スキルアップ研修(全6回)
グローバル化時代をしなやかに生きるーThink Glocally, Act Glocallyー	看護師のためのエンド・オブ・ライフケア研修ーELNEC-Jコカリキュラム看護師教育プログラムー
先進地からの学びで知を紡ぎ、香川の地域包括ケアシステムの未来像を語る	看護力再開発講演会(10回)
ローカルマインド醸成に必要なマインドとスキル ～地域で活躍するプロフェッショナルから学ぶ～	感染管理フォローアップ研修会(2回)
理学療法士・作業療法士のためのやさしい生体力学	看護職者のためのメンタルヘルスセルフマネジメント研修会(1回)
助産師の専門的実践のために必要な知識・スキル	助産師のネットワーク作りとキャリアアップ(2回)
看護研究の基礎及びデータ解析入門	リーダー保健師研修(5回)
高齢者の介護	ひむかりサーチセミナー～ひむかヘルスクラウド～(11回)
筋萎縮性側索硬化症(ALS)療養者の在宅支援	新人から中堅助産師のスキルアップ研修(4回)
認知症と高次脳機能障害のリハビリテーションの実際	訪問看護師研修(11回)
研究スキルアップ ～看護実践における疑問を研究につなげる～	シュミレーション教育研修会
抑制ゼロ看護へのチャレンジ	職場のメンタルヘルス対策講座
研究スキルアップ ～わかりやすく実態を伝える統計の基礎～	発達障害の理解と具体的な支援
地域に出向く看護実践 ～出前保健室～	高齢者介護のスキルアップ:「食べる」への援助
国際創傷ケアガイドライン作成のための日豪創傷ケア専門家国際会議Skin tear and pressure injury management in Western Australia	ヒューマンケア:チームアプローチ
糖尿病チーム医療の実質化	助産診断実践力フォローアップ初級編
1型糖尿病看護ケア研修会	感染管理研修(基礎編)
高齢糖尿病患者の問題解決	感染管理研修(実践編)
糖尿病外来の先駆的取り組み	感染管理研修(中間報告会)
魅力的な糖尿病外来	高齢者施設感染対策研修
第1回 Gifuクリティカルケア看護情報研究会「クリティカルケア領域に活かす診療看護師の活動の実際」	感染管理認定看護師フォローアップ研修(第1回)

第2回 Gifuクリティカルケア看護情報研究会「クリティカルケア領域に必要な鎮静・鎮痛管理」	感染管理認定看護師フォローアップ研修(第2回)
第3回 Gifuクリティカルケア看護情報研究会「クリティカルケア領域に活かすME機器管理の基礎知識」	手厚い支援を必要とする子どものケアの研修会
第4回 Gifuクリティカルケア看護情報研究会「クリティカルケアにおける緩和ケア」	メンタルヘルスについて
第1回岐阜看護教育交流会「LGBT当事者を理解する」	リーダーシップについて
第2回岐阜看護教育交流会「看護職のキャリアを継続的に支援する-近年のキャリア理論を活かしたキャリアカウンセリング-」	看護研究
第2回看護研究研修会「文献を入手する-文献検索のコツ-」	認知症について
第3回 看護研究研修会「看護研究のテーマを見つける-テーマに必要な要素を理解する-」	介護の専門性と独自性
第4回 看護研究研修会「量的結果の読み解き方-アンケート集計データのここに注目する-」	精神科看護と倫理
第5回 看護研究研修会「研究結果の伝え方-図表のつくり方と発表のコツ-」	リスクマネジメント
第1回 看護研究研修会「看護研究のテーマを見つける-テーマに必要な要素を理解する-」	地域看護研修「発展途上の母子保健」
看護研究研修会in高山「看護研究のテーマの決定からアンケートの作成まで」	子どもの睡眠とトイレトレーニング
うつ予防・離職予防プログラム	精神科看護実践と看護理論
障害児訪問看護研修会	がんと運動
小児の訪問看護～多種職との連携～	キネステティック
症愛車福祉サービスセンターウェブ 職員・利用者を対象とした主観的健康解/健康関連体力増進プログラム教室	シミュレーション研修1(フィジカルアセスメント:全2回)
コア・カリキュラム導入によるカリキュラムを考える	シミュレーション研修2(静脈注射:全2回)
地域包括ケアの正体?元気高齢者を産み出す医療・介護・そして地域	シミュレーション研修3(超音波診断:全2回)
わが国における在宅医療の問題と課題	看護研究支援講座1(卒業生・修了生向け)
在宅療養支援のための関係法規と社会資源	看護研究支援講座2(県内就業の看護師等向け)
在宅で心地よく過ごすためのリハビリテーション	臨床看護研究計画書立案研修(全2回)
文部科学省高度医療人材養成プログラム事業実践力ある在宅療養支援リーダー養成事業 * 講義だけで20件開講	緩和ケア専門研修(認定看護師教育課程公開授業)「緩和ケアが必要な患者の心理社会的ニーズ～補完代替療法のエビデンスから看護師の役割を考える～」
How to write a research paper in English	看護研究入門講座
Leadership in Nursing Research	敦賀市立看護大学研究報告会
質的研究法のセミナー	平成29年度 専門看護師・認定看護師キャリアアップ支援講習会「自立性を育むOJT」
ヘルスクオリティ・アウトカムリサーチセミナー	平成29年度 看護研究支援セミナー 初心者のための看護研究
看護理工学入門セミナー	平成29年度 臨床看護セミナー 看護のためのフィジカルアセスメント研修～根拠に基づいた看護実践に活かす～

看護理工学ハンズオンセミナー スキンアセスメントコース	平成29年度 労働安全セミナー「あなたの被ばく予防 それで本当に大丈夫？」
看護理工学ハンズオンセミナー エココース	臨床倫理学習会「事例検討で看護倫理を学ぼう」
看護理工学ハンズオンセミナー 質的スケッチ技法コース	平成29年度 中堅看護師セミナー 新たな医療の在り方を踏まえた看護師の労働環境を考える～働き方のビジョンをもとう～
看護理工学ハンズオンセミナー バイオロジカルナーシングコース	認定看護管理者教育課程 ファーストレベル
看護理工学ハンズオンセミナー 3D計測・造形コース	認定看護管理者教育課程 セカンドレベル
ヘルスクオリティ・アウトカムリサーチセミナーⅡ「多職種協働研究・国際共同研究」	レポート・論文作成の作法とコツ
ヘルスクオリティ・アウトカムリサーチセミナーⅡ「尺度開発」	管理と倫理のはざままで
東京YWCA 2017年度大規模災害対応研修会「避難所運営ゲーム」をとおして	よくわかるPCPSとIABT(基礎編)
東京駅周辺防災隣組第81回総会での机上訓練の実施	ナースのためのPCPS・IABP(臨床編)
東京YWCA 大規模災害対応部会研修会「大規模災害時の避難所における衛生と安全」	生体情報モニタで知っておきたいポイント
看護師の責任と裁量	わたしがもういちど看護師長をするなら
後輩看護師を育てる:中堅ナースの経験と成長	看護研究の読み書きに必要な統計学の知識(基礎編)
看護師の職業価値観	接食・嚥下リハビリテーション
高齢者へのがん看護	看護研究セミナー
在宅終末期がん患者のせん妄とケア	患者さんへの心のケアとナース支援～リエゾンナースとしての試み～
移植に向かう造血器腫瘍事例に対する危機看護介入の報告	看護研究(基礎コース・実践コース)
セルフ・ネグレクトの実態と地域支援のあり方	周産期メンタルヘルスカウンセラー養成講座
こどもの便秘と肥満	家族看護セミナー
小児看護と看護倫理	周産期ケアセミナー
怒りを表出する進行がん患者への看護介入	助産力の向上に向けた研修会Ⅰ
虐待の現状と対応	助産力の向上に向けた研修会Ⅱ
発達障害を持つ子供の特徴と対応方法、他	子どものためのグリーフケアセミナー〈基礎編〉
地域看護CNSの参加による事例検討会(3回)	新生児集中ケア認定看護師フォローアップ研修
研究セミナー「発達障害の子どもをもつ母親の体験」	精神看護オープンセミナー
認知症模擬患者シミュレーション看護研修プログラム日時:2018年3月17日(土)10時～17時 場所:浜松医科大学 看護学科棟5階 成人看護実習室	認知症と人とのコミュニケーションスキルアップセミナー
第19回青森継続看護研究会「地域包括ケアの時代に向けてリカレント教育を考える」	循環器看護セミナー

平成29年度地域先導ナース育成事業「病院からつなぐ地域包括ケア看護実践者育成コース」	看護国際フォーラム2017 看護実践における日常的な倫理を問う
Special Meeting “Nursing Trends in the US and Hawaii” University of Hawaii at manoa	2017年度看護リカレント講座 高めよう実践力！PART4-地域の暮らしを支える看護の実現-
看護診断を現場で使う	「動機づけ面接学習会」
看護シミュレーションワークショップ	がんプロセミナー(組織と地域ならびにがん看護専門看護師との連携-ライフステージに応じたがん患者支援のために-)
看護診断セミナー 初級・中級・上級	がんプロセミナー(がんスクリーニングにおけるがん看護専門看護師の役割-様々なライフステージにある患者・家族を支えるために-
看護職の原子力・放射線教育のためのトレーナーズトレーニング	公開講座「組織をどう変えていくか」-看護管理の動向・看護管理過程、組織変革理論-
第12回広島県糖尿病・腎不全療養指導看護研究会	がん看護学教育国際セミナー「Supportive care for cancer survivors」
第24回広島県呼吸ケア看護研究会	「ケースとデータに基づく病院経営人材育成」プログラム キックオフシンポジウム
中国・四国高度がんプロ養成基盤推進プログラム講演会	認定看護管理者教育課程「ファーストレベル」
第26回広島県呼吸ケア看護研究会	認定看護管理者教育課程「セカンドレベル」
平成29年度中国四国がんプロコンソーシアム がん高度実践看護師WG講演会	認定看護管理者教育課程「サードレベル」
第45回広島県小児保健研究会	認定看護師教育課程「感染管理」
第46回広島県小児保健研究会	保健師助産師看護師実習指導者講習会
周産期メンタルヘルスケア研修会	看護学生のインシデントへの関わりから学ぶ
一般社団法人広島県助産師会 乳幼児スキンケア研修会	子ども達に対するがん教育において看護職ができること
新生児ケア研究会「NICUにおける痛みのケア」研修会	地域包括ケアシステムと看護教育
放射線による健康不安の軽減等に資するリスクコミュニケーション事業	統計の基本とよくある間違い
第13回広島リンパ浮腫講習会 他	カリキュラム検討会コラボ企画—改善に向けたフリーディスカッション—新カリキュラム構築に向けての検討
在宅療養困難事例の対応と診病連携	授業評価のあり方を考える
在宅における疼痛コントロールと看取り	地域ケアのリーダー育成をめざして
地域医療で栄養障害を打破しよう	2017.9.9 看護診断セミナー
医療と介護をめぐる問題	2018.3.10 看護診断セミナー
がん患者における栄養ポイントと栄養連携	2017.10.14 フットケア研修会
みんなの力で酒井地区患者の栄養アップ	2018.3.3 フットケア研修会
看護実践能力開発講座『テキストマイニングの世界』	2017.6.24～6/25 得訓講座
管理栄養士国家試験対策リカレント講座(2件)	2017.10.14～10.15 得訓講座
看護研究に役立つ統計学 — データに応じた分析方法を選ぶには	2018.2.10～2.11 得訓講座

地域で暮らすがん患者への支援「つながる・ささえる・つくりだす 在宅現場の地域包括ケア」	2017.9.5～9.6 認知症看護力向上研修
がんとともに歩む力を～マギーズ東京への歩みと実践～	看護職の看護研究ステップ・アップ講座
地域医療構想と在宅医療・在宅看護	認定看護管理者ファーストレベルプログラム
在宅がん療養者の社会資源や制度の利用	認定看護師教育課程～不妊症看護コース～
在宅がん療養者へのケアの実際	認定看護師教育課程～訪問看護コース～
事例検討「家族支援方法について」	認定看護師教育課程～認知症看護コース～
特定行為研修について	在宅看護コンサルテーション
プレゼン大会・多職種交流	看護管理塾
認知症サポーター養成講座	退院調整から地域へ～在宅療養コーディネーター・ナース養成研修と活動支援
退院支援の事例検討	不妊症看護認定看護師ポストコース講座
看護サマリーの検討	訪問看護スキルアップセミナー
自立につながるポジショニングの実践講座	英文献を読もう！パートⅠ～基礎編～
看護職の研究力アップ講座	英文献を読もう！パートⅡ～構文理解強化コース～
がん看護セミナー(テーマ:AYA世代の患者支援, がん体験者と共に歩む)平成30年1月26日(金)開催	文献検索～準備体操～
緩和ケア特別講義(平成29年10月13日(金)開催)	メディカルスタッフのための医学研修会「高崎市認知症初期支援チームの取り組み」「パーキンソン病における非運動症状～精神症状とその対応策～」
臓器移植について	認知症のひととのコミュニケーション ―ユマニチュードを知ろう―
看護研究スキルアップ講座「看護研究の基礎」「看護研究における文献検索」「質的研究入門」	バリデーションへの誘い(いざない) ―認知症高齢者に共感と尊厳を―
がん看護セミナー「認定看護師と一緒に考えるがん性疼痛マネジメント」	高齢化社会と医療保健
認知症模擬患者要請講座	学習困難状況(発達障害を含む)にある学生の実習を支援する方法
認定看護師教育課程フォローアップセミナー「認知症を持つ患者の意思決定支援」「在宅緩和ケアの実際」	看護の日記念講演会「看護の未来を切り拓くあなたへー語ろうその魅力と可能性を」川島みどり先生
統計分析を理解するためのハンズオンセミナー	実習指導者研修会「がん患者に対するリハビリテーション」
外国人の患者さんの受け入れ、始めの一步	実習指導者研修会「今どきの大学生の理解と効果的なかわり方」
現象学的視点からベナーを読み解く	「看護へキャリアチェンジをした人とともに」―さまざまな背景を持つ看護職とより豊かな組織を作る―
看護を取り巻く制度の動向を理解し、看護現場に活かす	認定看護師のためのスキルアップセミナー
院内感染事例から学ぶ感染制御の考え方と実践	最新文献を用いてマタニティ・ヨーガの効果を説明できますか?～マタニティ・ヨーガの文献の批判的検討～
認定看護師教育課程がん化学療法看護分野認定審査対策セミナー(第1回)	誤嚥させない食事介助～演習であなたの食事介助方法を確認してみませんか～
看護管理者のための医療安全セミナー	もう一度学びたい看護過程シリーズ①アセスメント ②看護診断から看護計画

CNSフォローアップセミナー「プレゼンテーション力を高めよう～効果的な研修、発表に向けて～」	保育園や幼稚園および学校における専門性のある健康管理方法を学ぼう
認定看護師フォローアップセミナー(未来のがん化学療法看護を担う人材育成)	はじめての看護研究
認定看護管理者教育課程セカンドレベル	認定公開講座「口腔内の構造と機能に関連した摂食嚥下障害」「食支援のための倫理とケア」
社会福祉施設看護職員研修	認定公開講座「コミュニケーション能力と構音のアセスメント」
2017年度青森県保健医療福祉研究発表会	認定公開講座「脳血管障害及び高次脳機能障害がある人への摂食・嚥下障害看護」
喀痰吸引等指導者フォローアップ	認定公開講座「精神疾患及びその治療による摂食嚥下障害」「薬剤の管理及び服薬方法と摂食嚥下障害」
家族の心に届くケア「スピリチュアル・グリーフケア」	中四国地区赤十字関連施設・看護継続研修会「災害における受援について考える」
在宅療養移行支援	看護職のためのチームづくり研修会「育み育まれる組織作り」
訪問看護の現場に活かすフィジカルアセスメント	新任教員に向けた初期講座
ベッドサイドで役立つ臨床推論	基礎から学ぶシミュレーション研修
ジェネラリストのための事例検討	シミュレーション教育研修～デブリーフィングの実践～
ペリネイタルグリーフケア検討会	看取りケア研修①
子育て支援・虐待予防に関する勉強会	看取りケア研修②～エンゼルメイク
がん看護事例検討	シナリオシミュレーションのプログラム作成
看護実践セミナー「臨床で行なうリンパ浮腫のケア」基礎編、アドバンス編（2講座）	地域包括ケアシステム実現に向けての研修
「ケアの意味を見つめる事例研究」	高砂市民病院新人研修
CNS関係者によるがん看護事例検討会 第1回、第2回(2講座)	第13回リカレント教育：文献の検討方法
看護技術スキルアップLearning Strategies ⑬高齢者ケアスキルアップ研修	第13回リカレント教育：統計処理の基礎とアンケート結果分析方法の選定
看護実践と研究の統合のためのセミナー ⑭本学の助産学科目を履修した卒業生の卒後研修会	第13回リカレント教育：看護技術に関するエビデンスの”今”－筋肉・静脈内注射を中心に－
死生看護学分野研修事業 ⑮メンタルヘルス講習会	第13回リカレント教育：現場に立つ質的研究の進め方－グループワークを通して質的データを分析してみませんか－
コーチングスキルアッププログラム ⑯看護基礎教育検討会	第13回リカレント教育：研究テーマの抽出について考える－国際看護活動における途上国看護師が抱える看護課題を取り上げて－
糖尿病看護スキルアップ研修	新生児救急蘇生法Aコース
東北慢性疾患看護研修会	大学院進学者のための保健学研究科
岩手県災害看護研修会	在宅で療養する小児のフィジカルアセスメント
養護教諭スキルアップ研修	訪問で役立つフィジカルアセスメントの実際
子どもと家族のケア研修会	総合失調症の療養者の健康と生活のアセスメント
いわて保育園看護職研修会	高齢者施設での終末期ケアについて

被災地における精神科看護師のスキルアップ研修	高齢者施設での看取りを可能にする訪問看護との連携
岩手訪問看護師研修会	医療従事者向け 高齢者の耳の聞こえ
看護実践セミナー	リカレント学習講座
思春期健康セミナー	看護実践の倫理
在宅ケアを支える人材の技術研修会(3回)	背面開放座位
新任期保健師研修会	質的研究から量的研究への発展 ～アドヒアランスに関する中範囲理論の開発に向けて～
プリセプター保健師研修会	第2回 看護職者の成長を支援する講座 未来の看護職者を育むために～臨地と大学、コラボで育てる～
リーダー保健師研修会	第14回国際セミナー (Current issues/trends in health care and nursing in Australia)
中堅期保健師研修会	第1回グローバルキャリアガイダンス(Why study Australian nursing? Why work as a nurse in Australia?)
看護教員継続研修	第2回グローバルキャリアガイダンス (赤十字における国際救護活動)
特定行為推進事業報告会	看護研究Ⅰ 研究の基礎
看護実践者講演会「褥瘡を科学するパイオニアからのメッセージ 褥瘡学から看護理工学への深化と進化ー看護師が聴診器のようにエコーを使うー」	看護研究Ⅱ 量的研究の基礎
第19回看護国際フォーラム「はたらく看護職のストレスを活力に換える！」	看護研究Ⅲ 質的研究の基礎
大分県版中小規模病院等看護管理者支援事業研修会	平成29年度介護職員初任者研修における講座(全17回を複数人の教員で実施)
フィンランドのネウボラから学ぶ日本の母子保健の未来	看護研究教育指導 (依頼のあった病院看護職員を対象に看護研究について講義し、研究内容の具体的指導を行う)
トランジショナルケアの理論と展望	チームで実践!! 一般病棟における認知症ケア
心で寄り添う「助産力」を育む助産教育の未来	臨床判断から始まる脳卒中ケア
家族エンパワーメントモデル	看護研究支援サロン
家族アセスメントモデルの種類と特徴	日本周産期・新生児医学会公認 新生児蘇生法「専門」コース(Aコース)
家族看護について	日本周産期・新生児医学会公認 新生児蘇生法「スキルアップ」コース(Sコース)
介入の実際	臨地実習指導者研修セミナー
虐待予防における保健師の役割	指導者カンファレンス
バランス・スコアカードとサービスの価値向上のマネジメント	新人看護職員研修教育担当者研修
機能強化型訪問看護ステーションの経営の実際	看護研究指導(施設A:5講座、施設B:5講座、施設C:6講座)
バランス・スコアカードを用いた戦略目標の設定とサービスの機能評価	四国大学附属看護学研究所学術講演会
家族と関わる基本姿勢	四国大学附属看護学研究所公開セミナー(看護研究のためのエクセルセミナー)
退院に向けた家族への支援	埼玉県看護協会第三支部研究指導

糖尿病患者の支援(介護職対象)	スマートフォンで変わる医療・介護サービス
糖尿病看護認定看護師のための研修	公衆衛生と保健所活動
訪問看護の質管理:初回訪問までの準備	生活習慣の悪化から考える認知症の悪化防止
保健師のためのソフト活用による質的分析ワークショップ	KIZUNAカンパニーのつくり方 ①事例検討 (埼玉産業保健総合支援センター)
看護研究の実践	KIZUNAカンパニーのつくり方 ②職場改善 (埼玉産業保健総合支援センター)
ELNEC-J看護師教育プログラム in 岡山県立大学	看護師の原子力・放射線教育のためのトレーナーズトレーニング 2回開催
エンドオブライフケア研究会(3回開催)】	保健師に対する放射線リスク研修会 2回開催
RCA手法を学ぶ!第3弾	米国におけるチーム医療の中でのNPの役割と活動の実際について 1回開催
多職種で取り組む!転倒・転落の予防	RNA制御学からみる高次脳機能
学生指導に活かす授業設計・展開	ノルディックウォーキングガイド養成講座
退院支援教育プログラム(2017年度):ベーシック研修	中堅看護職員の豊富な臨床経験を活かして根拠に基づく自己学習能力の向上のための研修会
退院支援教育プログラム(2017年度):フォローアップ研修	認知症ケア講習会
退院支援教育プログラム(2017年度):アドバンス研修	メンタルヘルス研修~後輩への指導に活用できる!傾聴スキルを高めよう~
地域における母子保健活動の充実に向けた研修会 第1回「地域で取り組む育児支援—妊娠期から育児期までの子育て支援」	看護研究
地域における母子保健活動の充実に向けた研修会 第2回「岐阜県における産後ケア」	慈恵医大、上智大ジョイントシンポジウム「看護系大学院教育の現状とこれから」
中堅看護師を対象としたワークショップ「看護の専門性を高めるマネジメントについて考える」	平成29年度看護職員研修事業「実習指導者講習会(40日間コース)」
看護管理者を対象としたワークショップ「看護の専門性を高めるマネジメントについて考える」	「対人刺激に弱く、急性期病棟での入院が長期化している統合失調症患者の看護」
平成29年度第1回研修会「専門看護師のキャリア開発~コンサルテーション役割から考える」	「ナースのためのグループサイコセラピー —看護チーム全体を癒すグループの作り方—」
第1回 養護教諭学びの会	「アルコール依存と認知症の合併により、妻へ暴力を振るうなど、介護困難な患者への援助」
第2回 養護教諭学びの会	「統合失調症の患者さんについて語ろう 統合失調症の患者さんについて語ろう —ケアの楽しさ・難しさ」
卒業者のキャリアアップ支援に向けた研修会「がん治療におけるケアの最前線」	「善悪の判断がつかず衝動行為を繰り返す自閉症スペクトラム障害の患者への援助」
統計解析結果の表示について	「自閉症スペクトラム障害をもつ人への理解と対応」
リカレント学習講座 Aコース「看護研究をサポートします」	白衣を脱いで、町に出よう—多様な看護の可能性—
リカレント学習講座 Bコース「看護研究における統計の活用方法」	アドバンス助産師取得申請のための研修会
認知症になっても安心して暮らせる群馬をつくる—魅力的な視覚教材を使った認知症研修のすすめ方—	精神科看護事例検討会
看護の動向と看護教育—施設内看護から地域での暮らしを見据えた看護へのパラダイムシフト—	研究の基礎的知識を学ぼう
シミュレーション教育の充実	教育実践報告会

がん看護学領域特別講義「がん高度実践看護師の活動の実際と今後の展望」	多職種間連携における看護師の役割と推進のための取り組み—米国における課題と挑戦をととして—
小児看護学領域特別講義「発達障がいのある人への看護・NICU入院中・退院後のこどもと家族への支援・小児看護専門看護師としての教育活動」	医師会学術講演会「アミノインデックスがんリスクスクリーニング」(足利市・桐生市・伊勢崎市)3件
健康長寿センター第1回公開講座「新人看護職者のためのフィジカルアセスメント～現場で役立つ！症状別アセスメント～」	学術講演会「近未来の健康診断」4件
日本精神科看護協会高知県支部共催～「大人の発達障害の理解と対応」	酸化ストレス抗酸化セミナー「糖尿病の予知・予防」
精神看護学領域リカレント(事例検討会)	地域包括ケアシステムを円滑に行うための人材育成(対象:看護職他)
慢性期看護学領域リカレント「地域包括ケア時代における慢性疾患をもつ人々へのケアを見直す」	自己の看護体験を振り返る(レベルⅠ～Ⅱ看護師を対象として事例研究の第1段階研修)(対象:看護師1～2年目)
がん看護学領域 アストラルの会(事例検討会)	障害のある子どものフィジカルアセスメント(小児の訪問に関わる訪問看護師に対する研修会)
クリティカルケア看護学領域リカレント 急性・重症患者看護専門看護師の臨床的思考	「日々の実践と看護研究をつなぐ倫理的配慮」実践現場において研究を行う際の倫理的配慮について(対象:看護職)
専門職キャリアサポート「シミュレーション教育事例検討会」	看護研究発表会 講評および助言(病院内研修)(対象:看護師)
看護管理学領域 リカレント教育「共分散構造分析を用いたの構造の解明」	小児外来における看護について(小児外来における看護師への問い合わせ、電話相談の内容整理、分類、集計)
母性・助産看護学領域 リカレント「周産期にみられる症状・兆候を見逃さないアセスメント力を身につけよう！」	小児外来における相談に関する研究(データ分析指導)(対象:看護師)
クリティカルケア看護学領域リカレント教育「せん妄評価ツールの活用とせん妄ケア」 他2件	ストーマ看護外来を中心とした臨床の看護ケア指導(対象:看護師)
看護専門職講座「臨床経験を活かす新たなキャリア開発: CNEコース(看護教育学上級実践コース)の学びとその成果」	創病ケア全般の理論と実践に関する指導(対象:看護師)
がん看護インテンシブコース「地域がん看護」	学生のジェネリックスキルを育成する教育方法の検討
がんプロ 看護専門職公開講座「超高齢社会でがん患者を支えるには」	保健医療学部夏季特別座談会「これからの先端技術を活用した健康自己管理」
看護教員の教育実践能力を鍛える公開講座	看護師ブラッシュアップコース 看護実践に役立てる家族看護学①
産科看護職のための学習会	看護師ブラッシュアップコース 看護実践に役立てる家族看護学②
埼玉精神看護・精神地域ケア事例検討会	看護師ブラッシュアップコース 看護実践に役立てる家族看護学③
臨床家のための看護研究セミナー	看護師ブラッシュアップコース「救急看護」認定看護師に学ぶ急変患者のフィジカルアセスメント
新人看護教員の看護教育実践講座	認定看護師から”看護の智”をつなぐシリーズ:高齢者の人生の質を高める看護コース 全12件
保健師活動スキルアップ講座	看護管理者車座コース 全2件
認定看護師教育課程「フォローアップ研修」	准看護師コース 全3件
看護実践のリフレクションから、看護管理を考える	トピック:統計ソフトSPSSを使ってみよう!シリーズ 全2件
訪問看護師スキルアップ講座～在宅での創傷ケア～	トピック:小児アレルギーケアシリーズ 全2件
保健師の本質を究める パート1	シンポジウム:地域包括ケアシステム推進における教育と実践の連動

せん妄リスクのある高齢患者のアセスメント(2件実施)	講演会および演習: テーマ 『誰もが必要なリーダーシップ』 講師 滋賀大学経済学部企業経営学科 准教授 小野善生
認知症をもつ高齢者の対応(2件実施)	地域包括ケアから地域共生社会へ“Co-producer”としての住民・地域を考える
急変患者のアセスメントと具体的ケア	研究方法セミナー「看護研究のプロセスと探究疑問」
看護研究—研究計画書の作成方法	研究方法セミナー「看護研究の具体的方法/方法決定のプロセスと文献検討」
エビデンスに基づく看護実践	研究方法セミナー「研究結果のまとめ方とプレゼンテーション」
助産実践と倫理(2件実施)	看護倫理とその実践
助産ケアのエビデンス-新生児のスキンケア-(2件実施)	シリーズ実習指導「臨地実習指導について」
看護研究サポートリーダー育成研修	シリーズ実習指導「在宅看護論」
助産師エンカレッジ支援講座	シリーズ実習指導「母性看護学」
人間看護学部公開講座	シンポジウム「保健・医療・福祉における多職種連携—各学部卒業生のそれぞれの職種の実践から—」
ファミリーパートナーシップモデル(FPM)による産前産後育児支援講習会	アセスメントにおける暴力の視点(全6回)
がん化学療法の主な適応疾患/標準治療と最新の動向(全15コマ)	ナースプラクティショナーの教育と実務に関する国際セミナー
がん化学療法の特徴と看護(全8コマ)	兵庫県看護協会再就業支援研修「フィジカルアセスメント研修」
なごや生涯学習公開講演会 エンド・オブ・ライフケア-病院・在宅でいかに生きるかを支える看護-	潜在看護師復職支援講習
看護研究セミナー 看護研究いろはの「い」・研究疑問から研究計画書作成	在宅看護学教育くと臨地実習
看護研究セミナー 看護研究いろはの「ろ」・量的アプローチの基礎	在宅における栄養ケア
看護研究セミナー 看護研究いろはの「は」・質問票のデザイン	基礎看護学実習における実習のあり方
看護実践セミナー 臨床場面における認知症高齢者との非言語的コミュニケーションスキルを磨く!	親(大切な人)をなくした子どもたちのグリーフケア
看護実践セミナー 重篤な肝障害・腎障害・代謝障害の病態と管理	Nurse Practitioner Education and Practice in the US
看護実践セミナー 患者急変対応「何か変、と思ったとき・・・」	本人・家族の意思決定支援とアドバンス・ケア・プランニング
看護研究のテーマをみつけよう	看護研究の進め方
呼吸のフィジカルアセスメント	看護大学における臨地実習の位置づけと指導者の役割

Q18. 2017年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

C. その他—自由記載

地域で活躍する医療職のためのフィジカルアセスメント講座(6回)	看護の仕事について(2件)
医療的マインドを持った介護—介護職のためのフィジカルアセスメント講座—(3回)	災害発生から3日間の健康管理
ファシリテーションスキルアップ講座	子どもの生きづらさを支える
お酒と上手に付き合う講座(3回)	高校生のための看護職キャリアデザイン講座(22件)
安全な移乗・移動	桜の森アカデミー「子育てマイスターコース」
出前講義 高校での講義	桜の森アカデミー「在宅ケアマイスターコース」
性教育講座	教員免許状更新講習
セルフケア講座(コグニサイズ)(15回)	進路相談 看護職の魅力
ブルーランドサマーキャンプ勉強会	いずも健康市民大学(前期12回:後期12回)
2017年7月29日(土)・30日(日)・31日(月) 一般社団法人“人間と性”教育研究協議会(性教協)主催 『第36回全国夏期セミナー岡山大会』	論語教室(全13回)
認知症予防教室	生き方カフェ(全8回)
在校生・卒業生交流会(看護師)	サルコペニア(筋肉の衰え)と診断されたら ・がん, 慢性疾患とサルコペニア ・加齢とサルコペニア
在校生・卒業生交流会(保健師)	腎臓病と診断されたら ・慢性腎臓病とは? 腎臓病の早期発見, 治療はどうすればよいか? ・小児腎臓病はどのような病気はどう対応するのか? ・慢性腎不全の治療にはどのようなものがあるのか?
岐山高校探求活動	認知症と診断されたら・内科の立場から ・精神科の立場から
岐山高校進路研究講座(高校1年生対象)	研究論文の執筆と修正のコツ
岐山高校教育相談研修会	学部開設に携わった教員からのメッセージ&卒業生講演会
岐阜北高校出前講座 系列別ガイダンス	第7回障がい児支援講座
Open Campus for Boys	慶應看護100年記念講演会「慶應看護のいま、これから」
こころの健康	オープンスクール「感染予防における看護師の役割」
奥穂高岳夏山診療所の実態	オープンスクール「自然免疫の仕組み～病原体はどのように認識されるのか～」
新生児蘇生法講習会Bコース	オープンスクール「看護という仕事」
リエゾン精神医学における精神科診断と治療について	世代交流デイプログラム聖路加和みの会
地域づくりサポーター養成講座「地域づくりサポーター養成講座から見たニーズ分析・仕組みづくり」	高齢者と家族へ 思い出帳(メモリーブック)作りプロジェクト

家族ケア症例研究会「虐待・DVが疑われた家族に対する周産期のケア～家族関係のアセスメントと地域への働きかけ～」	赤ちゃんがやってくる
家族ケア症例研究会「摂食障害の診断で入院した思春期女子における家族関係の改善を目指した看護」	子どもと家族中心のケア 子ども健康、知ろう、考えよう～子どもの健康を家族と考える学習・交流会
家族ケア症例研究会「認知機能が低下した社員の就業継続支援～就労継続に向けた本人と家族の不安を軽減するには～」	天使の保護者ルカの会
家族ケア症例研究会「精神疾患を抱える在宅生活者への支援～地域でその人らしい生活を支えるには～」	天使の保護者ルカの会：グリーンカウンセリング
家族ケア症例研究会「神経疾患を抱えた中学生とその家族における在宅移行を目指したケア」	ルカ子・サロン
フィンランド学生による日本における研修報告	ダウン症候群のよりよい生活環境検討会
英語セミナー：米国研修報告1	自分の体を知ろう・伝えよう
英語セミナー：米国研修報告2	COPDで在宅酸素療法を行う方へのテレナーシングによる継続的看護
英語セミナー：米国研修報告3	HAG Your Baby 育児支援プログラム
英語セミナー：米国研修報告4	アスベスト看護相談室
英語セミナー：米国研修報告5	正岡子規の闘病から読み解く在宅での”看取り”「慢性の病とケアの諸相：子規の病牀記を読む」
岩倉ふらっとけんこう茶屋～健口で認知症知らず！	正岡子規の闘病から読み解く在宅での”看取り”「子規を介護した妹、律の体験」
岩倉ふらっとけんこう茶屋～健口で健康！	学校では扱われない英語の文法 基礎編
助産診断・技術学Ⅰ 4コマ	学校では扱われない英語の文法 応用編
助産診断・技術学Ⅱ 5コマ	武蔵野地域防災セミナー ・災害に強くなる知恵と技
助産概論 4コマ	自分のからだを知ろう 宮ロ一色健康測定会
災害支援・ボランティア 5コマ	ブラジル人学校(EAS)身体測定会
家族看護論 4コマ	豊根村生涯学習講座からだところのストレスケア～癒しのタクティールケア体験会～
大学院：看護管理理論 4コマ	逢妻ふれあいまつり 健康チェックコーナー
①～⑥は、助産実習施設、関連施設の看護職に公開し、スタッフの資質向上及び実習協力を得やすくするために実施。	宮口上区フェスタにおける血圧測定および健康相談
⑤は、T-HOC受講生へ公開。	逢妻交流館 元気アップ教室～心臓の働きと病気、AEDを使ってみよう～
浜松医科大学付属病院における物忘れサロン(認知症カフェ)平成30年3月9日(金)附属病院第一集会室11:00～13:00開催	ボランティア講座「ボランティア活動に際しての留意事項」
地域包括システムを促進する転倒予防サポーターの育成と転倒予防転倒予防サポーター講座を平成29年12月4日(月)～1月29日(月)まで週1回10:00～11:30の1時間半実施した。	認知症サポーター養成講座
International Network of Universities, Nursing Summer Workshop “Patient safety and quality care”	介護職員喀痰吸引等研修①

学生必見！あなたの今と近い将来に絶対役立つ性と生殖のお話し(3件)	介護職員喀痰吸引等研修②
認定看護師教育課程がん化学療法看護分野認定審査対策セミナー(第2回)	認知症サポーター養成講座(学祭にて開催)
認定看護師教育課程フォローアップセミナー「腫瘍学アゲイン」 「認定看護師の活動計画と交渉」	「気象と健康『寒冷前線通過、〇〇〇〇に注意！？』」
第17回地域包括ケア・フォーラムin青森(がんと共に生きる。育てよう私たちのサバイバーシップ PartⅡ)	「生涯現役で生き抜くために ～健康アップを目指して今日から実行～」
親として知っておきたいコミュニケーション(第1回)	「がんの免疫療法 ～お笑いやサルノコシカケから遺伝子療法まで～」
親として知っておきたいコミュニケーション(第2回)	人を助ける仕事がしたい
子どもの英語教育について	糖尿病予防-食事と運動、何ができそう？
乳幼児期からの生活習慣について	世にも珍しいマザークラス(6講座で1クール)
ママのコリほぐしストレッチ	保育士免許特例講座「子どもの食と健康」
子育てと事故予防	さやま市民大学 健康づくりサポーター養成講座 高齢者の健康地域支援のあり方
性教育人権講演会	さやま市民大学 健康づくりサポーター養成講座 健康づくり事業論
自分を大切にするおつきあいのマナーについて	さやま市民大学 健康づくりサポーター養成講座 アクティビティ・ケア
看護研究講座(4件)	幸手市職員のメンタルヘルス講座 ①管理監督者向け
女子高校生の食行動と飲酒の関連(1件)	幸手市職員のメンタルヘルス講座 ②一般職員向け
就職・進学ガイダンス	大阪医科大学看護研究会
県大吉備塾	鴨川市土曜スクール 小学生向け医療体験講座(車イスの使用、手洗い、バイタル測定、応急救護)
地域包括ケアシステムとは何かー安心して最後まで地域で暮らすためにー	思春期保健教育の実践経過と現状
高大連携公開講座 精神看護学	学校教育における「がん教育」の進め方
平成29年度第1回看護学部公開講座 ～採血技術の向上研修～ (保健師対象)	児童生徒の命を救う救急蘇生
最新実践看護講座Ⅱ「非がん患者の終末期における課題に取り組む看護師の役割」(看護学生対象)	「東総療育を考える会座談会 子育てについての助言」 障害児の保護者支援者対象
地域看護学領域 リカレント「新任期保健師育成支援」(全6回)	「障害者の定義 障害全般」 高等学校福祉コース対象
地域看護学領域 リカレント「中堅期保健師育成支援」(全6回)	「災害医療について」 小・中学生対象
専門職連携ベーシック講座	「子どもの発達段階に合わせた対応のポイント」 幼児～中学生保護者、学校関係者対象
専門職連携スキルアップ講座	「データヘルス計画・特定健診保健指導計画ヒアリング」 地方自治体職員対象
専門職連携アドバンス講座	「教員免許更新講習会」講師 養護教諭対象
市民の皆さんとで一緒に作る教育 模擬患者参加型のコミュニケーション演習	新人看護職員教育プログラム 全8件
看護学生の元気な高齢者の健康観や保健行動への学びを深める教育の場	看護フェスタ2017 in 聖徳大学看護学部 ～認知症にならないために～

平成29年度 第8回 上越地域看護研究発表会(上越保健所共催)	認知症予防
平成28年度 地域課題研究発表会	自分らしく生きる”Social Skill Training”
子どもの成長発達と毎日の生活習慣	チーム医療における専門職の役割と協働の実際
思春期男子のこころとからだを理解しよう!	応急看護～そのときに必要な対処法～
大学で学ぶこと(3件)	意思決定支援の臨床倫理

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局員と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。
2017年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

A. 全学主催のFDー自由記載

達成度評価を取り入れた教養教育	学修成果の向上を目指したカリキュラムの見直し
成績評価	学修成果の向上を目指した低学年カリキュラムの再構築
eラーニング	看護学科カリキュラムへのコース&ユニット制の導入
入試制度改革と学力の評価方法	新規初年次教育カリキュラムの作成
入学者選抜の観点から教職員が取り組むべきこと	実践的教育支援プログラムを考える～主体的FDから実践的FDへ～「初年次教育」
高大接続教育	初年次教育に関する取り組みについて～九州産業大学での具体的な実践報告～
大学教員としての認識の向上(新採用教員に対する全学的な教育所システム、就業規則についての説明)	2018年度から始まる初年次セミナーについて
環境と安全(化学物質や試薬などの危険性、環境に対する影響等)	大学の強みを強化する教職員全員参加型の大学改革を推進するために(SDと合同開催)
教員免許状更新講習	生命の尊厳と隣人愛
地域志向科目におけるアクティブラーニングの実践	ルーブリック評価の取り組み
「カリキュラム・プランニングと到達目標」(精神科学講座)	You Raise Me Up ～あなたの支えがあれば～(SDと合同開催)
「客観試験の作り方」(第1回)	新任教員オリエンテーション
「客観試験の作り方」(第2回)	manaba講習会
「客観試験の作り方」(第3回)	UNCIにおけるonline teaching/learning
「カリキュラム・プランニングと到達目標」(脳神経外科学講座)	ノーリフト?の概念と概要
「アクティブラーニングって何?ー自分の講義でどう使う?ー」	シミュレーション教育における効果的なデブリーフィング
「大学教育の質保証と2023年問題」	やってみようノーリフト?ケア
CBT問題作成に関する説明会	質的研究N-vivoガイダンス
〈春期FD・SDスキルアップ講座〉会場マネジメント,学生のやる気を引き出すアイスブレイクの技法,クラスルームコントロール,効果的なグループワークの進め方,効果的なeラーニングの活用方法(超入門編),学習評価の基本	授業研究会
〈春期FD・SDスキルアップ講座〉学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計-課題分析図の活用,アクティブラーニング入門セミナー	研究倫理eラーニング
〈夏期FD・SDスキルアップ講座〉大人数講義法の基本、ジグソー学習法入門、プロジェクトマネジメント、講義のための話し方入門、学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナルデザイン(ID)入門-ARCS動機づけモデルの活用-	学生と教員による授業について話し合う会

〈夏期FD・SDスキルアップ講座〉eラーニング活用(入門編)ー学習支援システムMoodieを活用してきめ細やかな学習支援を実現しようー	学習者が本当の幸せをつかむための教育コーチング2ー学生の意欲と能力を引き出すベーシックスキルー
授業デザインワークショップ(第28回・第29回)	科学研究費助成事業申請に関する説明会
ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	教育・研究における国際交流の推進ー欧州大学訪問の報告ー
ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ〈高専対象〉	就活指導セミナー「今日の就職環境について」
アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ	学外FD研修参加報告会「ドイツ フレゼニウス大学との交流事業に参加して」
英語で授業をしたい教員ためのワークショップ	「性別で見る多様性と人権 ～見えない/見せないしんどさを抱える子どもに向き合う～」
3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー,カリキュラム・ポリシー,アドミッション・ポリシー,アセスメント・ポリシー)の開発と一貫性構築	ユニバーサルアクセス時代の大学教育ーこれからの大学が生き残るために
IRer養成講座	学修成果の可視化に向けてー今、問われる学修成果のかたちー
学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法,愛媛大学教育改革シンポジウム	内部質保証の実現化に向けてー第3期認証評価の要点ー
大阪大学でのカルトの実態と対応	10年後、20年度の大学教育を考えるーAIは人の生き方を変える?!ー
学生・教職員教育改善専門委員会	状況に適したコミュニケーションを目指して
岡山大学桃太郎フォーラム	若者の学習意欲を考えるー自立的な学習者になるためにー
保健学研究科オープンフォーラム	学習から学修へ、そして学習へー学習と成長パラダイムに乗る中教審施策の展開ー
(FDは、全学的に定期的に実施されています)	大学から社会への移行とキャリア教育への提言ー「大学の学習成果と卒業生のキャリア形成に関する調査」からー
CBT実施状況(医師国家試験との関連)およびCBT問題作成についての全体説明	学部教育・研究に関するワークショップ
医学部倫理委員会 教育訓練講習会(年5回実施)	e-ポートフォリオ講習会(e-ポートフォリオを使って、ここまでできる学修支援 ～manaba活用のメリット～)
看護学教育モデル・コア・カリキュラムに関する講演会	平成29年度前期 中野キャンパス公開研究授業合評会
脱ガラパゴス! 医学教育リノベーションー教育プログラム改善と分野別認証評価を受審してー	平成29年度後期 中野キャンパス公開研究授業合評会
化学物質リスクアセスメントと化学物質管理支援システムの導入について	学生の能力を最大限引き出す支援ー合理的配慮の視点からー Part 2
第3回香川大学入試改革フォーラム	最近の大学生の姿と学生対応ーグループワークにおける学生に受け入れられやすい指導ー
希少糖セミナー「医学領域との新たなコラボレーション」	科研費改革の進展
診療参加型臨床実習の基礎と実践ー教員が同じ目標を見据えた卒前・卒後のシームレスな教育を目指してー	著作権法の基礎知識
医学部授業公開(5件)「衛生学」、「精神看護学概論」、「早期体験学習(チュートリアル発表会)」、「医療総合講義」、「皮膚感覚系ユニット」	東京医療保健大学を語る会
学習管理システムmanaba利用説明会	科学研究費助成事業の概要と獲得法に関する講演会
「2016年度工学部エクセレント・レクチャー受賞者によるFD講演 I」	研究倫理に関する研修会

平成29年度 第1回教員ワークショップ「英語のクラスにおける授業改善と教授法向上に向けて II」	動物実験講習会
平成29年度理工学研究科・理学部・工学部合同FD講演会「大学教育の質的転換とIR」	看護学科教員FD研修
平成29年度理学部FD講演会「学生たちの現在と教養教育の課題」	よりよい実習指導に向けてー理論と実践を学ぶー
平成29年度全学FD研修会～新任教員を中心として～	シミュレーションを用いた授業(教授)設計と評価のプロセス
英語による授業担当者のためのFD研修会 ※年6回実施	看護研究論文の作成、投稿のプロセスと査読の受け方
FD・SD研修会 アクティブ・ラーニング型授業の設計	看護学科新カリキュラムにおける新科目教授のための基礎的知識
教育実践報告会「英語による授業やクォーター制に伴う授業設計の取組事例」	看護学科新カリキュラムにおけるシラバスの作成と評価方法
面接手法に関するFD(H29年12月)	新カリキュラムに関する情報交換会
面接手法に関するFD(H30年3月)	発達障害の理解とその傾向のある学生への対応
授業がうまく行かない時どうすればいいかを考えるーわたしはこうして改善しました 実践報告その1	営業秘密について
全共英語, なぜ私はすべての学生にSをつけるのか?ー実践報告その2	コンプライアンス教育
共同による学習支援の課題を整理するーチーム指導と能力開発ー	リエゾンゼミ I 研修①ブックリーディング②レポートの指導
博士人材のためのキャリアデザインとその実現ー知らない○○には就職できないー	リエゾンゼミ I 研修③プレゼンの指導の仕方
就職活動をにらんだ学生生活と大学に求められる支援	学生のメンタルヘルスについて
授業改善のためのアンケートの実施・分析・公表等	障がい学生の理解と支援
意見箱における授業改善活動	アカデミックポートフォリオについて
新任・転任教員等教育研修会	新任教員等研修
全学統一テーマ「成績評価」に基づく改善活動	研究倫理について
グローバル教育推進にかかるFD研修(米国・ワシントン大学)	キャリア形成支援について
グローバル教育推進にかかるFD研修(株式会社アルク)	地域共創について
大学教育のグランドデザイン	EduTrackの活用法
大学授業入門	前期ベストティーチャーと語るFD
学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	後期ベストティーチャーと語るFD
講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイナーー考え方と進め方ー	ポータルサイト活用セミナー(基本操作編)
大人数講義法～良い授業づくりのコツ～	ポータルサイト活用セミナー(アンケート機能活用編)
はじめてみよう! アクティブ・ラーニング	シラバスツール入稿・操作セミナー
グループワークの技法	スローラーナーに関する研修会

シラバスブラッシュアップワークショップ	カリフォルニア州フレズノでの教員研修
新任教員のためのリフレクションセミナー	新任、新着任教員向けFD研修会
能動的学習支援者必須！グループワークのためのファシリテーション入門	新任教職員研修会
メンタルヘルス研修会－ストレスマネジメントおよびアンガーマネジメントの基礎知識－	授業公開(2期間)
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針	教職員カフェ(計3回)
平成30年度科研費制度改革について	ふりかえりシート(ディプロマポリシーに基づいて身につける能力の自己評価)
神戸大学オープンアクセス方針について	アクティブ・ラーニング研修会(計2回)
神戸大学における情報セキュリティ対策について	FD通信の発行(計2回)
JST 早期ステージ研究支援グラントについて	大学改革を成功させるために必要なものとは(FD・SD合同研修)
ハラスメントについて(ハラスメントDVD視聴)	ICT活用と著作権(1回実施)
文部科学省事業「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」について	自発的な授業外学修を促すにはどうすれば良いか(2回実施)
面接者セミナー	地域連携活動を学生教育にどうつなげるか(1回実施)
佐賀大学鍋島地区TPミニワークショップ	ループリック活用研修会(4回実施)
鍋島地区簡易版TP更新ワークショップ	授業改善のための達成度自己評価システムの活用について
佐賀大学TP作成ワークショップ	藤田学園が目指す研究活性化の取り組み
佐賀大学新任教員研修会	カリキュラムマネジメント体制の確立に向けて
平成30年度科学研究費助成事業－科研費－の公募に係る説明会	学力低下問題とその対策
自己点検評価委員会・特別講演会「プロフェッショナルリズムの教育と評価	コミュニケーションツールとしての私の英会話学習法(SDと合同開催)
医学部ダイバーシティ推進 講演会	社会の変化と大学教育の課題
TPを利用した教育改善に関する講習会	アクティブな知の実践を考察する
「学生たちに勉強の仕方をどう教えるか」	教育の質保証の時代 これからの評価のあり方
「新任教員に対するFD研修会」	学科FDの活動事例
学部教育の授業を参観	ActivePortalの使用方法について(基礎編)
「滋賀医科大学の医学教育を振り返り、これからを考える」	ラーニング・コモンズの活用方法について
「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針で定める研究者等の倫理的責務について」	学生や学生の保護者に対する説明の際の誤解されない話し方
コーチング研修① コーチング概論と質問力	「主体的学び」につなげる評価と学習方法-基礎看護学実習Ⅱのループリック評価について-
コーチング研修② 個別対応 ～個性を活かす～	Googleの無料ツールを用いた講義の組み立ての試み

「良質なMCQ試験問題作成法について」	コンプライアンス教育、研究倫理教育
人を対象とする医学系研究に関するセミナー<第1回研究倫理教育研修会>「論文の執筆と著作権」	研究成果報告会(学内研究費助成金受諾者及び科研費成果発表)
新任教員研修	教員として授業における障がいをもつ学生への対応方法について共有化を図る
授業デザインワークショップ	チーム医療教育について
教養育成科目「スタートアップセミナー」公開発表会	授業参観をいかに授業改善につなげるか
Moodle研修会<出雲キャンパス> Moodle研修会<松江キャンパス>	初年次教育・補習教育の充実
優良教育実践表彰公開審査会	チーム医療の促進
e-learning学習会	国際交流の促進
第1回ランチョンセミナー「WILL BEを知る」	アクティブラーニングの検証と深い学びを促す授業デザイン
全国地域教育シンポジウム「地域・教育を共に学び共に創る」	「精密医療」のその先に:がん治療新時代の全人的医療とその課題
第2回ランチョンセミナー「データから見る学修効果～カリキュラムマップ、カリキュラムツリーの役割」	脳ミクログリアを標的とした認知症治療戦略の開発
第3回ランチョンセミナー「学生教育へのICTの活用に向けて～クラウドを利用した手書きレポート共有システム開発事例を聞く」	人を対象とする研究における「倫理」について
第4回ランチョンセミナー「WILL BEをより多くの学生に使うために」	英語論文の書き方のヒント
第5回ランチョンセミナー「データから見る大学生活～島根大学の卒業生に対するアンケートの結果報告」	学修成果の可視化と産業界と協同した評価
平成29年度新任教員FD研修	広報戦略 入学前・入学後の基礎教育 専門教育への橋渡し
平成29年度FDカンファレンス	新任教育職員研修会
大学院生への情報セキュリティに関する講習会	高大接続改革と「学力の三要素」～ポリシー見直しの今後に向けて～
プレゼンテーションのあり方と発表会における倫理	アクティブ・ラーニング型授業の実践事例-Moodleを用いた双方向的な授業展開-
アクティブラーニングに関わるFD	アクティブ・ラーニング型授業の実践事例-文系演習科目における試み-
千葉大学のIRに関わるFD	コースデザインを考える～授業の設計から評価まで～
新任教員研修会	アクティブ・ラーニング型授業の実践事例-スポーツ科学部における試み-
全学TA研修会	成績評価制度の現状と課題-開講期間内評価科目に焦点を当てて-
研究倫理FD研修会	アクティブ・ラーニング型授業の実践事例-Moodleを用いた双方向的な授業展開-
ダイバーシティセミナーII 「SOGI / LGBTとダイバーシティ」	アクティブ・ラーニング型授業の実践事例-講義型授業における取り組み-
学生生活関係教職員研修会	教育改善活動フォーラム「共通教育の過去・現在・未来」
ダイバーシティ推進研修会	研究倫理と不正防止について

エンロールメント・マネジメント(EM)勉強会	教育の改善、質向上について(授業評価の開示について)
情報セキュリティセミナー	本学の将来上に関する現状と今後について
キャリアとカリキュラム ～教育? 探検? 人との繋がり～	教育活動改善の実践報告と今後について
筑波大学大学院の教育改革—学際性と国際性に対応する学位プログラム制への移行—	学習動機から考えるアクティブラーニング
魅力ある短期プログラムをつくる ～カリフォルニア大学の短期留学プログラムを学ぶ～	学びを促す協働学習の手法
大学教育の新しいトレンドとキャリア ～カリキュラム, 就職サポート, 国際協力～	パワーハラスメント・アンガーマネジメント活用研修～パワーハラ<アカハラ>をおこさないための基礎知識～
チューターによる学生支援のあり方について(医学部学生支援室主催)	「学生と接する上で知っておくと役立つこと」
平成29年度からの大学の新体制について	「今日からできること～LGBTを含めた全ての子どもたちのために～」
書ききれない	「公正な試験実施に向けて—共通理解の促進と防止策の共有—」
全学FD_平成29年度第1回～第15回授業参観・授業研究会	アクティブラーニング入門セミナー
全学FD_SIH道場授業担当者FD説明会	大人数講義法の基本
全学FD_平成29年度アクティブラーニング入門セミナー	3つのポリシーの開発と一貫性構築
全学FD_講演会&ワークショップ	現代学生の理解と関わり方
全学FD_ティーチング・ポートフォリオ説明会	本学LMSの基本操作実習
全学FD_SPODフォーラム2017	シミュレーション教育委員会活動報告(2017/7/26)
全学FD_ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	科研のとり方 (2017/8/23)
全学FD_全国大学教育研究センター等協議会公開FD講演会	自分のこととしてのキリスト教(2017/8/31)
全学FD_APシンポジウム	ヒューマンケアリングを語ろう。お互いの考えや実践を知ろう。(2018/3/19)
全学FD_AttracTube	ハラスメント相談への対応(2018/3/15)
全学FD_スマートフォンを活用した授業改善	ヒトゲノム・遺伝子解析研究 被験者保護と改訂指針の留意点
全学FD_授業設計WS	3つのポリシーと学習成果の評価方法
新任FD研修会(6/9)	ICT活用研修会
全学FD講演会「学修成果の把握と教育の内部質保証システムの構築について」(12/15)	浦上四番崩れと日本の近代—キリスト教主義教育の再確認—
医学部FD「医療系学生に対するコミュニケーション教育」	2017年度各学科開催FDの報告
大人数講義型授業でのアクティブラーニングの試み～授業公開及び受講学生も交えたFDの新モデル(3)～	私の授業
主題的学習促進支援システムLACS講習会(2回)	私の授業 —保健看護学科での取り組み—
FD・SDスプリングワークショップ/サマーワークショップ	協同学習に基づくアクティブラーニング

発信型の英語運用能力の増進に向けて	上代皓三記念講演会「上代皓三先生と感謝の日々」
外国語教育を考えるー学習者中心の観点から	障がい学生支援について ～応用編～
平成29年度長崎大学メンタルヘルス後援会	①高大接続改革と本学の入試について ②研究倫理とeラーニングコースの受講について
平成29年度情報セキュリティ講習会(2回)	①岡山県人権教育・同和教育研究懇談会報告 ②科研費制度改革説明会報告 など
多様に進化する学生のニーズにこたえる大学へ	H33年度入試に向けて行うべきこと ～本学の入試改革～
入学者選抜における面接実施に関するFD	双方向ライブ・オムニバス授業
教学マネジメントに基づいたシラバス改訂とその作成要領について	アクティブラーニング研修
キャリア教育講演会(2回)	マナバフォリオ研修
新任教職員ガイダンス	多様な学生を支援するための情報提供・連携・支援の実際
教学マネジメントFD	授業デザイン
平成29年度管理職FD「女性教員を増やし、定着させ、活躍させるために何ができるか」	高大接続における基礎教養科目の考え方
新潟大学大学院教育組織改革の方向性ー保健学研究科での認識共有を図るー	障害学生への修学支援と障害学生支援体制の課題と対応
大学院の機能強化と更なる活性化に向けてー中期目標・中期計画に関連した取り組みー	アクティブラーニングと授業設定
成果基盤型学習とアクティブラーニング	授業参観のすすめ／看護学部教授 夏原和美
ポートフォリオ作成のためのワークショップ	『「書く力」「考える力」を鍛える～看護・介護福祉教育、研究、臨床の場で生きる指導とは～』／桜美林大学教授 井下千以子先生
「反転授業」と「ヒト型ロボット」による新しい大学教育について	学びを促すシラバスの作成～私立大学等改革総合支援事業への対応を踏まえて～／事務局参事 南部直気
カリキュラムマップの作成について	看護職として求められる基本的な資質・能力～看護学教育モデル・コア・カリキュラムについて～／日本赤十字看護大学教授 佐々木幾美先生
国際認証の受審に向けて	カリキュラム・アセスメント・ポリシー作成 ワークショップ／大阪大学准教授 佐藤浩章先生
ポートフォリオの運用方法について	「いま学生のために取り組むこと」を考える／事務局参事 南部直気
【教養教育FD】平成29年度教養教育授業参観・研究会	高校教育の現場におけるアクティブラーニングの現状と課題
全学FD「医療英語研修」	入学前から初年時のリメディアル教育と課題
全学FDーICT を用いた授業の方法ー	今！教職員が学生の学力を高めるために”すべきこと”とは
全学FDー大学入試制度改革と本学の入試実施状況ー	学生自身の学びに直結する教師の教え方はどうあるべきか？ ～学生の学力向上に向けた取り組みを探る！～
全学FD 「大学教育論」／University Education Workshop to be held on August 25 and September 12	東京医療保健大学を語る会
全学FD 「授業方法研修会」	私立大学を取り巻く諸問題について

全学FD「研究力強化概論」/The 2017 Academic Year Hiroshima University All Campus FD New Faculty Training Program “Introduction of enhance research capability”	平成29年度総括と平成30年度に向けて
全学FD「研究マネジメント研修」/The 2017 Academic Year Hiroshima University All Campus FD New Faculty Training Program “Research Management Training”	学生を惹きつける授業とは
全学FD「到達目標型教育プログラムにおけるアクティブ・ラーニングの意義と課題」	Glexa(E-learningシステム)活用に向けての講習会
Engaging students in learning in English-medium classes全学FD英語による授業の方法	平成29年度 第1回 臨床研究教育研修会「医学研究と利益相反について」
平成29年度 広島大学ハラスメント防止研修会	第5回 FD&SD「教育・研究集会」
平成29年度 個人情報保護に関する研修会 etc	平成29年度 公的研究費の不正使用防止のためのコンプライアンス教育研修会
教育におけるハラスメントについて	『多職種連携教育とシミュレーション教育法』第1回講演会「多職種連携教育の意義」
学生と教師を繋ぎ、結ぶ、アクティブ・ラーニング型授業のデザイン	『多職種連携教育とシミュレーション教育法』第2回講演会「岐阜大学における多職種連携の試み」
メンタルヘルスケア講演会～対学生メンタルヘルスケア編 Lecture on students' mental health care	大阪医科大学 FD&SD特別講演会「人体にやさしい、紫色LEDを使った、太陽光に近い白色LEDの開発と応用」
効果的なグループワークのためのファシリテーション入門ワークショップ Introduction to facilitation for effective group work	大阪医科大学 特別講演会「すぐに役立つフレイル・サルコペニアの知識」
問いと学習環境を意識した授業づくりの方向性ワークショップ How can we develop lessons with effective questioning and learning environment	平成29年度 第2回 臨床研究教育研修会「臨床研究法の施行と本学における対応」
ルーブリック評価入門ワークショップIntroduction to Rubrics	『多職種連携教育とシミュレーション教育法』第3回講演会「多職種連携教育における遠隔シミュレーション教育法の意義」
授業運営の苦悩～解決策を探る～Troubles and worries in class management? Exploring solutions (Workshop)	第6回 FD&SD「教育・研究集会」
Teaching in Englishワークショップ Teaching in English Workshop	研究倫理教育講習会
Workshop on creating rubrics	学修状況調査実施説明会
アクティブラーニング導入ワークショップ	学修状況調査結果報告会
ルーブリック評価入門ワークショップ	授業実践報告会
ELMS講習会～授業でELMSを活用する～	SNS・ネットの世界との関わりと指導のポイント
Classroom management techniques for classes conducted in English	生き生きとした授業の実現のために:アクティブラーニング
シラバスのブラッシュアップ研修	クラス運営における集団指導と個別指導のポイント
3つのポリシーの策定の意義と一貫性構築手法	研究発表交流会「ポスター発表」
入試結果データ等から見える学生募集・広報における課題	外部研修報告
資格・検定試験の具体的な活用法と記述式問題の研究～高校現場の状況から～	生き生きとした授業の実現のために:インストラクション・デザインのすすめ
高大接続改革の事例研究	FD研修会 学習成果の可視化と向上への取組

平成29年度共用試験CBT問題作成説明会	要支援学生対応研修会
平成29年度臨床診断学実習に伴う指導標準化講習会	3つのポリシー策定と一貫性構築手法
話題のルーブリック評価	科研費審査システムの変更について、科研費獲得の道、科研費獲得のコツ
平成29年度Post-CC OSCE評価者技能標準化講習会	カリキュラム・アセスメント策定研修
平成29年度共用試験OSCEに伴う学内評価者講習会	学校法人会計基準の解説と学園の財政
日本の医師養成制度(卒前・卒後・専門医)変革の現状と宮崎大学の対応	倫理研修会「個人情報保護法改正に伴う人を対象とした医学系研究に関する倫理指針改正のポイント」
eポートフォリオシステム	平成28年度ベストレクチャー賞受賞者による公開授業
共用試験CBT及び学内の総合試験(特別講義試験)等の問題作成能力の向上を図る	Teaching in English Lunchtime Gatherings SharePoint Session : Teaching Methodology
相互研鑽による大学教育の飛躍をめざして	初級者を対象としたCLILと外国語教育(1)カリキュラムに対する教師の意識改革とその実践
教育改善FD(カリキュラムマップ、カリキュラムフローチャートについて)	授業の改善にチャレンジしてみよう!
新しい3つのポリシーに対応したカリキュラムを考えるFDワークショップ(講演)	言葉だけに依存しない授業とは?場面依存度&認知力要求度が高い授業を目指して
新しい3つのポリシーに対応したカリキュラムを考えるFDワークショップ(オンライン)	権利処理実務者からみた大学と著作権
発達障がいのあるならびにその可能性のある学生に対する理解と支援(講演)	Waking up students creativity and interest
発達障がいのあるならびにその可能性のある学生に対する理解と支援(オンライン)	Effective feedback on students' work 学生の課題に対する効果的なフィードバック
入試改革の状況	Taking Time to Breathe: Mindfulness in the Classroom
夢の「看護解剖学」への挑戦	ルーブリックを用いた成績評価
医学系倫理指針の要点と、研究倫理審査の動向	主体性開発メソッド「タクナル」体験ワークショップ
様々な角度からみる看護技術 ~主にクリティカルケア領域に焦点をあてて	研究における倫理的配慮(その3)
医学教育ワークショップ	発達障害について
初動応急対処訓練	ハラスメント講習会
学生の主体的な学びにつながる授業実施方法	コミュニケーション・ワークショップ
障害学生支援研修	応急手当講習会
財務会計出前講座	ハラスメント・個人情報取り扱いに関する講習会
大学改革支援研究会・公立大学に関する基礎研修	TV会議システムの操作説明会
公立大学職員セミナー	平成29年度第一回学内公開授業
公立大学中堅職員研修会	山形大学FD合宿セミナー
学長と大学院生との懇談会	平成29年度第二回学内公開授業

学長と学生による教育に関する懇談会	研究活動の活性化と研究倫理
第30回全学SD・FD研修会	「教育力のJIU」を謳う
第34回IPUミーティング	E-learningシステム「Moodle」へのお誘い
第35回IPUミーティング	授業改善を資する新たな授業アンケートへ
第37回IPUミーティング	学生の主体的な学びを進める授業設計
第38回IPUミーティング	障害のある学生に対する支援の現状
入試改革の経緯－課題と可能性(FD/SD)	発達障害のある学生支援の実際-合理的配慮の基本的な考え方と対応-
修学に困難を抱えた学生への対応のポイント(FD/SD)	聴覚障害学生支援の実際
外部資金獲得研修会「科研費獲得のための研修会」	学内ICT利用促進のための研修会
SPOD講師派遣事業「授業アンケートを見直しませんか？」	高等教育について
アンケートの実施と心理尺度作成の基礎	情報品質から見た統計処理の考え方と原則
R(フリー統計ソフト)を使った統計処理について	看護系大学院設置からみえる高等教育
経済学の見方、考え方－医療と経済学－	成績評価についてのワークショップ
メンタルヘルスにおける医療経済分析	私の教育経験を語る－質の高い教育環境の構築を目指して－
高大接続改革の概要と動向について	成績評価と質保証
ICTを活用する予習主体の授業でアクティブ・ラーニングへ誘う～反転授業～	8/2FD講演会「教員が自らの教育活動をふり返る 教育力向上を目指すティーチングポートフォリオ」
高大接続改革にどのように向き合うか	9/19FDワークショップ「私の教育実践」
地域とともに作る授業科目の企画、運営、評価	9/13FD「臨地実習の到達目標について考える」
障がいのある方へのちょっとした手助けのために-あいサポート運動の取り組み-	9/18FD「看護学生の卒業時目標到達に必要なコンピテンシー」～臨時実習における学生の成長を支援する～
授業改善意見交換会	三つの方針策定後の教育課程の自己点検に基づく、ディプロマ・ポリシー達成に向けた内部質保証とは何か(年間統一)
新任者の研修－eラーニングの紹介	シラバスライティングと授業設計(新任教員向け研修)
大学職員に必要な能力と専門性	シラバスのブラッシュアップ(在職者向け研修)
公立大学の現状と課題	授業支援システムの活用とICTによる授業改善
科研費を採択する3つの条件	特別な配慮を必要とする学生への接し方
研究倫理にかかる講習会	データで見る高等教育の現状と本学学生の特徴
地域包括ケア時代において保健・医療・福祉職に求められる能力と大学院教育	Active Learningの理解と導入

大学と地域との連携による人創り ～現代の日本に求められる人財とは～	学生の主体的な学びを促す成績評価とルーブリック
厚生労働省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の一部改正等を踏まえた倫理的配慮について	ゼミナールにおける指導・運営
地域活動に関するFD 実践報告会	ICTを活用した授業改善
Technological Competency as Caring : Implications for Patient Centered Nursing Practiceケアリングとしての技術力: 患者中心の看護で重要なこと	アカデミック・ライティングの指導法
横浜市立大学における入学者選抜について	大人数教室における効果的な授業運営
成績評価ガイドラインとアセスメントポリシーの策定	学習意欲を向上させる授業設計と技法
初年次教育の動向について	グラフィックシラバスの作成と活用法
ナンバリング	グループ形式による模擬授業
初年次教育	全学および各学部FD活動の報告会
アクティブラーニングおよびルーブリック	大学IRとエンrollment・マネジメント
障害学生支援体制の構築	アクティブラーニングの取り組み
学生理解と教学システムの利活用	学生のやる気を育てる
学びの変革を支える学校づくり	質問会議を活用した同僚性を高めるFD
授業評価アンケート分析結果における課題の明確化とPDCAサイクルへの活用	LTD話し合い学習法の基礎と活用
学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門	シティズンシップ教育の可能性
データで学生を知り尽くす 大学IRとエンrollment・マネジメント	高大接続と大学教育: 高校の取組みから大学は何を学ぶか
Rを用いた統計 データハンドリングとドキュメント化 実践編	レジリエンスを育む身体的活動を伴うアクティブ・ラーニング
心理学における質問紙調査法の留意点	心をつかむプレゼンテーションの技法
「英語表現(writing)」実践練習	特色ある授業実践から学ぶ(1)
ベストティーチャー賞受賞者による「選ばれる講義」の作り方	特色ある授業実践から学ぶ(2)
医療教育者として最低備えておくべき態度や心構え	AP事業年度報告会
科研費; 必ず採択される4つの要素	e-ポートフォリオ講習会(e-ポートフォリオを使って、ここまでできる学修支援 ～manaba活用のメリット～)
ハラスメント防止のための信念対立解明アプローチ	平成29年度前期 千葉キャンパス公開研究授業合評会
東京医科大学におけるカリキュラム改編・医学教育分野別評価の受審について	平成29年度後期 千葉キャンパス公開研究授業合評会
大学院カリキュラム編成にむけて-カリキュラムの強みと弱み より良いカリキュラムを目指して-	医学教育アドバンスワークショップ
新任教員を対象とした本学COC事業概要に係る研修	小テストを作ってみよう。

2017年度札幌市立大学研究交流会	アンケートを作ってみよう。
利益相反マネジメントについて	障がいを持つ学生への支援について
授業の基本研修会 新任教員向け授業の基本を学ぶワークショップ	中日友好へのメッセージ
アクティブラーニングを促す学習環境研修会	高大接続改革の展望と大学の将来
宿題プログラム活用研修会	2016年度朝日大学IR調査報告と2017年度学部方針について
教育から学習へ～新しいパラダイムの意味～	男女共同参画推進のための組織づくりー岐阜大学の取り組み紹介ー
ウェルビーイングによる学習意欲の向上のコツ	男女共同参画社会の実現に向けて
心理学から見た学生へのエンカレッジ～自信を育む方法論～	新学習指導要領に基づいた英語教育改革～高大連携を視野に～
最近の投稿論文審査システムの特徴と対策	教養教育開発室報告会
これからの社会にける理科教育のあり方	大学改革の動向と教養教育
大学教育における主体的・対話的学びとICT活用	公益社団法人私立大学情報教育協会「平成29年度FDのための情報技術研究講習会」受講報告
疑似体験を通して学ぶ発達障害者の理解と支援	教育環境の現状と取り組み
教職協働によるIRの推進	教育評価に関する学内講演会
能動的学習を促進する授業デザインー能動的学習の評価を考える	manaba講習会(前期)と(後期)
新任教員研修	「CLILの方法論と実践」講演会
大学満足度調査	「協同学習に目を向けませんか？」講演会
教養教育研究事業	第一部<<基調講演>>『学生の学修成果を保証するために～質保証にむけての学修成果測定の動向～』
教育改革フォーラム「持続的な教育改革組織の構築に向けて」	第二部<<教員向け:ワークショップ>>「平成28年度点検・評価報告書から考える本学の課題」
教育改革フォーラム「高大接続と大学教育改革 ～いま、何が求められているのか～」	第4回学生と教職員の交流会
FD・SD講演会「教職協働の実現ー教員・職員それぞれの視点からー」	外国語FD講演会
Clinical Education in Harvard Medical School	東京大学FFPミニレクチャイベント
大事なことは全て地域から学んだ～住民、多職種、医師が支えあう地域医療～	リサーチウィークスポスターセッション
第1回新任教員研修会	教育改革推進(学長裁量)経費予算による研究・開発の報告
地域基盤型医療教育	FDフォーラム「家政大式女性リーダーシップ教育に向けたFD活動 :第1弾」
第2回新任教員研修会	カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー共有・検討会
地域包括ケア時代の地域医療教育のあり方について	FD講演会「幸せの条件～心のしくみ～」

現代社会における女性－ジェンダー・ギャップと女性の貧困－/本学における男女共同参画の現状について(SDと合同開催)	奈良県大学連合FD・SD研修会「現代に求められるユニバーサルデザイン」
教職協力で取り組む教育改革について(SDと合同開催)	魅力あるシラバスの作成
LGBT/SOGIEから考える多様性－大学や組織におけるダイバーシティ&インクルージョン－(SDと合同開催)	活動性の高い授業づくり－協同学習の勧め－
授業評価	PROGについて
授業公開	平成28年度 学長裁量経費採択者による活動報告
FD研修	テスト問題バンクによる学修成果についての共通理解形成から始める学位プログラムの逆向き設計
第1回e-learning講習会「e-learningのはじめかた～初心者向け講習と個別相談～」	教養教育と学習支援について
FD－SDセミナー「2017年度福岡県立大学新入生、大学生基礎力調査結果報告会」	FD・SD(新任対象)研修会
第2回e-learning講習会「アンケート機能の活用」	新任教員ミーティング
大学改革セミナー&FDセミナー	標的型電子メール攻撃のメカニズムと対処について
図書館セミナー内ベストティーチャー公開授業	授業アンケートについて
大学改革(FD・SD)セミナー「平成28年度業務実績評価」について	3つのポリシーについて
大学院FDセミナー「大学院教育における教員と院生の関係づくり－円滑な院生指導を行うために－」	新任教員対象説明会－医療系学部・学科の教員について
FDセミナー LTD(Leaning Through Discussion)話し合い学習法の可能性	公開授業 3回
研究倫理セミナー	研修会「成績評価とシラバスについて」/「研究活動における不正防止について」
教育改革報告	全学合同検討会「学科課題シート」
医学生のプロフェッショナリズム:最近の問題	発達障害を中心に学生への関わり方について
これからの学部教育と大学運営のための教育情報分析	看護教育モデル・コア・カリキュラムについて
大学院の研究指導と体制	臨地実習の指針(評価、実習時間、マニュアルの点検等)について
全学FD/SD ワークショップ「あなたは山口県立大学についてどれだけ知っていますか？」他	看護技術強化演習について
外部資金獲得にかかる研究計画の立て方	卒業時、看護技術到達度の現状と課題について
地域課題発見FD”人間中心”アプローチが生み出す地域イノベーション	授業における、配慮を必要とする学生の支援方法を考え、学生対応の改善を図る
PROG解説会	3つのポリシーを実質化する－学生の「学び」を質保証するために－
学生の英語力を伸ばすために	第7回 発達障がい学生支援講演会 FD・SD 合同
ハラスメントについて	アオドリとアクティブラーニング推進について FD・SD 合同
3つのポリシー整備からPDCAサイクルの構築へ－チェック後のアクション(見直しと改善)に向けて	理工系講義形式授業において学生の学習を促進する授業～実践編～

ICTを活用した授業改善「著作権に配慮した資料の活用」	学生の主体性を育む授業デザイン
教養ゼミ共通のマニュアル・レポートひな型の使用状況について(教養ゼミのこれから)	学生の興味を喚起する授業デザイン
教養ゼミ内容の平準化と次年度を見据えたノウハウの共有	ルーブリック評価入門
英語での疑似体験型講義によるアクティブ・ラーニング型講義ノウハウの共有	第16回FDサロン「教育現場で使える知識伝達型授業の模索」
学部再編にともなう新学部でのグローバル教育について	第11回 FD研修会「自治体・企業等との協働による地域志向人材の育成 岐阜大学COC・COC+事業の取組」
公立大学の役割と地域貢献	教育改革事業助成報告会
科研費の申請および採択へ向けた説明会	平成29年度ハラスメント研修会「ハラスメント相談における初動対応について」
イブニングセミナー「高大接続改革と新学習指導要領」	平成29年度研究倫理教育研修会、科研費獲得セミナー及び科研費公募要領等説明会
研究等倫理委員会研修会「『人を対象とする医学系研究に関する倫理指針』の平成29年2月改正について」	「公的研究費の運営・管理に関する取組みについて」「科研費プロの使用法について及び科研費使用における注意事項について」
研究等倫理委員会研修会「本学研究等倫理委員会 申請書ひな形について」	「文科省による大学入試改革について」講師:入学センター長 乳原孝 先生
講演会「システムティックレビューのやり方」	「事例報告:良い授業を創るために—授業の中で工夫していること—」講師:経済経営学部 堀池敏男 先生 人文学部 乳原孝 先生 健康医療学部 井口順太 先生
イブニングセミナー「科研費取得に向けた効果的な申請書の書き方」	「第二外国語のドイツ語学習者を対象としたドイツ語学研修—主体的な行動のための事前学習とその影響—」講師:健康医療学部 熊谷知実 先生
講演会「『グローバル社会』を生きる学生が多言語・多文化への理解を深めるために—手話の視点から—」	題目:「学習効果測定の結果報告について(仮)」講師:健康医療学部 西田直子 先生、教育開発センター 神原歩 先生、教育開発センター 湯口恭子 先生
イブニングセミナー「国際学会でのプレゼンテーション」	「障がいのある学生支援について」講師:京都大学 学生総合支援センター チーフコーディネーター 村田淳准教授
教育ワークショップ「学生による授業評価アンケート結果を活用した授業改善」	「業務・教育指導上許される注意・叱責とパワハラ、アカハラ」講師:学校法人京都学園 監事 草野功一 先生
公立大学の現状と課題	「科研費」の最近の動向
アクティブラーニングにおける授業設計	金城学園のこれからの10年を創る—危機感の共有とビジョンの構想—
倫理的感受性を育む	LGBTって聞いたことありますか?～セクシャルマイノリティ学生を支援するために～
看護学モデル・コア・カリキュラムの伝達研修	eラーニングの活用事例報告
授業実践に関する情報共有から考えるFD	情報セキュリティ
全体研修会①大学運営方針等について②認証評価報告書と課題	大学における障がい学生支援について
職場におけるハラスメントについて	金城大学の未来を見据えて～今すぐ実践できることが見えてくる～
教員の力量を育成するポートフォリオ評価のあり方	今日の部落差別の現状

教育プロジェクトマネジメント(教育を変える国際基準マネジメント手法)	今後の学園運営について
コンプライアンス研修会(全3回)	チーム医療研修
科研費獲得に関する研修会(全5回)	科学研究費採択者から講演 科研費獲得の工夫と取組み
研究者等の倫理的配慮に関する研修会(全3回)	研究活動における研究費不正行為防止に関する研修
ハラスメント防止に向けての研修会	大学入試センター【文部科学省顧問:安西祐一郎氏】の研修報告について「新テスト導入で、学生募集・入学試験はどう変わるか?～思考力・判断力・表現力を評価できる入試へ～」
授業研究カンファレンス	教育技法改善のための機器の利用に関する講習会≫ クリッカーを使用した講義法
大学改革は授業改革・意識変革から	授業研究(講義アンケート高評価教員による教授法の発表)
平成29年度新任教員研修	専門部会別研修会 高大接続・大学改革における「主体性・多様性・協働性」を伸ばす教育
6年目教員研修	大学の理念・教育目標の共有
発達障害のある学生の支援～教職員による具体的な支援方法～	教育方法改善検討会 学習能力とモチベーションを向上させるために ～学生の好事例を参考に～
すぐに始める中退予防ー中退予防は大学の質向上の基点ー	休退学状況のデータ報告
地域創成人材の養成における興動館教育プログラムの意義	臨床実習指導方法に関する講習会
研究倫理:対象者の保護と公正な研究	春学期授業に関するアンケート実施
共同学習 ～効果的なペア・グループ学習の進め方～	FD講習会(3つのポリシーと学習成果)の開催
地域連携による学びの共有と高大接続～共愛学園前橋国際大学の事例～(SDと合同開催)	春学期授業に関するアンケート実施結果公開
Teaching science in English to Japanese undergraduates	秋学期授業に関するアンケート実施
杏林CCRCフォーラム(本学が取り組んでいる地域活動の成果の報告)(SDと合同開催)	第8回アクティブ・ラーニング研究会の開催
新しい時代の大学教育をめざして「三つのポリシー(DP・CP・AP)を踏まえた教育の質保証の在り方」	第9回アクティブ・ラーニング研究会の開催
新しい時代の大学教育をめざして「大学の”アクティブラーニング”がめざすもの」	FDレポート第11号の発行
2017.4.3「経営財務の状況」(SDと合同開催)	新任教員FD
2017.4.3「中期経営計画Ⅲ」(SDと合同開催)	教務部FD「3つのポリシーの実質化と学修成果の可視化」「卒業時の質保証」など4件
2017.4.3「平成29年度事業計画」(SDと合同開催)	学生部FD「ダイバーシティ・インクルージョン推進宣言の理念を踏まえた多様化する学生支援」など5件
2017.7.12「補助金研修会」(SDと合同開催)	就職部FD「COC+事業の理解と岐阜県就職率の向上に向けて」など5件
2017.8.24「長期的な視野での計画策定等(日本私立学校振興・共済事業団 経営相談・講演)」(SDと合同開催)	アクティブラーニング型授業をデザインするー大学の授業に本当にアクティブラーニングは必要かー
2018.1.5「学園の運営面の現状と課題」(SDと合同開催)	授業デザインにおけるシラバスの意義とその作成について
2018.3.6「ALの組織的実践に向けて」(SDと合同開催)	いかにして学生の理解が深まり、学習効果が高まるのか

3018.3.9「研究ブランディング事業中間報告」(SDと合同開催)	シラバス作成に関する説明会
大学院将来構想;在籍1,000名構想に向けて	主体的な学習の支援と失敗事例から得られた学び
協同学習に基づくアクティブラーニング、若手研究奨励賞表彰式・報告会	発達障害をもつ学生に対する学修支援
学生が選ぶグッドティーチング賞表彰式及び報告会	みんなで取り組み学びあう授業づくり
協同学習に基づくアクティブラーニング	アクティブ・ラーニングを促す30の技法
医療人教育者のためのワークショップ	大学で教える人のためのルーブリック評価入門
医療人教育者のためのワークショップ・アドバンス	成績評価指標と評価基準を明確化し、ルーブリック評価を構築するために
教員向け就職支援対策講座	ルーブリック評価の導入と実践に向けて全学的な共通認識を図るために
看護専門職の自律性と責務、産業保健学部の現状と展望について	チーム医療への自己効力感を高めるファシリテーター、チューターの養成
2017.7.28 科研費獲得への戦略立て	効果的・効率的な授業のデザイン方法と授業方法(ワークショップ)春季
2017.9.11 介入研究における研究計画の立て方	効果的・効率的な授業のデザイン方法と授業方法(ワークショップ)秋季
2017.9.12 ストレス・マネジメント力を意識した学生への対応と工夫	EBSCO CINAHL Complete データベース講習会
学内研究会(教員報告・学生報告・研修事業発表・地域連携事例発表等)	新年度にあたって
人権啓発研修会	2017年度夏期 秀明学園教職員研修会
アクティブラーニング	危機管理
昭和大学アイデンティティ	本学教職課程の現状と課題
シラバス作成	大学におけるハラスメント
3ポリシーの見直し	セクシャルハラスメントについて
自己点検評価書の確認	

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務職員と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。
2017年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

B. 全学主催のSD－自由記載

秋田大学の現状と今後進むべき方向性	多職種BLSヘルスケアプロバイダーコース
接遇研修	内部質保証と認証評価～3つの方針を中心に～
大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第1回【新任職員研修】	平成29年度中期計画策定及び本学の財務及び方針について
次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)	新人職員研修(接遇・ビジネスマナー)
大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅡ)	Evening English
職員のための講師養成講座	新人事務職員業務研修
問題発見・解決の技法	社会人基礎力研修
大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅢ)	OJT研修
大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第2回	会計入門研修
スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ	IT研修 Microsoft Access 基礎
次世代リーダー養成ゼミナール(第4回)	新入事務職員 フォローアップ研修
香川大学の障害のある学生に対する支援体制	評価者再訓練・新任管理者研修
ITスキルアップ研修	外部派遣研修
ビジネスマナー研修「接遇講座」	平成30年度新入事務職員 入職前研修会
FD・SD研修会 アクティブ・ラーニング型授業の設計	ハラスメント防止講演会
新任職員研修会	職位に応じた役割を理解する
ハラスメント防止講演会	効率的な事務処理実行について
接遇研修(看護部)	最新の入試改革事例のご紹介
放送大学受講研修(1学期)	入試プログラムの趣旨:『文教らしさ』の掘り起し、視界合わせ
事務職員の在り方 教職員合同研修	「今日からできること～LGBTを含めた全ての子どもたちのために～」
放送大学受講研修(2学期)	現代学生の理解と関わり方
メンタルヘルス研修会ーストレスマネジメントおよびアンガーマネジメントの基礎知識ー	職位別研修(部長職・次長職・課長職)
次世代リーダー養成ゼミナール	職位別研修(課長補佐職・係長職)
新任教員等研修(出雲キャンパス)	職位別研修(課員)
事務職員SD研修会「大学運営の高度化を担う事務職員の能力開発について」	ハラスメント相談への対応(2018/3/15)

特別講演会「女性リーダー育成、活躍推進について」	内部質保証へむけて
管理職員研修「アンガーマネジメント」	コミュニケーションとリーダーシップ、業務効率改善
リーダー・サブリーダー研修	新任教職員研修
新採用者フォローアップ研修	大学人セミナー「本学の使命を問い直す」
学部長・研究科長向け研修「大学機能強化に係る学部の役割」	IRの取り組みから見えてきたもの
経営力を高める研修(大学改革, 財務戦略, IR等について)	決算書の読み方と財務分析、国際文化学部について、補助金の取り組みについて、私学共済の業務について
経営力を高める研修(教育, 学生支援, 入試等について)	南海トラフ巨大地震に対する防災について
経営力を高める研修(研究, 産学連携等について)	マネジメント改革・3つのポリシー・教育の質向上・SD義務化を考える
平成29年度 徳島大学パソコン講習会(Excel)	クリティカル・シンキング研修
平成29年度 徳島大学英会話研修	上代皓三記念講演会「上代皓三先生と感謝の日々」
平成29年度メンタルヘルス研修	障がい学生支援について ～応用編～
平成29年度公文書管理研修 I	①高大接続改革と本学の入試について ②研究倫理とeラーニングコースの受講について
平成29年度国立大学法人等若手職員勉強会	①大学入試制度についての基礎知識等 ②本学の財務分析等
平成29年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修	①岡山県人権教育・同和教育研究懇談会報告 ②科研費制度改革説明会報告 など
平成29年度徳島大学新任教職員研修会	H33年度入試に向けて行うべきこと ～本学の入試改革～
情報システム統一研修	双方向ライブ・オムニバス授業
第16回大学改革シンポジウム「社会で活躍する人材育成(国立大学と社会をつなぐ)」	経営・財務状況の把握・分析についてのSD研修
管理職のための「働き方改革への対応」研修	大学教職員のための危機管理研修
中期目標期間における教育研究の状況の評価に係る意見交換会	人権教育研修会
大学IRコンソーシアムセミナー	ハラスメント防止研修会
研究倫理セミナー	ハラスメント防止対策研修
臨床研究セミナー	コンプライアンス研修 内部監査結果周知 新任教職員へのコンプライアンス体制事前周知
CITI・JAPAN e-ラーニングによる、研究倫理教育	研究倫理教育
CITI・JAPAN e-ラーニングによる、コンプライアンス教育	法人本部による 環境変化に応じて求められる意識行動改革
公的研究費等の不正使用防止に関するコンプライアンス教育	労働法制セミナー
公的研究費等の監査に関する研修会	緊急事態における対応の基本 ～個と組織の視点から～
公的研究費等の不正使用防止セミナー 2回	小規模大学における修学困難学生の支援の在り方について ～障害者差別解消法を踏まえて～
平成29年度鳥取大学新任教員研修会	専門家によるハラスメント防止のための研修会

平成29年度鳥取大学事務系新採用職員研修	管理者監督者対象の産業医によるメンタルヘルスケア
平成29年度鳥取大学メンター研修	本学園の財務状況・経営改善計画への取組状況等について/中長期計画の進捗状況の報告
平成29年度鳥取大学事務・技術職員人事評価制度研修	産業医による健康管理講習
平成29年度鳥取大学勤務時間管理研修	受験生の志向・行動からみる課題～2017年度入試テレメール全国一斉進学調査結果より～
提案力養成研修【初級編／上級編】	高大社接続改革セミナー2017～大学入試改革の論点整理、高大社接続等の現状と課題～
英語研修【事務系職員／技術職員】	交通安全講習～教職員の交通事故・交通違反・運転マナーについて～
メンタルヘルスケア研修【管理職向け／一般職向け】	教学マネージメントに基づく講演や業務領域を超えた知見の共有
放送大学研修【前期(4月～9月)／後期(10月～3月)】	会計システム導入に伴う操作説明会
eラーニング研修【事務系職員／技術職員】	休日勤務命令兼休日振替簿・超過勤務命令簿システム導入に伴う操作説明会
勤務時間管理に関する研修【監督者向け／一般向け】	平成29年度総合防災訓練
ハラスメント研修【事務系職員全般】	旅費の請求手続き変更について／総務課主事 小松啓太
個人情報保護に関する教育研修会	進路指導の現場から見た大学～はじめに知っておくべきこと～／入試・広報課 佐々木律成
人事評価者研修	本学の運営基盤回復のために～決算と収支の見通し～／経理課経理係長 渡部忠保
男女共同参画講習会「ハラスメントとは？～誰もが働きやすい職場環境を作るために～」	結核感染の動向と感染予防～結核はひとつとではない～／藤原記念病院診察顧問 三浦一樹先生
大学全体で多数	私立大学等経常費補助金等のしくみを理解する～私立大学等改革総合支援事業採択に向けて～
臨床研究教育レクチャー	読んでもらえる申請書を書こう～科研費採択の第1歩～／秋田大学教授 岡田恭司
ヒトゲノム・遺伝子解析研究教育レクチャー	科学研究費の申請について／総務課企画係長 鎌田隆一
平成29年度遺伝子組換え生物等の使用等の規制に関する学内説明会	公的研究費の不正使用等の防止について／経理課経理係長 渡部忠保
動物実験等に関する学内説明会	受験生の獲得に向けた研修会／入試・広報課長 近藤香
階層別(課長・係長・中堅職員・主事・新規採用職員)研修	支援を必要とする学生への対応「発達障害ってなに？」／秋田県立医療療育センター 渡部泰弘先生
実務系研修(OJTによる人材育成、コンプライアンス)	「本学の現状と今年度の見込み～計算書類から分かること～」／経理課経理係長 渡部忠保
他大学との交流研修(セルフコントロール・アサーティブコミュニケーション・人権、倫理、ハラスメント、PC、接遇・クレーム対応)	法人運営の現状と対応
公立大学協会による事務職員研修	短期大学部 別科 について
語学研修(英語力向上、事務職員の海外研修)	若手職員が創る「中・長期計画」
(注)すべて本学を設置・運営する法人が実施。	第22回事務職員研修会
障害者学生支援研修	第23回事務職員研修会
財務会計出前講座	東京医療保健大学を語る会

大学改革支援研究会・公立大学に関する基礎研修	平成29年度基本方針について
公立大学職員セミナー	大学における学修成果の把握・評価について考える
公立大学中堅職員研修会	共同研究プロジェクトについて
学長と大学院生との懇談会	情報セキュリティについて
学長と学生による教育に関する懇談会	戦略的教育プログラムについて
第30回全学SD・FD研修会	研究倫理について
第34回IPUミーティング	ハラスメントについて
第35回IPUミーティング	AI研究会、各分科会の研究計画について
第37回IPUミーティング	シンガポール視察報告について
第38回IPUミーティング	革新的材料プロジェクトおよびCMCセンターの取り組みについて
入試改革の経緯－課題と可能性(FD/SD)	内部質保証(三つのポリシーを中心として)
修学に困難を抱えた学生への対応のポイント(FD/SD)	真剣味サイクル研修(教育方針の理解を深めるための研修)
人権啓発・ハラスメント防止研修会「事例から考えるハラスメント」	SD義務化と決められる人材、椋山女学園に必要なSDは何か
高大接続改革の概要と動向について	椋山女学園大学国際化ビジョンについて学ぶ
高大接続改革にどのように向き合うか	第13回全体集会 学校法人大阪医科薬科大学の誕生—1年の振り返りと展望—
障がいのある方へのちょっとした手助けのために—あいサポート運動の取り組み—	【職員研修SD】監督職対象メンタルヘルス研修
地域とともに作る授業科目の企画、運営、評価	【職員研修SD】全職員対象情報リテラシー研修
新任者の研修—eラーニングの紹介	【職員研修SD】管理職対象情報リテラシー研修
大学職員に必要な能力と専門性	ハラスメント啓発講習会
公立大学の現状と課題	平成29年度 人権教育特別講演会 「LGBTについて知ろう～だれもが生きやすい社会とは～」
科研費を採択する3つの条件	学修状況調査実施説明会
本学のミッション	学修状況調査結果報告会
地方公務員から法人職員へ ～サービスを中心に	「建学の精神」教職員研修会
キャンパスハラスメント防止研修	ハラスメント研修会
高大接続改革及び大学入試改革の進捗状況 ～これからの大学入学者選抜に求められること～	研修会「学生への就活サポート」(大学教員から)
研究倫理研修	外部研修報告
情報セキュリティ研修	職員全体研修 学園の組織力向上
ハラスメント研修	管理職研修 メンタルヘルスの理解と実践(ラインケア)

認証評価に係る研修会	研究の倫理・コンプライアンス研修会
広島県の移住対策について	(1)第54回福岡県私学教育研修会報告(2)大学評価・IR担当者集会2017報告(3)平成29年度私立短期大学就職担当者研修会報告
SD義務化の背景と教職協働	(1)2017年度機関リポジトリ新任担当者研修会報告(2)学校法人会計の仕組みと実務報告
公立大学の現状と課題	(1)平成29年度全国障害者学生支援セミナー報告(2)教職協働時代での経営人材育成策報告
公立大学の運営と教職協働	ハラスメントにならない対応と指導の仕方(その2)
男女共同参画	発達障害について
新任職員研修	ハラスメント講習会
第1回法人職員研修	コミュニケーション・ワークショップ
第2回法人職員研修	応急手当講習会
FDSD研修会 教職分離	ハラスメント・個人情報取り扱いに関する講習会
教育から学習へ～新しいパラダイムの意味～	TV会議システムの操作説明会
ハラスメント防止対策研修会	ハラスメント行為防止研修会
学内事務職員研修	要支援学生に対する研究
教職協働によるIRの推進	私立大学を取り巻く諸情勢
新規採用者研修	これからの大学教職員の在り方 ―大学の発展を目指して―
在職者研修(2年目)	障害のある学生への対応
在職者研修(3年目、4年目)	2017年度第1回「見える化」「見せる化」情報共有会 副学長の複数化・担当制によるガバナンス強化について等
在職者研修(7年目、8年目)	2017年度第2回「見える化」「見せる化」情報共有会 2018年度学長方針等
各学部・学術教養センターの現状・課題、今後の方向性について	社会人ビジネスマナー研修
学生意識調査の分析結果、全学FD	ロジカルシンキング研修
入試制度改革に係る現状と今後の検討事項等について	ハラスメント相談員研修
障害のある学生への対応について	マネジメント研修
大学改革(FD・SD)セミナー「平成28年度業務実績評価」について	コミュニケーション研修
自覚・行動力向上研修	ハラスメント防止研修
コスト意識改善研修	コンプライアンス研修
宮城大学の質の可視化―3ポリシー策定に基づく大学教育改革の効果の評価する方策の検討―	高等教育政策と大学改革の動向
大学教職員に求められるもの	大学史から見て大学の未来を考える～職員は、今何をすべきか～

全学FD/SDワークショップ「あなたは山口県立大学についてどれだけ知っていますか？」他	コンプライアンス研修
ハラスメントについて	三つの方針策定後の教育課程の自己点検に基づく、ディプロマ・ポリシー達成に向けた内部質保証とは何か(年間統一)
効的な英語学習法について	教育実践力向上セミナー(職員の部)(テーマ:大学組織、リーダーシップ、職場のコミュニケーション)
ワーク・ライフ・バランスの推進と働き方の見直しについて	全学FD・SDフォーラム(テーマ:学内におけるFD・SDの取り組み報告)
人権講演会	大学IRとエンrollment・マネジメント
コミュニケーション研修	アクティブラーニングの取り組み
ロジカル・シンキング研修	高大接続と新選抜方式について
データを用いた提案力養成研修	ハラスメントに関する情報の共有化
語学研修(英語)	知と汗と涙の近大流コミュニケーション戦略
業務改善研修 ロジカルシンキングの基本手法と問題解決	職場のハラスメント防止セミナー
広告医学プロジェクト「歩きたくなるYIZAP」	職場のメンタルタフネスセミナー
公立大学の役割と地域貢献	初期研修(職員対象)
障害者差別解消法について	一般職研修(職員対象)
ハラスメントのないキャンパスづくりのために	主任・係長研修(職員対象)
公立大学の現状と課題	manaba course2講習会
不明	情報セキュリティ講習会
授業実践に関する情報共有から考えるFD	中長期計画における人事部の目標
H29新規採用職員研修	リスク管理・危機管理対応について
H29新規採用職員研修(7つの習慣・ディスカバリー)	第1回若手対象コミュニケーション研修
H29新規採用事務職員研修	大学設置基準や自己点検・評価など内部質保証について
アドラー心理学に学ぶマネジメント研修	平成29年度収益事業、消費税、勉強会
アドラー心理学に学ぶコミュニケーション研修	業務効率が格段にあがる知っておきたいオフィスの整理術
H29新規採用事務職員フォロー研修	AED講習会
H29目標管理評価者研修	「接遇マナー研修」-医療現場に求められる対応レベルを目指して-
事務職員中途採用者初期研修	学生のモチベーションを上げ、自立的学習習慣を確立させる。
デール・カーネギー・コース体験セミナー	第1回SD研修会「外部研修会参加者による報告会」管理職基本研修、サーバントリーダーシップ研修、ビジネス文書と電子メールのマナー研修

大学執行部SD(エンゲージメント)	第2回SD研修会「心理カウンセラーによる「学生を援助するために」をテーマとした講演
第4回管理職勉強会	第3回SD研修会「事務部署における業務について」
大学改革に活かすIR	平成29年度第一回SD講演会「マネジメント改革、3P・教育の質向上、SD義務化を考える」
学園の財務状況と今後の課題について	第一部<<基調講演>>『学生の学修成果を保証するために～質保証にむけての学修成果測定の動向～』
中・長期計画について	第二部<<職員向けワークショップ>>「平成28年度点検・評価報告書から考える本学の課題」
新学部改組について	リサーチウィークスポスターセッション
「発達障害学生に対する支援-TEACCH Autism Programの視点から-」(全2回)	部署別課題対応発表会
業務目標について	はじめてのロジカルライティング講座
関西福祉大学の経営状況について	学生・保護者満足度向上講座 満足度を向上させ不満を撲滅する。
大学の魅力創出のための行動計画について	コンプライアンス研修～個人情報保護及びSNS利用リスクとその対策～
平成29年度新入事務職員フォローアップ研修	ハウレンソウ研修「コミュニケーション基礎」
平成29年度階層別研修 イキイキと働く人・組織づくりのためのリーダーシップを磨く	高大接続と入試改革
平成29年度業務別研修会(人事関係業務)	新任教職員研修
情報セキュリティ 10大脅威とその対策コース	大学運営について
「他業種から安全管理に関するアプローチを学ぶ」	数学に関する調査・分析の報告
高校生の現状と今後を見据えた効果的な学生募集を考える	発達障害の就職支援と雇用状況
階層別研修	東北工大における高大接続改革の試み
テーマ別研修	FD・SD(新任対象)研修会
教育改革の動きと教職協働の一端を担う事務職員の役割について「3つのポリシーに基づく大学の取組の自己点検・評価と内部質保証について」	標的型電子メール攻撃のメカニズムと対処について
2017.4.3「これからの大学運営における事務職員の責務」	授業アンケートについて
2017.6.5「管理職の役割」	3つのポリシーについて
2017.12.27「本学経理事務の現状と課題」	学生への対応を語りあう
2017.12.27「学生支援体制の現状と課題」	授業における、配慮を必要とする学生の支援方法を考え、学生対応の改善を図る
2017.12.27「管理職に求められる能力」	3つのポリシーを実質化する -学生の「学び」を質保証するために-
2017.12.27「就職・キャリア支援体制の現状と課題」	第7回 発達障がい学生支援講演会 FD・SD 合同
2017.12.27「本学教職課程の現状と課題」	アオドリとアクティブラーニング推進について FD・SD 合同
2017.12.27「本学事務組織の現状と課題」	人事考課制度の導入を見据えて、組織能力の向上にむけた目標管理の設定や業績行動とその評価方法について

2017.12.27「認証評価の視点から学ぶ大学の現状と課題」	救命救急講習
全学でのSD始動！！ -私たちが知っておくべきこと-	消化・防災訓練
第18回日本のMayo Clinic をめざす会全体集会「看護部の立場からしてきたこと、得られたこと、今後の課題」	グランドデザイン2015の進捗状況
第19回日本のMayo Clinic をめざす会全体集会「事務部門の立場からしてきたこと、得られたこと、今後の課題」	学園の概要ガイダンス
第1回医療マネジメントセミナー	講義形式により、私立学校の事務職員としての基礎的な知識と実務能力を身に付ける
第2回医療マネジメントセミナー「医療マネジメントの真髄」	大学行政管理学会JUAM第21回研究集会参加報告会、学内自主研究の推進等協議
第3回医療マネジメントセミナー「これからの医療に求められるもの」	「私の部署紹介」①
「大学力の強化とその評価」について	「私の部署紹介」②
3つのポリシーに基づく大学の自己点検・評価と内部質保証について	「私の部署紹介」③
教学マネジメントに関わる専門的職員の育成について	「私の部署紹介」④
学生の厚生補導について	「私の部署紹介」⑤
業務領域の知見の獲得について	大学を取り巻く学生募集環境の変化から、今後取り組むべきことを考える
決算書類の読み方と平成28年度決算状況について	機関リポジトリとは
国公立大学医学部・歯学部教務事務職員研修報告	大学の広報戦略について
大学院制度について	USSから学ぶ学生募集
私学事業団研修報告	出張旅費規程
日本高等教育評価機構研修報告	補助金制度の動向と獲得数について
小田原市立病院研修報告	アサーティブ入試について
私立医科大学協会海外研修報告	学校会計と企業会計の違い
健やかに生きる	専門職大学の概要・特色
健康診断について知ろう	四條畷学園光熱費について
SPH・ラーニングコモンズ はじまりとここまで	キャリア教育
大学入試における面接の設計と評価	平成30年度以降の認証評価基準について
3年次編入・DNP はじまりとここまで	コンピュータウイルスについて
戦略的な大学の運営と教育の質を向上する取り組み (IR)	大学入試センター【文部科学省顧問:安西祐一郎氏】の研修報告について「新テスト導入で、学生募集・入学試験はどう変わるか?～思考力・判断力・表現力を評価できる入試へ～」
大学におけるダイバーシティ推進への取り組みについて	研究活動における研究費不正行為防止に関する研修

私立大学等経常費補助金～補助金の申請と利用について～	学生便覧作成に向けてのGW
競争的資金(科研費)について	業務改善(残業削減)
SD研修(中間管理職向け・SD合宿【SDマップ策定】)	大学のブランディングについて
大学ランキングの活用～THE世界大学ランキング日本版、世界版の紹介と戦略的マネジメント～	2018年度入試とオープンキャンパスに向けて
情報セキュリティ(基礎編)～大切な情報を守る～	『退学防止への方策』を検討する
GSD研修(係長級以下職員向け)	H29年度学生募集・入試の振り返りと次年度の変更点
職場のハラスメント防止セミナー	伝達講習 神奈川県学生生活協議会 ハラスメント対策研修～ハラスメントのないキャンパスに向けて～
職場のメンタルタフネスセミナー	私学助成を受けるためのポイント 経常経費補助金についてと私立大学等改革総合支援事業について
初期研修(職員対象)	新島襄の志と同志社－わたしたちの教育を考える－
一般職研修(職員対象)	大学の将来構想と危機管理～Vision150の実現に向けて～
主任・係長研修(職員対象)	発達障害学生・不登校学生等への対応について
manaba course2講習会	新任教員SD
情報セキュリティ講習会	教務部SD「3つのポリシーの実質化と学修成果の可視化」「卒業時の質保証」など4件
シティズンシップ育成をめざす教育改革	学生部SD「ダイバーシティ・インクルージョン推進宣言の理念を踏まえた多様化する学生支援」など5件
LGBTsとの共生:大学でできること	入試部SD「大学入試センター試験業務説明会」など2件
事務職員研修会(10月)	学生の学びを支援する教職員とは－ハラスメント
事務職員研修会(3月)	経営的視点で見た学生募集戦略
東京医療保健大学を語る会	人を対象とする医学系研究に関する倫理指針改正のポイント
学生生活にかかるリスクの把握と対応	財務状況等説明会
労働生産性ワーキング(電話・窓口対応を効率化する)	主体的な学習の支援と失敗事例から得られた学び
大学における個人情報の取り扱い	我々は、なぜ研鑽し、成長し続けなければならないか
国際交流について	法人の教育に関する研究発表会
教職支援センターについて	大学改革について
サイバー攻撃への対応策について	内部質保証・教学マネジメントについて
キャリアカウンセリングについて	キャンパスライフガイドの検討
大学入試改革	研究費取扱について
広報課の活動(パブリシティ編)	労務管理について
社会保障の基本～こんなとき、どうなるの？	メンタルヘルス研修

ラーニングコモンズについて	コミュニケーション研修
学費について	学生の海外留学・研修等で事故が発生した場合の対応について
日本版NCAA	法規事務研修(契約書をみるときの民法の基礎)
学生寮について	新年度にあたって
本学の研究活動について	2017年度夏期 秀明学園教職員研修会
学校等で不適應になっている青年期学生たちへの支援	対人技法
大学改革を成功させるために必要なものとは(FD・SD合同研修)	大学におけるハラスメント
全学規模の医療人教育の一環としてのSD- ①質的研究のセミナーとプロトコルのワークショップ	大学における個人情報の取り扱い
全学規模の医療人教育の一環としてのSD- ②SCAT(質的研究方法の一つ)のワークショップ	学生の学びを支援する教職員とは-ハラスメント
キャンパスハラスメントの理解と対処事例の検討	専任教職員初任者研修
発達障がい傾向がある学生への教職員としての対応	嘱託職員初任者研修
2017年度入試の状況、高大接続改革の現状と課題について	情報セキュリティセミナー
「学校法人の資産運用に関するアンケート」報告と資産運用方法について	五大学合同新人職員研修
平成29年度 大学方針説明会	和洋女子大学の大学改革について
平成29年度 後期大学方針設営会及び各学科ブランドビジョン発表会	ものを見る眼
全学主催のFDと同じテーマで合同	組織における職位者の役割
今、大学教育に期待するもの	分かりやすい説明のしかた
AP・CP・DPポリシーの進化と学修成果の検証	うつ病対策 過重労働を中心として
迫りくる「グローバル化」にどう立ち向かうのか	分かりやすい説明のしかたと公文書・稟議書の書き方等基本的業務について(事務嘱託職員対象)
平成29年度医療安全管理者養成講習会	大学がグローバル化するとは
教育セミナー「組織のリスクマネジメント強化のための人材(財)育成～目標管理との関連づけ」	和洋女子大学看護学部の教育
多職種ハートセイバーCPR AED	

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。
2017年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

C. 看護系の学部・学科、大学院主催のFD—自由記載

Mix Method 研究法	マグネットホスピタルの看護管理の現状
「実習における教育実践力の向上—学生が経験から学ぶことを支援する—」	シミュレーション教育を考える
第8回経験型実習を用いた学生指導の事例検討会	看護コアカリキュラムに基づくカリキュラム検討の状況
日本看護系大学協議会報告会	カリキュラム上のコラボレーション: 修士プロジェクトの学生指導にケースマネジメント学科の全コースが関与
看護専門職への研究支援や共同研究に関する情報交換会	学生の積極的な参加を促すような教授方法について
実習指導検討会研修会(6.10.12月)	がん看護について:終末期がん患者の質の高い在宅療養生活を促進するためのICT(情報通信技術)を活用した看護介入プログラムの開発と評価
実習情報交換会	中規模病院の看護師長が サーバントリーダーシップを獲得するための支援モデルの開発 —洗練化に向けて
カリキュラムに関する意見交換会	日本の地域在住高齢者における食料品アクセス及び近隣関係と食事及び低体重との関連
第3回香川大学ナースィング・プロフェッショナル育成入試に向けての研修	プライバシー保護のために一部非表示にした電子カルテ表示方法の実現に向けた研究
医学科FD研修会(医学教育分野別評価報告会)	「学生にとって、看護への興味と関心が深まり実りある実習経験となるための教員の関わり」
eラーニング講習会のご案内「e-Learning(Moodle、e-ポートフォリオ)新バージョン体験講習会」	研究法ワーク・尺度開発
実習施設側からみた実習教育制度の問題点と今後の展望	看護研究における倫理的課題
チーム医療教育における講演会～人と人、場と場、ケアとリサーチをつなぐ 地域包括ケア時代の多職種連携教育～	各看護学領域での臨地実習の具体的展開
「研究倫理教育の普及・定着に向けた取り組み」	臨地実習指導の現実
FD委員会主催 医歯学総合研究科「授業公開」	臨地実習教育が目指すものとは
入学試験面接評価者講習会	ポリシー・コンピテンシー・評価(ルーブリック)に一貫性を持たせる必要とその方法看護学モデルコアカリキュラム作成の参考になることを願って
学生自らが関心を持って学べるグループワークの取り組み	質的研究について-質的研究方法論-
検査におけるアクティブラーニング型授業の実践例～専門科目でも実施可能なひと工夫～	デンマーク研修について
教材作成のコツとグループワークの教育的意味—PBLとポスターツアーの実践から—	看護師による患者のための基礎研究 —トランスレーショナル・リサーチへの発展をめざして—
アクティブラーニング型授業における教材開発の実際	看護管理者が協働者としての看護情報に精通した看護師に必要としている情報能力について
ハラスメント防止研修—教員と学生間に焦点を当てて—	看護師長の看護実践について
本学が経理する全ての経費の適正な執行について	科研費採択へむけての準備 —申請書類作成のコツ—
科学研究費実施計画書の作り方、書き方	創造性を生み出すパブリックアチーブメントの役割

新人看護職の職場適応と離職防止 ～看護師養成課程での教育、臨床現場の準備～	学生が身に付けるべき資質・能力の目標を明確にする
公開授業(テーマはありませんが学生の授業評価の高い授業を公開して共有している)	五反田ビジョンに基づいた目標の共有
障害修学支援FD	グローバルナースプロジェクト
大学院教育の充実・活性化に向けて	岩澤和子前厚生労働省課長から看護教育者へのメッセージ
VISUALEARNシステムの利用、および視聴覚教材リストについて	看護学部での基礎科学(生化学)における教育の工夫
もっと使える?情報環境機構-ICTサービスの教育利活用のすすめ-	アルバーノ大学研修報告
あっぱくん講習会	看護基礎教育におけるICT活用の可能性 システム構築に向けて
成績評価の考え方についての検討会	エンドオブライフケア学構築に向けた取り組みと大型研究費獲得までのプロセス
成績評価の考え方についての検討会	JMPソフト導入とその活用
FDセミナー(すぐれた取り組みの紹介)	論文とは何か:その本質と演習
FDセミナー「医療機器を留置した患者のMRI検査を支援するMR適合性検索システムの実用化」	実習指導に当たる教員のためのFD企画ワークショップ;多様化する実習に対応するために
授業参観「母性看護疾病治療学」	新カリキュラムの理解とディプロマポリシーを踏まえた学生の教育
授業参観「放射化学」	2017年度カナダ夏季セミナー研修院側報告
授業改善のためのアンケート結果報告	「系統看護学講座」創刊50周年記念セミナー～看護教育の未来を見据えて～の参加報告
シラバスチェック実施報告	新任教員オリエンテーション
FDセミナー(授業参観の実施報告・意見交換)	看護教育評価
「ポートフォリオの活用」及び「アクティブラーニングについて」	統合実習FD
「ベストティーチャー賞受賞者による講演」	臨地実習指導者研修会
「学生のメンタル面などに対する教員側の対応や考慮すべき点について」	科研申請について
看護研究における量的研究に関するシリーズ①研究計画を練る	新任教員目標設定における中間評価
看護研究における量的研究に関するシリーズ②調査計画・内容を詰める	新任教員目標設定、振り返り、フォローアップ
看護研究における量的研究に関するシリーズ③解析手法を学ぶ	領域別実習振り返りFD
看護研究における量的研究に関するシリーズ④データを集める	臨地実習指導者責任者調整会議
看護研究における量的研究に関するシリーズ⑤事例に学ぶ	アクティブラーニング
e-ポートフォリオの概要と使い方	大学教育におけるシミュレーション教育の理念と実例
Moodleの活用について	災害時の看護学科支援体制について
再生医療の実用化に向けて-アカデミアとして留意すべきこと-	大学院教育を良くするための意見交流会 -ファシリテーションを活用して-

医学・看護学教育ワークショップ	職場におけるポジティブマネジメントー生き生きと自分らしく仕事をするためにー
実習指導にあたる教員のためのFD企画ワークショップ:多様化する実習に対応するために	研究を語る会
実習指導について	タキノミーを試験問題作成に応用する
後期の実習内容の説明	看護の臨床研究における倫理について
臨地実習指導に向けた電子カルテに関する研修会	大教室授業で秩序を保つ工夫
3年生臨地実習指導における困難な事柄などについて参加者全員で検討する	研究助成金申請書の書き方
臨地実習指導における困難な事柄などについて参加者全員で検討する	学部入試面接員スキルアップ研修
臨地実習まとめの会	大学院ファカルティカフェ 高度実践能力向上を目指す実習について語ろう その1
JAICAボランティア等理解促進調査団による視察報告 文化と国境を越えた看護活動の実際ー青年海外協力隊としての体験	大学院ファカルティカフェ 高度実践能力向上を目指す実習について語ろう その2
看護教育の自律的・継続的質改善(CQI)の戦略を練る	看護学教育モデル・コアカリキュラム
カリキュラム開発に関する意見交換会	新任准教授による教育・研究発表会
“見て・感じ・考え・実践する”「産業看護実習」	看護学教育の自律的・継続的質改善:CQIの戦略を練る
シラバス作成に関するFD	PROGのジェネリックスキル
発達障害学生の支援について	OSCEの実施に向けての取組と運営の実際
シラバス点検に係るFD	ハラスメント防止研修会
平成29年度看護学研究科新任教員FD	教育原理、看護教育方法勉強会 全6回
看護学研究科における大学院生の教育実践向上に向けたTA・RAのあり方	誠実で意義のある研究を行うために
途上国で日本人ナースが活動するには	研究倫理審査の申請について及び利益相反について
大学院入試問題の作成	災害時の避難者支援を学ぶ(SD研修会と共催)
パフォーマンスマネジメント(4回)	社会の変化をふまえたあらたなカリキュラムの作成に向けて
競争的資金獲得の戦略	新たなディプロマポリシー(DP)(案)の共通認識
アクティブラーニング	新しいDPと教育内容の枠組みの決定とアドミッションポリシー(AP)の検討
学生の英語力を高める	教師に求められる力とアクティブラーニング
看護学専攻(講座)FD「夏季研修」	アクティブラーニングのデザインと評価～学生の個人評価とプログラム評価～
保健学科FD研修会	卒業研究の論文指導
看護学専攻カリキュラム検討会	共同看護学専攻(博士課程)について

学生支援のための研修会	ガルーンの利活用の底上げについて
医学部新任教員研修会	臨床で教育を担う教員、看護職のための「教育」とは
第64回医学教育セミナーとワークショップ in 昭和大学	誠実な科学者の心得
第5回学部連携PBLチュートリアルチューター教員振り返り会	平成30年度科学研究費助成事業応募説明
第6回模擬患者参加型教育検討会	経験型実習教育の理論と実際
医学部FD講演会「分野別評価まであと1年～適合に向けて必要なこと～」(7/5)	看護教育における授業研究の意義と企画・運営について学ぼう！
医学部FD講演会(実践型セルフケア研修会)「コミュニケーションスキルとしての傾聴を学ぶ」(9/8)	発達障がい傾向のある学生への教育的配慮
医学部寺子屋FD「教育効果を測定するための学習目標の設定 他」(7/27、8/29、9/15)	高度実践看護師(APN:NPを含む)の課題と展望について
医学部FD講演会「患者の身体だけで学べますか？～クリニカルアナトミーラボの挑戦～」(9/19)	(トップ)ジャーナルにアクセプトされるための研究設計・論文作成法
医学部FD講演会「JACMEによる医学教育分野別評価」(2/14)	これからの大学教育・看護学教育の在り方を踏まえた本学科の課題と方向性～教育の質の維持向上をめざした効果的・効率的な取り組みに向けて～
医学部FD講演会「医療系学生に対するコミュニケーション教育」(3/13)	看護学科学生の主体的な学習を促す授業運営上の工夫～平成29年度授業評価アンケート(1・2学期)の分析結果を踏まえて～
なくそう、防ごう、気づこう、アカデミック・ハラスメント	‘学び方を学ぶ力’を育むアクティブラーニング～学習パラダイムに基づく教授方法～
学生の海外渡航および被災地支援等におけるリスク管理	ポジティブ心理学看護教育に活かすためには
面接試験の設計から実施まで	質的研究(グランデットセオリー)3回シリーズ
長崎大学におけるハラスメント対応	混合研究法
合理的配慮の対象となる学生への対応	本学教職員に期待する社会貢献-FDマザーマップを活用して
合理的配慮の対象となる学生への対応(演習編)	授業設計 教員が教えることと学生が学ぶこと
研究倫理: 利益相反とは何か	授業参観での学びを基にした教授法の検討
長崎がん看護・リハビリテーションマネジメント研究会	初歩から始まるSPSS
病院と大学のパートナーシップ構築	自分の教育観について語り合おう(ナラティブしよう)
実習指導を効果的に行う方法～お互いの経験を生かした学び合い～	新任教員の研究紹介
倫理指針をひもとく～具体例を示して～	教育について考え、本学の教育の方向性を共有する
大学で教える人のためのルーブリック評価入門	共同研究費による学外研修費]助成成果報告会
これからの大学に求められるもの	共同研究費(若手研究・領域研究)]助成成果報告会
高度な文献検索の講習会～日本語文献を網羅的かつ系統的に検索するスキルを身に付ける～	次年度の授業計画の改善に向けて-より効果的教育方法を検討する-
英語文献検索の講習会 Ovid MEDLINE(R)、EBM Reviewsの活用	ピアレビュー

実践に根ざした研究をデザインする ～地域高齢者の社会的孤立予防を考える～	リサーチクエスション、研究計画の立て方
混合研究法のデザインとプロセス	ヒトを対象とした研究の倫理的配慮
学習支援システム「Web-Class」および「e-learningシステム(Glexa)」の利用について	看護学教育におけるカリキュラムと授業
山形大学医学部における教育改革～診療参加型臨床実習への取り組みと大学を中心とした地域医療構想～	楽しい授業
入試面接の面接員としてのスキル向上	看護の課題を科学的に探究しエビデンスを活用する能力の達成を目指す研究指導－EBPIに向けてエビデンスを活用する－
時代を見据えた看護の在り方と看護学教育の展望	アカデミックハラスメントの防止のために(2)～事例に基づくグループワーク
これからの医学教育について－モデル・コア・カリキュラム改訂を踏まえて	「チームケア論」IPE演習に向けて～事例検討とファシリテートの実際～
看護学教育に関するFDワークショップ	新カリキュラムの老年看護学概論について
大学院保健科学院FDワークショップ「イノベーションはなぜ途絶えたか－科学立国日本の危機」	新カリキュラムの成人看護学概論について
医学部保健学科FDワークショップ「多様な人材が存分に能力を発揮できる研究環境とは？～女性研究者支援の取組から～」	新カリキュラムの母性看護学概論について
Moodle活用による教育展開	新カリキュラムの小児看護学概論について
自身の講義にMoodleを活用してみよう	新カリキュラムの精神看護学概論について
看護学科第1回FD研修会 テーマ:「すべてはトラウマつながり」(講習会)	看護学実習における感染症対策 その1
看護学科第2回FD講習会 テーマ:「私の臨床研究と今後の展望」(講習会)	医療現場、教育現場を中心にした個人情報管理(SDと合同開催)
話題のルーブリック評価	看護教育モデル・コアカリキュラムについて
COI講習会	科研費研究費基盤研究(A)・(B)申請のために
看護実践における倫理的感性を備えた看護職者の育成	発達障害大学生へのキャリア教育と支援の在り方
国際学会参加の準備とその成果	看護のためのポジティブ・マネジメント
論文作成における最新課題:自己盗用と今話題の倫理について	多様化する実習に対応するために－教育活動にどう取り組むか－
科研申請のポイント	魅力ある教員が学生を引き付ける
我が国における看護学教育の課題と我が国における看護学教育の課題と国における看護学教育の課題と我が国における看護学教育の課題と看護学教育モデル・コアカリキュラム」	臨地実習における学生によるインシデント、アクシデント事例の検討と教員の指導について検討
初年次教育ゼミの導入	臨地実習における学生によるインシデント、アクシデント事例の検討と教員の指導について検討
高大接続改革と新入試の制度設計について	臨地実習における学生によるインシデント、アクシデント事例の検討と教員の指導について検討
面接トレーニングプログラム	学生の学びを支援する授業づくり
英語教育を考える(オンライン)	看護教員の研究との向き合い方 －私の場合－

初期臨床研修改定案から見た卒前・卒後のシームレスな医学教育	現象学的看護研究の理論と分析
卒後教育研修	ストレッチで心身リフレッシュ！
リーダーシップ研修	シミュレーション教育員会活動報告(2017/7/26)
多人数講義で無理のないアクティブラーニング～ヒントとしての橋本メソッド	科研のとり方 (2017/8/23)
コーチングを学ぶ	自分のこととしてのキリスト教(2017/8/31)
研究倫理審査申請書の書き方のポイント	ヒューマンケアリングを語ろう。お互いの考えや実践を知ろう。(2018/3/19)
現象学的視点からベナーを読み解く	ハラスメント相談への対応(2018/3/15)
大規模災害で大学が被災すること	学生の問題行動と対応そして課題
現場からの発信手段としての混合研究法	学生の強み、それをどう育て伸ばしているか
大学教職員における働き方改革	特定行為に係わる看護師研修制度の目的とその背景
学生の学びを活かす授業改善	高大接続改革「変わる入試と教育システム」
楽しい・学びたいと思える授業って？	配慮が必要な学生の看護学生の効果的な実習指導を考える
学生への学修等評価結果報告および教員間における教育上の課題・DP/CP等についての意見交換	キリスト教と看護
DPからCPへの策定プロセスの実際(京都橘大学を事例に)	ルーブリックの基本と作成
米国における大学院教育カリキュラムとファカルティ・デヴェロップメント～ワシントン州立大学スポークン校の場合～	科研費獲得のポイント(書き方のポイント)
大学院研修会「大学院教育における研究指導の質をどう高めるか」	学生の問題行動に対する教育的視点からの対応
看護学科教育研究セミナー(5回)講座企画テーマ「アクティヴ・ラーニング」「技術教育」	実習態度に問題のある学生の指導困難事例
看護学科FD テーマ「カリキュラム学習会」	基礎看護学習に向けてのFD研修 ※
学長訓示	シュミレーション教育
科学研究費申請研修会	国家試験対策を念頭においた臨地実習指導方法の検討
研究倫理研修会(ネット)	※1. 基礎看護学教育における臨地実習の位置づけ
人権研修会	2. 実習指導案の書き方
学生理解/ハラスメント相談員研修会(LGBT理解)	3. 実習指導案の指導
アニュアルミーティング(学内研究者による研究ポスター発表)	4. 看護過程の展開
FD研修会(クリッカーの使い方)	シミュレーション教育におけるファシリテーターのあり方
ハラスメント相談員/人権研修会(アカデミックハラスメント対応)	改めて看護過程を振り返る～ロイ看護理論を基盤にした看護過程の展開～
研究手法研修会(SPSS利用法)	NANDAI-I 看護診断の成り立ち

授業評価(全教科)	本学の臨地実習における学生への対応に困った事例について考えるpart1
トランジショナルケア教育	ピアレビュー促進活動
海外地域ケア研修報告	東が丘・立川看護学部／看護学研究科について～教員としての心得～
看護学教育カリキュラムの動向と将来展望－教育ビジョンについて語り合おう！－	看護実習施設説明会
科学研究費を毎年取得するために～20年連続基盤研究(C)獲得の経験から～	学生相談について
多職種による在宅療養支援における訪問看護師の役割～「食べる」意味を尊重した実践から～	乳がん予防と早期発見のプログラムに関する3年間の実践と今後の課題－女性の検診プロトコール・プログラムの紹介を含めて－
褥瘡研究における看護理工学の意義と東京大学GNRCについて	量的データの取り扱いについて
看護学発展に寄与する看護理論を学ぶ～看護理論とは、活用するとは～	臨床解剖演習 事前講義
未来に向けた看護教育の課題と挑戦	卒乳・断乳の時の大切なこと
看護学研究指導方法論	共に乗り越える安産・沐浴のヒケツ
ニューカッスル大学の紹介	臨床解剖演習
Systematic Reviewを知ろう～その活用と論文作成のコツ～	量的データの取り扱いについて
新任教員研修	国立病院機構説明会
1年次生学習に関するガイダンス	インストラクショナル・デザインを活用した授業設計
教養選択科目に関する研修会①	実習に向けた学内演習
教養選択科目に関する研修会②	モデルコアカリキュラムをもとにカリキュラム改正を考える
学位授与方針と教育活動の関連を考える研修会～学生の特性を考慮した教育の工夫～	三つのポリシー策定と運用について
外部研究資金応募に向けた研修会	アクティブラーニング～チーム基盤型学習(TBL)の実践例～
看護実践研究指導事業のこれからを考える研修会	「課題探究実習」で活用できるルーブリック作成
平成29年度学外交流FD報告会	実習における教育実践の“見える化”
国際交流スタートアップカフェ報告会	アクティブ・ラーニングの導入背景と具体的実践法
研究倫理教育プログラム(①新任教員コンプライアンス研修、②科研費代表者研修、③コンプライアンス研修、④「The Lab」視聴、⑤「CITI」受講、⑥「科学の健全の発展のために－誠実な科学者の心得－」通読)	ベイズ統計
博士前期課程2,3年次の指導内容・方法の明確化に関する研修(大学院)	『発達障害のある学生への支援について-法的・社会的背景と合理的配慮-』
看護職である学生の看護実践の改革者としての能力向上のための研究指導の充実に向けた研修(大学院)	「今どきの若者の『論理的思考力』を高める教育法」
看護学教育モデル・コア・カリキュラム公表に伴う取り組みについて	「アクティブラーニングについて学ぶ」

本学看護教育モデル・コア・カリキュラム グループワーク	各領域による研究発表会
発達障害を持つ学生への対応	臨地実習指導事例検討
ハラスメント予防対策研修	事例をもとに実習指導について語りあい、実習指導能力を高めよう！
他教員の授業参観による授業改善	実習指導のさらなる貢献を目指して
看護学科における総合看護、初年次教育のあり方について	多角的に見た真に必要とされるケア
看護基礎教育における災害看護学について	授業参観・意見交換会①
看護の動向と看護教育－施設内看護から地域での暮らしを見据えた看護へのパラダイムシフト－	授業参観・意見交換会②
シミュレーション教育の充実	授業参観・意見交換会③
看護学科・教育課程上の参照基準の確認(情報収集・検討・FD研修会開催)	授業参観・意見交換会④
看護学教育の実践力向上	授業参観・意見交換会⑤
啓発型FD「看護教育における合理的配慮と支援」	授業参観・意見交換会⑥
啓発型FD「これからの看護教育の方向性」	授業参観・意見交換会⑦
啓発型FD「臨地実習における学生の主体的な学びを言語化するレポート作成の指導」	授業参観・意見交換会⑧
啓発型FD「After Submission」	・学力向上対策研修会
啓発型・相互研修型FD「臨地実習における学習支援を考える」	・臨地実習報告会
「看護を語る会」(相互研修型)	・倫理指針改正研修会
新任教員等の教育能力を高めるためのFD研修	・ファンドライティング講座
FD の考え方についての研修	・科研費研修会
発達障害のある学生支援に関するFD 研修	・研究交流会
研究・倫理に関するFD研修	看護研究に使えるうへの式質的分析法の実践
学校脅威の教育内容・方法についてのFD研修	看護学部研究発表会
大学院生の教育力を高めるための教育方法に関するFD研修	インストラクショナルデザインに関する研修
ハラスメント防止に関するFD研修	実習指導におけるファシリテータ役割に関する研修
アカデミックハラスメントについて	現代の若者の特徴と学生指導
役立つ！学生のメンタルヘルス～学外伝達研修	若手教員研究支援テーマ
模擬患者養成についての今後を考える	1. 看護学教育におけるFDマザーマップの区分のひとつである研究マップによる自己評価
SCU看護キャリアデータベースの現状と課題	2. 論文クリティークトレーニング

これからの看護学研究科を担う若手研究者、大学院生へ向けて～学際的な調査研究を通して学んだこと～	コーチング、ティーチング技術を活用した効果的な実習指導のありかた
看護学教育モデル・コア・カリキュラムと看護学士課程におけるコアコンピテンシーと卒業時到達目標(案)の考え方	シラバスで整える授業の骨格
模擬患者参画型演習の教育効果を共有しよう	シラバスに関するグループディスカッション
看護研究支援活動を通じた病院との関係構築の取り組みの成果と課題	授業参観(食品科学実験Ⅰ)
英語の看護研究論文の書き方	新しい教育方法の提案 -LTD話し合い学習法を授業に導入した経験から-
英語の看護研究論文の書き方2	日本看護系大学協議会主催「看護学士課程教育の質を高めるカリキュラム開発に関する研修会」のWEB視聴会
男女ともに互いに尊重し合える人権 -セクハラ、マタハラのない環境づくりを目指して-	カリキュラム開発・改訂に対して大学教員として考えること
英語の看護研究論文の書き方3	アクティブラーニングをこえて Ai時代の教育と評価
看護の主要概念を英語の視点から見直す	虎の教えとサービスマネジメント論とともに
Nvivo & EndNoteの使い方	社会サービス(地域貢献)について
質的研究者のための量的研究	国家試験対策について
研究成果の社会への還元	発達障害の理解と対応
米国における看護教育と実践	妥当性及び信頼性を高めるルーブリックを活用したポートフォリオ評価法
若手教員への研究支援	看護学実習の総括的評価
科研費申請手続き	新任教員研修会
教員相互による授業参観	Amosによるデータ分析(基礎編)
長野県看護大学研修会	臨床判断を育成するための教育プログラムと学生指導のための新たなチャレンジ
研究授業(カンファランス見学)	第1回 本学看護教員の実習指導能力とスキルの向上に向けて
アクティブラーニング	第2回 本学看護教員の実習指導能力とスキルの向上に向けて
在宅看護特別教育プログラム&研究紹介/明日香村における児童・思春期の子と親に向けた健康教育の取り組み	岐阜県における看護学実習教育の現状と課題
学生の主体的学習を促す教員の活動	ジェネリックスキル
看護職のメンタルヘルスにおける行動科学のアプローチ	伝達講習 国試対策について
看護学教育ワークショップ参加教員による報告会開催	科研費申請について「どう書いたら研究申請は採択されるのか ネットには書けない秘密」
初めての医療倫理学～立ち止まる倫理のススメ～	「保健医療学部における相談活動から見てきた学生の現状と課題」
看護学生の経験の意味付けを促進する教材化の試み	「大学における相談活動の意義と現状」
ハラスメントの改善・予防に関するFD研修会	医療職を目指す多様な学生への配慮を考える
第1回 授業デザインとシラバス作成に関する研修会	アクティブラーニング室授業参観の報告

第2回 授業デザインとシラバス作成に関する研修会	前期授業参観の報告
科目間の関連性—学びの基盤から応用まで—	後期授業参観の報告
三重県立看護大学における看護過程の展開	看護教育コア・カリキュラムを基にした看護技術の教授内容について
カリキュラムマップについて—大学教育の質保証に向けたカリキュラムの構築—	私立大学における教育のあり方(看護師国家試験対策)
看護学群における教育の質向上の方策の検討	専門領域における臨地実習における教育的試み(高齢者看護学)
博士前期課程学生の「研究遂行能力」の獲得を支援するための方策	看護学教育におけるFDマザーマップの評価とコアカリキュラム
研究不正防止に関する研修会	第107回看護師国家試験対策について
研究倫理研修会	学生がどんな能力をどの程度習得できたのか
研究集談会(4回)	研究紹介 平成29年4月1日
科研費ゼミ	研究紹介 平成29年5月11日
個人情報保護法関連研修会	研究紹介 平成29年6月8日
カリキュラム開発に関する研修会・報告会(web視聴含む)	研究紹介 平成29年7月6日
学生への関わり方	研究紹介 平成29年9月15日
看護のためのシミュレーション教育	研究紹介 平成29年12月20日
ファシリテーションスキルの向上について	研究紹介 平成30年3月20日
学士課程卒業者の看護実践能力獲得状況と生涯学習支援	公開授業(老年看護学概論)
科研費の使い方	公開授業(小児看護学演習)
HOW TO GET 科研費	研修会参加「実習指導にあたる教員のためのFDワークショップ;多様化する実習に対応するために」
クリーンルーム入室患者の適応に関する研究	FD研修会「看護学大学教育の質保証を思考するカリキュラムの構築」(兵庫県立大学)内布教授
私の看護管理 より良い関係作り	(看護)学生へのキャリア・就職支援
訪問看護ステーションにおける独居高齢者の看取りの現状と課題	臨地実習の指導方法について-事例検討会-
対話法を用いた演習による学生のコミュニケーションスキル学習への動機づけの変化	平成28年度看護学部研究助成成果報告会
電気加熱型タバコ製品の有害性に関する調査	臨地実習指導者研修会
“出会ったこと不幸”と“出会えないこと不幸”の2つのキーワードでまとめる対人援助の問題	教育の質を保証する教授法—より良い授業設計のために—
過ぎ来し方を振りさけ見れば	「2017年春学期授業公開について」(看護学科)古倉聡
看護ケアの深化を求めて—皮膚・排泄ケア認定看護師活動に焦点をあてて—	「受講公開の有効化を反映する「学生の理解度を向上するための学科の取り組み」(言語聴覚学科)吉村貴子 先生
故きを温ねて新しきを知る (他に特別講演会3件あり、Q35に記述)	臨地実習をひかえて配慮が必要な学生への対応①

本学看護学科における卒業時の学生像①	臨地実習をひかえて配慮が必要な学生への対応②
尺度開発の理論と実践①	セクシャリティに関連した困難を抱える学生への修学支援について
科研費採択に向けて	人間を対象とする研究倫理申請の現状
尺度開発の理論と実践②	臨地実習指導における反省的実践を基盤にした教育方法
新カリキュラムの進捗状況	疫学的手法を看護研究に一現場を変えていく基盤となる確かな知見を生み出すー
オンラインアンケートについて	学生による授業評価の効果的活用
大学生の学修支援	発達障害のある学生への支援ー障害者支援の動向と高等教育における合理的配慮
標本抽出例数設計	若手教育研修会
本学看護学科における卒業時の学生像②	看護学教育におけるFDマザーマップによる研修
実践的な看護研究指導	看護学教育コア・カリキュラムについての伝達講習
科研費の採択に向けた効果的なアプローチ	BSCを用いた看護学科の見直しWS①
研究にも実践にも使えるナラティブアプローチ	BSCを用いた看護学科の見直しWS②
入試改革の現状と高校の変化	第15回リサーチセミナー
大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準(看護学分野)	第16回リサーチセミナー
科研費～採択される3要素～	看護学部FD研修会
当事者の声を活かす実践研究 ～フォーカスグループインタビュー とエンパワメント～	教育の質および学生支援の質の向上を目指す
看護学研究指導方法論	看護系大学の臨地実習の先駆的な取り組み等について
描こう！出雲キャンパスの今後	各領域実習のスタートを迎えて
本学における授業の相互理解を目指して	教育研究報告会
新任・若手教員教育セミナー(第1回)	学生支援の現状と課題を考える ～有機的連携をめざして～
新任・若手教員教育セミナー(第2回)	新任教員FD「看護系大学教育の基礎知識」
新任・若手教員教育セミナー(第3回)	教育FD「学生指導力の向上」
科研費獲得セミナー	教育FD「臨地実習指導力の向上①」
授業研究プロジェクト報告会(第1回)	教育FD「臨地実習指導力の向上②」
授業研究プロジェクト報告会(第2回)	教育FD「臨地実習指導力の向上③」
FDマップの活用方法について	教育FD「多職種連携促進のための基礎教育力の向上」
学生による授業評価アンケート	ランチョンセミナーFD「研究環境の整備と研究活動の推進」

授業担当者自己点検	研究FD「研究環境の整備と研究活動の推進」
教員による授業ピア・レビュー	地域連携FD「地域貢献のための看護実践力向上・看護研究活動の地域貢献推進能力の向上」
教員研修会「研究公正を考える～事例からの学び」	学生の学びを支援する環境づくり -ハラスメントの視点から-
教員研修会「自己発見と大学生活～学生の自己肯定感・効力感を高める授業の取組みについて～」	研究助成を得て研究をすすめるためには
看護学部:シミュレーションを取り入れた授業展開と課題 -デブリーフィングセッション(振り返り)における支援に焦点をあてて-	授業改善、何を学びの核にするか
大学院:看護研究に役立つ混合研究法デザインとその活用事例	授業見学の総括、学長裁量経費助成
領域別実習における課題と対策	ハラスメントにどう対応して、どう解決するか
教育プログラム設計	看護学教育モデル・コアカリキュラムについて
シミュレーション教育の実際	臨地実習指導の振り返り
シミュレーションにおけるデブリーフィングの実際	看護学研究・研究指導に必要な文献検索方法に関するFD研修
領域ごとの取組・計画を発表	カリキュラム改正に関する研修会
評価(査読)で研究者(学生)を元気に	本学の臨地実習のあり方を考える
院生指導の方法についての意見交換及び1年の振り返り	学部開設2年目を迎え、看護学部学生の特徴と指導について考える
発達障害をもつ学生の教育支援とは	Google classroomを使って双方向の授業を!
ハラスメント防止研修会	学生と教員による懇談会
「ルーブリック評価について」(学部FD)	看護過程の展開と指導
「看護研究に活かす統計学の基本」(研究科FD)	シミュレーション教育」研修会シミュレーションを効果的に運営するために～教育構造から考えてみよう(理論編)～
「看護研究に活用するシングルケース研究法」(研究科FD)	研究支援 文科省科研申請に向けての研修
研究で看護学科の未来を変える方法と展望	組織を活かす
平成30年度 研究費の不正使用、研究活動における不正行為防止説明会(SDと合同開催)	新設看護学部 看護教員の役割
研究倫理と倫理申請	国家試験100%を達成するためには
SNSはなぜ流行するのか「学生・若者にとってのSNS」を学ぶ	情報科学と看護-情報科学の基本から学生との3Dを活用した教材作成まで-
サバティカル報告会	一次救命(AED)講習会
科研費による研究の取り組み紹介 ～研究についてなんでも語ろう～	講義「ケア・スピリットについて」
発達障害に対する教育的支援について考える	グループワーク「教員の立場で『ケア・スピリット』について考える」
主体的カンファレンスの展開	グループワーク「カリキュラムの中で『ケア・スピリット』をいかに具現化していくか」

看護基礎教育における在宅看護の教育について<学科FD>	看護過程に活かすシナリオシミュレーションのいろは
看護学科FD「学生への対応で困難だったこと～さらにより良い実習指導の質を向上するために」	伝達講習「大学新任教員のための研修会」
看護学研究科FD「看護研究論文のクリティーク～看護研究能力の向上に向けて」	伝達講習 1.学士力の向上を目指して教育の質を上げよう！研修会 2.学生生活にかかるリスクの把握と対応に関するセミナー
経験型実習教育とは～学生が実習で得られる経験を積み重ねるために教員はどう関わればよいか～	講演会「教員の能力向上・キャリア形成のためのマザーマップ導入による本学のFD体制の構築」
経験型実習教育	若手教員を対象とした東大オンライン講座(32回シリーズ)ーインタラクティブ・ティーチングー
グループインタビュー法を学ぶ	看護学教育の自律的・継続的質改善(CQI)の戦略を練る
2017.9.11 介入研究における研究計画の立て方	科研費を獲得できる申請書の作成方法
教職員ワークショップ「3分野のアクティブラーニング実践例」	第1回教育ワークショップ:健康科学部での教育ことはじめー健康科学部の初年度における教育の連携・協働のあり方ー
大学院FD講演会「サンプルサイズ諸論 Type 1 & 2 Errorをふまえたサンプルサイズの算出方法」	FD特別企画:看護学教育モデル・コア・カリキュラムについて
臨地実習指導者研修会「看護学教育と臨地実習指導の基礎・困難事例のリフレクション 等」	FD特別企画「学部の魅力促進活動の一步シリーズ」<1>東邦大学および健康科学部の自己点検・評価について
臨地実習指導者研修会「臨地実習における臨地実習指導者の教育的役割とは」「実習指導における看護技術指導」	FD特別企画「学部の魅力促進活動の一步シリーズ」<2>健康科学部開設の経緯・学部の特色について
臨地実習指導者研修会「臨地実習指導者に期待することと今後の展望」	FD特別企画「学部の魅力促進活動の一步シリーズ」<3>大学の組織と学部の関係について
アクティブ・ラーニングICT活用講習会	FD特別企画「学部の魅力促進活動の一步シリーズ」<4>授業科目の構造、暮らしを重視する看護教育の教育方法、学部の魅力促進活動に関わる今後の取り組みについて
学生の主体的学習を促す教育方法について	アクティブラーニングの展開と教育効果
病院で勤務する新任の教育職員を対象とした教育ワークショップ	ポートフォリオの実践と開発
看護学科における診療放射線教育のあり方を考える	新採用教員研修会
看護学科 初年次セミナー開講に向けての検討	ハラスメント研修会
看護学科 初年次セミナー(案)についての説明及び検討	カリキュラムの特色と授業内容
京都大学における発達障害学生の支援	科研費取得を目指した申請書の書き方のコツ
個人情報保護法の改正とそれに伴う倫理指針の改正	看護学教育モデル・コア・カリキュラムの理解と特色あるカリキュラムを目指して
授業公開(2回)	研究倫理FD
看護実践における慈しみと愛	シラバスの作成について
ケアリング理論における慈しみと愛	学部教育内容の理解について(教育支援)
急性期病院の現状と看護教育に期待すること	科研費の採択に対する研究支援と計画の仕方

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。
2017年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

D. 看護系の学部・学科、大学院主催のSD—自由記載

男女共同参画啓発セミナー	心の問題と成長支援
広報・広聴概論①～なぜ、広報を実施するか? / 広聴概論②～広報担当者に必要なスキルとは?	大学でのLGBT学生の対応と配慮
メディア対応①～メディアを知る～ / メディア対応②～ニュース・リリース作成講座～ / メディア対応②～ニュース・リリース作成講座～	若手・中堅向け勉強会
危機管理①～広報担当者の最も重要な仕事～ / 危機管理②～事前・危機発生時・事後～	SPSS操作研修会
障がいのある学生に対する支援の理解推進、「気になる学生」への対応と修学支援	ハラスメント防止研修会
サイバー攻撃による被害の現状、Webサイトを狙った攻撃の現状、自身の管理しているサイトは大丈夫?	大学教育の質的転換と本学の取組み
大学運営の高度化を担う事務職員の能力開発について	自己点検・評価と内部質保証
広報概論	本学における学生の厚生補導
BCPの実効性を向上させるには?	高等教育改革と教学マネジメント
2018年度重点広報施策について考える	事務局業務のマネジメント
広報勉強会のまとめ～広報活動の目指すもの～	ガルーンの利活用の底上げについて
EMS概要について、平成28年度EMS活動報告及び平成29年度EMS目的・目標及び実施計画	赤十字について
平成29年度医療安全研修「病院の安全管理体制について」(9/1)	教育改革と新選抜方式について
平成29年度医療安全研修「麻薬の取り扱いについて～事故事例を参考に～」(12/25)	職位別研修(部長職・次長職・課長職)
大学全体で多数	職位別研修(課長補佐職・係長職)
新任教職員研修	職位別研修(課員)
公立大学の現状と課題	ハラスメント相談への対応(2018/3/15)
公立大学法人化に向けたSD研修	大学を取り巻くマーケット環境について
3公立大学合同のSD研修	大学改革に期待するもの～地方創生と地方大学の振興政策の動きを踏まえて～
初任者研修会	九州地区事務職員基礎教養講座
公立大学の現状と課題について	平成29年度看護フォーラム
公立大学の現状と課題	・ハラスメント研修
高大接続シンポジウム「高大接続から高大社接続へ」	・LGBT研修
情報セキュリティー研修会	・規程制定・改正に伴う説明会

大学改革に係る研修会(2回)	・学校法人会計研修会
入試改革の現状と高校の変化	・経常経費補助金に関する説明会
大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準(看護学分野)	・「H30年度大学評価に向けて」研修会
科研費 ～採択される3要素～	看護研究を倫理的におこなうための研究計画立案について～倫理指針を踏まえて～
看護学研究指導方法論	フローチャート型カリキュラムマップの作成方法
描こう！出雲キャンパスの今後	科研費を獲得するために！
公立大学の現状と課題	看護過程に関するグループディスカッション
教職員が協働して取り組む教育改革について	『看護過程の適切な展開手法と根拠がある指導法』報告
「SNS(LINE・MAIL等)の便利さに潜む危険性～学生へのアンケートの結果からみえてくるもの～」	実習・演習の到達目標から考えるカリキュラムポリシー
「大学を取り巻く主な状況(高大接続、大学の機能分化)。本学の歴史と看護職養成学校に関する基本知識」	北海道におけるSDSの現状
社会人として、本学の職員として姿勢と取り組み方	我が国における看護教育の変遷
中堅職員に向けて	高齢者の皮膚乾燥に影響を及ぼす要因
若手・中堅職員向けの事例検討	看護技術教育でたいせつにしてきたこと
中堅・ベテラン職員向けの事例検討	乳幼児の養育する母親のQOLと影響要因
新たな広報戦略について～社会から選ばれる大学となるための情報戦略～	親子関係アセスメントツールの開発に向けた調査票作成過程
開学のルーツを巡る	地域で暮らす精神障害者の就労への思いの検討
Misericordia et Caritas いつくしみと愛	結核患者の看護
国際医療福祉大学における学生募集の活動事例紹介等	外来血液透析者の冬季の生活実態と災害への備え
教員相互の授業参観	遷延性意識障害患者の生活行動の獲得に向けた看護技術の開発
実習指導に活かす評価	褥瘡裁判から見える看護の歴史
学びに結びつく評価	「ワークライフ・バランス」を考える ～現状把握と改題解決策等(学生支援体制の充実策)を議論する～
聴き方で動機は高まる ～動機づけ面接法の基礎～	「ワークライフ・バランス」を整えるためのアクションプラン作成について ～「定時に終わることができない業務である」と感じているを議論する～
学生が能動的に参加する授業の作り方	大学職員の専門性とこれからの大学職員のありかた
看護教育におけるFDマザーマップの活用・FDニーズの可視化と共有	一次救命(AED)講習会
アンガーマネジメント	伝達講習 1.学士力の向上を目指して教育の質を上げよう！研修会 2.学生生活にかかるリスクの把握と対応に関するセミナー
キャンパス・ハラスメント防止	ハラスメント講習会

障害学生のニーズと修学支援	経営・財務状況に関する研修会
有事と赤十字	クレーム対応について
アクティブラーニング	メンタルヘルス講習会
教育の質・保障	

Q20. 2017年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の取り組みについて伺います。

D. GPA制度は何に活用していますか。

その他—記述内容

助産師コース希望者の選抜	退学勧告
成績優秀者の選出。海外留学助成金制度の選出等	成績優秀者の表彰、授業料免除のための一基準
保健師課程の配属について	助産師国家試験受験資格関連科目受講学生の選考審査に活用卒業式総代学生の選考審査の参考資料として活用
慰霊祭の代表者選考、助産師専攻・保健師専攻選考試験	保健師課程、助産師課程の選抜試験対象者の選考
研究室配属の際の参考、入学料・授業料免除の学力判定、卒業・修了生の成績優秀者選出、日本学生支援機構奨学金返還免除候補者推薦、大学院の指標の一つとして活用	保健師教育課程選択者の選抜
保健師コース履修者選抜に利用	退学勧告
活用していない	GAP制の上限緩和、選択履修課程の選抜試験出願要件および合否基準
表彰者の選考	成績優秀者判定、退学の勧告、教育・運営に係る検討
海外研修奨励金受給者選抜	保健師課程履修者選考
授業料免除の選考、卒業時の総代等の選考	卒業時における学内表彰
学生がそれぞれのニーズに応じて活用	褒賞
学生の推薦	主席選定、保健師コース選抜材料
卒業判定	保健師および助産師科目履修者選考
成績優秀者表彰	卒業時表彰者の選定(成績優秀者として)
2年次後期に行われる、公衆衛生看護専攻科目履修生(保健師課程)の選抜	国試対策
特待生の選考(1年生のみ)	保健師過程選抜の資料として
参考程度に使用している。	保健師コースの選抜
授業料免除	退学勧告
成績優秀者表彰に使う	海外研修参加資格
授業料減免の判定	保健師過程の選抜参考資料として
授業料免除の選考	保健師課程の選考卒業時の勉学表彰者
養護教諭一種免許取得課程履修生の選考	卒業判定、学生表彰
授業料減額免除の選考	3年進級時保健師選択コースへの選抜
学生表彰の判断基準として活用	卒業判定
保健師国家試験受験資格取得科目履修者選考に使用	特待生の選考

専門領域選考	保健師課程履修のための選抜試験
学生表彰の選考	保健師課程、助産師課程の選抜試験対象者の選考
保健師課程履修者の選考	保健師コース選抜
学生の表彰制度	表彰の選考
卒業・進級についての判断材料として使用している。	退学勧告
教職課程の履修条件、保健師課程の選考材料	保健師養成課程の選抜
教職課程の履修要件	保健師課程選定基準
卒業時の各種表彰	助産師・保健師国家試験受験資格取得学生の選考
活用方法について検討中	選択科目履修者選考の際の一要素
活用していない	保健師課程履修者の選考
「養護実習」履修時の基準	保健師養成課程履修学生の選考における出願要件
学長表彰(GPA賞)	保健師課程選考
特待生の選考	

Q21. 貴大学には、看護関連の研修事業がありますか。

その他—記述内容

地域包括ケア・介護予防研修センター	助産学専攻課程
看護研究サポートセミナー	特定行為研修
島嶼・地域ナース育成センター	専門看護師教育課程
高度医療人材養成プログラム	看護師特定行為研修
全国の看護系大学教員対象のFD全国の病院等施設における看護管理者対象のSD	感染管理認定看護師教育課程があるが、2017年度は休講
看護師特定行為研修	看護師特定行為研修
ポストクプログラム(若手研究者育成プログラム)	卒後教育(たちばなSIM)
看護キャリアパスウェイ教育研究センター(学士を持たない看護職に対して、資格認定で大学院進学を支援する教育プログラムを実施)	認知症看護エキスパート養成プログラム
医療スタッフ研修センター ①在宅医療推進のための看護師育成事業 ②看護師特定行為研修	看護師特定行為研修センター
がんプロフェッショナル養成講座・特定行為研修	高度実践看護師(専門看護師)教育課程
看護師研修セミナー	看護実践開発センター
認定看護管理者は大学院博士前期課程にコース設定している	実習指導者研修会(本学独自のプログラムによる)
岩手県委託事業 新人看護職員研修事業	看護職、福祉(介護職)に対する継続教育、シミュレーション教育研修
特定行為指定研修機関	地域交流センター事業(看護師・保健師向け講座、看護研究)
看護実践研究指導事業	ALSOプロバイダー研修
看護実践キャリア開発センター	キャリアアップ講座
①高知県中山間地域等訪問看護師育成講座②新任及び中堅保健師研修会③喀痰研修会	実習教育会議、実習調整会議
受胎調節実地指導員認定講習会	特定行為教育課程(呼吸器関連、創傷管理関連)
新人職員研修、中堅職員研修	看護師の特定行為に係る研修
卒業生対象「シャトル研修」、卒業生インストラクターによる在学生対象「卒業前スキルアップトレーニング」	

Q22. 貴大学における、看護関連の附属研究・研修機関について伺います。

C. 財政基盤について

その他—記述内容

寄付金	自治体からの受託事業収入
自己収入	認定看護管理者教育課程の受講者の授業料
文部科学省 平成28年度概算要求(新規事業) 看護学を基盤にした異分野融合型イノベーター看護学研究を推進する若手研究者養成事業(平成28年度～平成32年度)	看護実践開発センターの予算内
文部科学省助成事業	受講生からの受講料徴収
自己収入(受験生からの授業料・受講料)	科研費
セミナー開催に伴う収入、認定看護師教育課程受講料等の収入	

Q22. 貴大学における、看護関連の附属研究・研修機関について伺います。

D. 活動内容について

その他—記述内容

医療職・介護職緒ための継続教育・暮らしの保健室の開設と運営	特定行為研修
若手研究者に対する研究コンサルテーション	小中学校の福祉体験学習受入・タウンミーティング・看護職のための研究支援 等
特定行為研修	医師・歯科医師があらかじめ作成した手順書(指示)によって、特定行為を実施することができる看護師の養成
研究指導	教育システムの開発
子育て支援事業	復興支援活動(福島県いわき市に避難している浪江町民に対する健康支援事業)
インターネットジャーナル「看護科学研究」の発行	研究活動のコンサルティング、公的研究費等を用いた研究
緩和ケアを促進する看護師の養成	看護教育に関連する業務(実習の支援業務など)
診療センター	特定行為教育課程(呼吸器関連、創傷管理関連)
受託研究、公開講座(専門職向け)、知的財産、地域からの協力依頼、その他研究推進、地域貢献関連活動	

Q23. 2017年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の国際交流の状況について伺います。

H. 海外からの学生・教員の受け入れ、海外への学生・教員の派遣における大学独自の経済的支援※の有無とその内容を教えてください。

学生受入への経済的支援有の場合、その記述内容

奨学金支給(月額3万円)	IUHW奨学金、私費外国人留学生授業料減免制度
外部資金(さくらサイエンス)(6名)	外国人留学生に対する授業料減免制度
奨学金の支給	奨学金を支給している。宿舍を無償で提供している
大学間または学部間学術交流協定を締結し、学生交流の覚書のある海外の大学に在籍する学生に、渡航費、奨学金を支援する	私費外国人留学生への授業料等減免
奨学金、学費免除、宿舍	学生の受入・派遣に併せて、年間2000～3000万円程度、寄付金を財源とする学生国際奨学金制度を整え、海外渡航に係る経済的負担をサポートしています
・外国人留学生を対象とした奨学金制度による経済的支援 外国人留学生用の宿舍(国際交流会館等)の提供・チューター制度等による生活支援	「私費外国人留学生授業料減免制度」:成績・経済状況等に考慮して授業料の減免を行っている。
短期の受け入れのみ宿泊施設を提供	交換留学生の宿舍代
県内での就職を考えている私費留学生にインターンシップの機会および奨学金を提供している	私費外国人留学生学費減免
協定大学とのErasmus+、グローバル化推進事業	私費外国人留学生学費減免制度
中国からの留学生への経済的支援	受入れ期間の学費、宿泊費、交通費(市内移動)全額負担
「徳島大学卒業同窓会留学生支援制度」海外同窓会の推薦留学生に対し、奨学金を支給する。「藤井大塚交流資金による奨学金制度」医歯薬系留学生に対し、選抜により月3万円の奨学金を支給する。	日本滞在にかかる交通費及び昼食費用を大学負担とした(朝・夕食はホームステイ先からの提供)。
国際交流基金による外国人留学生奨学援助事業	外国人留学生は正規授業料の30%を減免。次項の補助制度有り。[外国人留学生学内奨学金制度、外国人留学生学生寮・学生研修棟・国際会館の部屋料補助制度]
一人当たり2万円を大学運営資金より支給している	ベトナム ハノイ大学の学生3人の日本語教育
広島大学医学部保健学科国際交流支援金、複数の受け入れ支援制度あり	(協定により)一部協定校に宿舍を提供
宿舍の提供(有料。抽選の場合もあり)、入学料・授業料免除(免除不可の場合もあり)、総長奨励金(学費免除・奨学金支給)、私費外国人留学生特待プログラム(学費免除・奨学金支給)	入試時の成績によりグローバルリーダー奨学金制度(学費減免制度)あり。生活費支援のための奨学金制度あり。つまた、留学生を対象にした国際寮を用意しており格安の寮費で入寮できる
・協定校の学業成績等優秀学生に対する、本学への留学への奨学金	交通費支援、昼食代支援
授業料免除	宿舍の提供
奨学金	宿舍提供、研修費補助
奨学金、学費免除	経済的に就学困難な私費外国人留学生を対象に本学の規程に基づき、審査の上、授業料を減免している

協定に基づく交換留学生については、学費(相互)免除、宿舍提供、基金による生活準備金の支給、チューター配置、にかかる支援を提供しています。	奨学金、学費免除
オーストラリア・キャンベラ大学から学生5名来校 国際交流事業で実施	「四国大学外国人留学生修学支援奨学金」外国人留学生に定額を給付
学費免除、寝具や宿舍の提供、光熱費負担	生活費の一部(昼食代等)、研修に際しての移動に係る交通費
特別研究奨励費より、渡航費、滞在費等の経費を支給	私費外国人留学授業料減免に関する規程に基づき、私費外国人留学生の経済的負担を軽減している
渡航費・宿泊費の補助	国際交流奨学金、授業料免除
外国人留学生授業料減免制度：私費外国人留学生を援助するための制度、当該年度授業料の30%が減免される	奨学金など
学生寮の提供	「私費外国人留学生授業料減免制度」：成績・経済状況等に考慮して授業料の減免を行っている
宿舍が空いている時に限り、宿泊費を半額で利用できるように支援している	国際交流協定校からの受入学生については、授業料を免除する制度がある
授業料の免除(交換留学)	川並奨学金
授業料免除制度有 * 審査等条件有 その他協定校との間で個別にて設定	奨学金
宿泊費	宿舍
授業料(年間)の40%免除	

Q23. 2017年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の国際交流の状況について伺います。

H. 海外からの学生・教員の受け入れ、海外への学生・教員の派遣における大学独自の経済的支援※の有無とその内容を教えてください。

学生派遣への経済的支援有の場合、その記述内容

学部学生海外留学助成事業及び学部学生海外活動助成事業として交通費の補助を行っている。(1件当たりの助成額は最大20万円)	協定校との間で個別に設定
奨学金の支給	大学が定めた海外研修・留学プログラム等に参加する者で成績優秀で勉学意欲に富み、課外研修・留学の成果が期待できる者を対象とする。
長期で留学する学生に、留学先機関における授業料相当額(学費・登録料)、奨学金、往復渡航費、保険料等の経費を支援する。修士課程レベルでは、University College Londonで学ぶ学生に、ロンドンへの渡航費、滞在費、授業料等を支援する。	交通費、海外留学奨学金
奨学金	語学研修費用の補助(補助額は派遣先によって異なる)
・奨学金制度(短期留学(派遣)奨学金、短期海外研修奨学金等)による経済的支援・交換留学の場合、留学期間中(前期又は後期)本学での授業料免除	青田与志子記念慶應義塾大学看護医療学部教育研究奨励基金1件につき10万円から50万円の範囲で支給し、旅費・滞在費をはじめとする学習・研究活動に必要な経費に使用する。
渡航費の一部補助	教育後援会(保護者会)からの費用支援
群馬大学学生海外派遣支援事業奨励金 群馬大学基金による「留学・派遣経費補助事業」による奨学金	大学の国際交流プログラム参加に対して、10万円を限度に補助金を支給している。また、長期休暇中に海外研修・留学者を対象に、審査の上、上限2万円を支給している。
派遣プログラムに参加する学生に対し、奨学金を6万円支給している。	海外での留学・研修・研究発表等に関する育成推進奨学金制度
短期留学者には、国際交流基金より旅費支出と後援会より5万円/人支出	奨学金を支給している。
交換留学や海外研修に参加する本学学生に対して奨学金を支給している	学生の受入・派遣に併せて、年間2000~3000万円程度、寄付金を財源とする学生国際奨学金制度を整え、海外渡航に係る経済的負担をサポートしています。
MOU提携校への2週間程度の短期海外研修、大学独自の奨学金制度に申請し、一人6万円の補助あり	費用の半額を大学が援助
SEEDS基金により渡航費の一部補助	「短期留学生奨学金貸付制度」:留学プログラムに参加する学生に50万円を上限として貸し付けている。
留学等海外へ渡航する学生を対象とした支援制度	学部学科海外研修補助金
東京大学海外派遣奨学事業 奨学金月額6-10万円	イギリス短期留学にかかる旅費の負担
学長奨励賞	交換留学生の宿舍代
「アスパイア奨学金」期間、地域別に、選考により1人月4万から7万の奨学金を支給する。	海外研修補助金
国際交流基金による学生海外派遣援助事業	英語等短期研修助成制度
長崎大学海外留学奨学金制度	伊藤・有馬記念基金奨学金より、支出される。
一人当たり2万円を大学運営資金より支給している。	旅行傷害等の保険経費、往復航空代 負担
広島大学医学部保健学科国際交流支援金(海外留学)、複数の留学制度あり	派遣プログラム参加学生に対し、一人当たり3万円の支援金(旅費の一部助成)を給付

渡航費の補助	学生短期海外研修は、30万円を限度に研修費用を援助する。他の海外研修は1万5千円の補助金を援助する。
・寄附金を財源とした、経済的困窮度が高い学生に対する海外渡航のための学部独自の奨学金・学業成績等優秀学生に対する、留学、国際交流事業への参加への奨学金	後援会より補助金を支給
協定校へ派遣される学生を対象に助成金を支給している。	協定留学、認定留学の本学学費減免制度あり。また留学奨学金支給制度あり。
渡航補助金	奨学金
奨学金	「医学教育海外交流基金奨学金」3万円程度の支援
学部奨学寄附金による補助	1) 日本・オーストラリア間往復航空運賃の全額支給 2) 留学期間を含む1年間の授業料の半額免除、その他の学校納付金は全額免除
在学中に1回、20,000円を支給	留学期間に応じて、奨学金の給付および授業料と施設設備費の減免措置を講じている。
高雄医学大学に派遣する研修生に対し1人当たり25,000円を助成	「交換留学生特別奨学金」「四国大学長期留学生給付金」協定大学への留学生に給付 「四国大学留学生貸与金」協定大学への留学生に無利息で貸与
協定に基づく交換留学生については、学費(相互)免除及び語学要件試験の実施を行っています。また、私費で留学を行う学生に対し、基金にて、渡航準備金を支給しています。	長期語学留学奨学金制度:1年の留学期間で30万円の補助 中期語学留学奨学金制度:3~6ヶ月の留学期間で20万円の補助 短期語学留学奨学金制度:1ヶ月の留学期間で15万円の補助
派遣留学生経済支援制度(部局短期分)	学費相当額の奨学金支給制度
渡航費用の一部を補助	希望学生をMOU提携校へ派遣し、研修を行った。1名あたり1万円(総額8万円)の研修費用を負担し、大学独自の経済的支援を行った。
名古屋市立大学講演会費より、渡航費、滞在費等の経費を支給	国際交流奨学金、授業料免除、往復渡航費支給
大学の振興協会から渡航費用を助成	奨学金など
交流協定に基づく交換留学生及び交流協定校への短期研修参加者に対し、月額25万円の奨学金を給付する	「短期留学生奨学金貸付制度」:留学プログラムに参加する学生に50万円を上限として貸し付けている。
大学からの補助金、同窓会からの補助金など	学科独自の学生短期海外研修については、旅費及び滞在費を一部補助。
学則で定められた協定に基づく留学の場合、奨学金の給付有り	国際交流協定校への派遣学生については、授業料を免除する制度がある。
在学留学学納金免除制度:在学留学期間中、授業料を除いた学納金を免除。ただし、そのうち特に優れた者に対しては在学留学期間中の授業料の納入も免除することがある。	奨学金の提供
補助金有り	「派遣留学」により留学する学生に対し、「学生外国留学奨学金」を給付している。
授業料の免除(教育後援会支援)	海外研修生には期間に応じて大学が助成金を給付することがある。

Q23. 2017年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の国際交流の状況について伺います。

H. 海外からの学生・教員の受け入れ、海外への学生・教員の派遣における大学独自の経済的支援※の有無とその内容を教えてください。

教員受入への経済的支援有の場合、その記述内容

外部資金 さくらサイエンス(1名) 他の1名は無し(運営費)	宿舍が空いている時に限り、宿泊費を半額で利用できるように支援している。
旅費・滞在費	協定校との間で個別に設定
大学の外国人研究者宿泊施設があるが有料	宿舍を無償で提供している。
・外国人研究者用の宿舍の提供 ・外国人研究者の受入を行う教員への経済的支援(助成金)	同窓会からの寄付金を財源として、年間150万円程度、(1)教員の海外研修のため、(2)海外からの大学の教授および看護専門職者の招聘のため、費用援助をしています。
SUMS Grant(留学生研究助成制度)により奨学金(15万円/月)を最大12カ月間支給(公募)	引率教員の宿舍代
協定大学とのErasmus+、グローバル化推進事業	国際交流事業計画
国際交流基金による外国人研究者招へい援助事業	日本滞在にかかる交通費・食費・宿泊費を大学負担とした。
広島大学医学部保健学科国際交流支援金、複数の支援制度あり	中国の協定大学からの教員受入れに際し、宿舍を無料提供している。
世界のレベルの高い教育・研究を学生に提供するため、実績のある海外の研究者を招聘し、旅費および滞在費を補助する	宿舍の提供
・交流実績を有する海外機関等の教員を対象とした渡航費等の支援・外国人教員・研究者向けの宿舍(有料)の整備	宿舍提供
滞在費	宿舍の提供など
教員交換支援制度	研究に要する経費、滞在費及び旅費の全部又は一部を支給。(「客員研究員受入れ規程」を適用)
特別研究奨励費より、渡航費、滞在費等の経費を支給	国際交流協定校からの受入については、宿泊費、食事2食、宿舍から大学までの交通費を免除する制度がある。(3カ月未満の場合)
渡航費・宿泊費の補助	

Q23. 2017年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の国際交流の状況について伺います。

H. 海外からの学生・教員の受け入れ、海外への学生・教員の派遣における大学独自の経済的支援※の有無とその内容を教えてください。

教員派遣への経済的支援有の場合、その記述内容

旅費	旅費・宿舍代
年に1～2回ほど、若手教員を対象に海外研修の渡航費・滞在費を支援する事業あり(申請者の中から、各部局1名程度を選考)	教員短期留学制度奨学金
・本学との協定校に渡航する教員を対象にした経済的支援(助成金) ・本学若手中堅教員の海外渡航を対象にした経済的支援(助成金)	派遣に係る経費 負担
その都度工面している	交通費を大学負担とした。
45歳以下の若手教員を対象とした若手教員長期海外派遣制度があり、1派遣につき330万円を上限とし、外国旅費として支給する。	海外研修引率の教員に滞在中の旅費交通費を支給
若手教員海外研修助成制度により旅費(100万円)を支給(公募)	学生引率教員に対する渡航関連費、滞在・生活支援費
短期、長期の海外研修事業	旅費の支給
国際交流基金による教職員海外派遣(短期)援助事業	滞在費支給
広島大学医学部保健学科国際交流支援金、複数の支援制度あり	在外研究員制度
本学教員が実績のある海外の研究者を招聘する為の、事前打合せ等に必要経費を補助する	希望教員をMOU提携校へ派遣し、研修を実施した。研修に係る費用については、すべて大学が負担した(参加者14名、費用74万)
旅費 航空賃、海外保険手数料	派遣先での研究費の負担(一部)
教員交換支援制度、若手研究者海外派遣支援制度	滞在費など
特別研究奨励費より、渡航費、滞在費等の経費を支給	旅費及び滞在費を一部補助。(「海外研修員規程」を適用)
滞在研修制度	教員の海外研究活動留学の出張規程があり、経費の一部を支援している。
教育職員研修規程により、長期国外研修(6ヶ月以上1年以内)と短期国外研修(3ヶ月以上6ヶ月未満)に研修費を支給する。	交通費とホテル代のみ学科経費から支援
医療福祉研究費(教員の研究費)による旅費負担	国際交流協定校への派遣については、宿泊費、食事2食、宿舎から大学までの交通費を免除する制度がある。(3カ月未満の場合)
協定校との間で個別に設定	旅費都等の経費の一部又は全部を大学で負担
年間10名まで、10万円を限度に補助金を支給している。	学外研修者として選考された場合、滞在費・渡航費を給付している。
研究を目的とした教員の海外派遣に関する旅費補助	旅費・滞在費

<p>給与相当額の一部を支給している。</p>	<p>学術研究及び教育の充実・向上を期する目的で、40歳以下の教員が外国において研究に従事する場合、留学(研修を含む)先から給与が支給されない者に対し留学費用を助成する。</p>
<p>同窓会からの寄付金を財源として、年間150万円程度、(1)教員の海外研修のため、(2)海外からの大学の教授および看護専門職者の招聘のため、費用援助をしています。</p>	<p>旅費等全額支給</p>
<p>学科予算で全面</p>	

Q24. 2017年度における貴大学のハラスメント防止、コンプライアンスの推進への取り組みについてお伺いします。

C. 発生したハラスメント事例に該当するものを選択してください。

その他—記述内容

非公開のため不明	サークル活動において、顧問(看護学科以外の教職員)から看護学生への事例
事例発生の有無も含め公表しておりません。	本学に該当はないが、「学生から教職員へのハラスメント」も選択肢に加えるべきではないか。
相談はあったが、申し立て案件には至らなかった。	内容については公表しないこととしている

Q25. 2017年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

施設で実施されている新人看護師研修や臨床実習指導者研修などを、組織として支援していると回答された方のみ
B. よろしければ支援の内容等について、具体的にご記入ください。

<p>公衆衛生看護学実習の実施前後で指導者会議を開催し、教育に関する研修も盛り込んでいる。</p>	<p>実習施設である京都市立病院や京都第二赤十字病院と教育研究に関する包括協定を締結し、本学教員と実習指導者との間で、臨床教育合同研修会の実施、看護の質向上を目的とした継続教育に関する取り組みを実施している。</p>
<p>実習指導者ほか附属病院看護師等を対象とした実習指導に関わるテーマ「看護学実習指導場面における看護師の省察」として講演会を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習施設からの依頼で、新人看護師研修会や実習指導者研修会における講師を派遣している。 ・施設で実施される研修会の中のワークショップに、組織として、年に1～2回参加している。
<p>実習指導における指導困難場面の事例検討。年2回。</p>	<p>臨床実習指導者研修</p>
<p>大学病院に就職をした新人看護師を対象とした研修の支援を行っている。具体的には、心電図モニター、輸液ポンプの管理、採血、胃管挿入、浣腸、導尿、酸素療法、感染防止等について協力している。</p>	<p>院内研修、実習指導者講習会、看護教員養成講習会、認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修会等々への講師派遣</p>
<p>保健学科看護学専攻と看護部の合同委員会を設立し、看護師の研修会(実習指導者、ゼネラリスト)の講師を務めている。大学病院へは、新人看護師研修会のインストラクターとして教員を派遣している。大学病院の方からは、看護技術演習の講義には、臨床3年目を過ぎた看護師に演習に来てもらい支援を得ている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関連病院の2年目の看護師研修(看護理論講義)・関連病院の4年目の看護研究研修・臨床指導者研修
<ul style="list-style-type: none"> ・附属病院の実習指導者研修会において、教育方法に関する講義を担当。その後、シュミレーション研修にアドバイザーとして参加している。 ・指導者研修会に参加された方は、演習科目「基礎看護技術」にゲストティチャーとして参加。これは、看護基礎教育の教育内容を知り学生への演習指導をとおして教育方法を学ぶことを目的としている。 	<p>大学グループ病院の実習指導者の研修会講師を担当している</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・大学教員と病院の看護師が合同で実習指導者養成のため研修を行っている。 ・大学教員と病院看護師の協働により地域完結型看護が実践できる看護職のプログラムの実践。 	<p>実習指導者講習会運営会議への参与・講師派遣・実習指導・発表会講評者の派遣、看護師の看護研究指導、院内認定看護師制度の講師派遣、看護管理コース講師派遣</p>
<p>職員のキャリア相談を行っている。新人看護研修における講義の実施や、施設で企画する研修の講師を担当している。</p>	<p>必要なシミュレータ等の機器と実習室の提供</p>
<p>実習指導者や教育担当者・新人看護師対象とした研修会の講師を数多く務めている。</p>	<p>附属病院のキャリアセンターの「新人ナース研修」に教員もキャリアセンターに数人位置づけ研修支援している、また、附属病院主催の「学習指導者研修会」を教務委員会の実習教育担当教員等が支援している</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・実習指導者研修会の講師 ・滋賀県助産師キャリアアップ支援事業での協力 ・看護研究の指導 ・生涯学習に関する研修会(講演) など 	<p>臨地実習指導者研修部会および実習委員会による年3回の臨地実習指導者研修会を実施しており、指導体制および協力体制の強化を図っている。</p>
<p>看護学研究科・医学部附属病院看護部連絡会議(技術研究支援・教育プログラム企画アドバイス・研修講師)</p>	<p>看護師実習指導者講習会(神奈川県実習指導者育成事業として)を実施している。</p>

<p>看護師向け研修の講師</p>	<p>実習施設と大学がグループ法人であり、看護実践・教育に対する基本理念を等しくしていることより、実習施設で行われている現任教育の一部を大学教員が担っている。臨床実習指導者研修においては、本学「臨床看護実践学」「スキルラボ臨床レベル3」(オスキー)に参加することにより学部教育の理解に繋がっている。また、新人看護師研修については、大学の演習室を定期的に開放し、本学教員による看護技術支援と共に卒業生のメンタルフォローを実施している。更に、臨床と大学の協働による看護基礎教育における最適な臨床教育／学修環境と学修モデル構築に向けて、平成29年度より施設側(看護部)と検討を開始した。現在、2病棟を教育モデル病棟に指定し、臨床看護教授や臨床看護講師を付与した実習指導者を中心に実習指導体制を構築中である。</p>
<p>・大学病院の実施している教育担当者の研修の一環として、大学の教育機関で、担当者を受け入れて学部教育に関わっている。授業の担当、演習、実習の補助をしながら、指導教員から指導を受けている。 ・徳島県新任期保健師研修については、企画・実施まで現場の方と一緒に担当している。</p>	<p>看護実践と教育・研究を結びつける人材の育成のため、フューチャー・ナース・ファカルティ育成プログラム(FNFP)を継続して進行している。</p>
<p>鳥取県看護協会「臨床実習指導者研修」、新人助産師</p>	<p>看護研究指導、新人研修や中堅研修での指導、地域ケア研修</p>
<p>大学病院看護部(看護部長および副看護部長等)と看護学専攻教員(3人)が、1回／月の定例ミーティングを行い、実習指導、指導者研修会等について協議している。</p>	<p>「看護セミナー」と称する教育セミナーを年間2～3回程度開催し、主に実習先の看護職者に案内している。(受講料は無料)</p>
<p>一部講習会の講師等を担当</p>	<p>臨床実習指導者研修の講師(青年期の特徴について)</p>
<p>文部科学省大学改革推進事業「看護師の人材養成システムの確立」の事業中から事業終了後も、引き続き、大学病院の新人看護師育成教育プログラムに参画している。二つ目は大学病院の臨床指導者育成支援として、実習委員会が臨床実習教育に講師として研修を担当している。三つ目は臨床教授制度のもと、臨床教授等連絡協議会を年1回開催し、実習指導の課題を共有している。</p>	<p>9月中旬～12月中旬の間、40名を受け入れ、240時間以上の講義・演習・実習指導場面見学等を開催している。</p>
<p>臨床指導者研修、看護研究研修</p>	<p>新人看護師の支援の役割を担うクリニカルコーチの育成研修に教員が参加し、計画・運営・評価を行っている。臨床指導者とは年に一回勉強会を開催しており、具体的な学生指導の課題について共有し解決策を検討している。</p>
<p>臨床実習指導者会議の開催、就業2年次倫理研修、希望者に対する倫理研修</p>	<p>看護キャリア支援センターにおいて、卒後教育プログラムを開講している</p>
<p>7月 および12月：助産学実習指導者連絡協議会の開催。7月は実習目標、実習内容の説明と実習の進め方の協議。12月は実習評価の説明と実習施設指導者および学生による実習評価(学生による授業評価としての)、協議内容を踏まえた次年度に向けた課題の明確化と改善のための検討。8月は全実習施設指導者と学生、教員が参加する合同演習の開催。特に分娩介助に関するシミュレーション(フィードバック含む)。</p>	<p>臨地実習指導者研修会</p>
<p>①臨床での看護研究支援 ②現任教育研修会</p>	<p>院内研修への講師派遣</p>

看護学実習指導者研修の企画会議の委員を引き受けています。また、その講師も多くの教員が引き受けています。また県や市町村保健師の研修(新任期、中堅期、管理期)の企画や研修講師を引き受けています。これは、山口県に留まらず、岡山県、愛媛県、大阪府は7年以上、引き受けています。	病院の研修講師として本学の教員を派遣している。
研修部において、「フィジカルアセスメント研修」、「看護研究」、「院内教育」、「認知症高齢者の看護」等、計10コースを実施した。実習指導者養成講習会を開催している実習施設に対し、臨床系の教員の殆どが指導講師として役割を担った。	施設での新人研修にあたり、当大学の研修施設(メディカルシミュレーションユニット)を使用されている。研修内容や実施について相談役割を取っている。
卒後教育の講師派遣	病院の指導者を臨地実習指導者講習会に参加できるようにしている。大学病院と大学の合同教育担当者会議を定期的で開催し、話し合いの場としている。
実地指導者、教育担当者、研修担当者など新人指導に関わる看護職を対象として、新人看護職員指導のための知識、技術を学ぶことを目的とした新人看護職員研修事業を行っている。	臨床実習指導者研修および3年目研修を支援している。
主要実習施設の新人看護師研修に講師として協力、実習協議会の中で臨床実習指導者研修を実施。保健師については、新人・プリセプター・中堅期・リーダー研修の企画から実施・評価まで関わっている。	施設からの依頼に合わせて教員を派遣する。看護研究指導、実習指導講習、施設の指導者同士のファシリテーター
実習指導者・大学教員交流会を毎年実施している。実習施設の基幹病院3施設と大学とで、実際に実習指導に関わる者が具体的なテーマ設定をして、ディスカッション、研修会を行っている。	大学と実習施設が合同で臨床実習指導者研修を実施している。
臨床講師、臨床教授等の称号付与	平成29年度 石川県実習指導者講習会に教員4名を講師として派遣した。
看護研究指導	「看護職者の成長を支援する講座」を継続的に開催。
実習施設より教員として異動。ただし、明文化された制度ではない。	臨地実習指導者会議を開催し、実習施設との連携を図り、臨地実習における効果的な学生指導及び教育方法等について話し合い実習指導に活かしている。
・実習施設主催の実習指導者研修会の講師を担当した ・組織的にはないが、自治体や協議会から研修講師の依頼があり対応した ・ユニフィケーションの形式で、臨床指導者の方の研修を支援している。又、附属機関の実践教育センターにて指導者研修も行っている ・臨床実習指導者との交流会に年1回参加している	大学施設の提供や講師派遣
県内の主な実習施設の管理者と新任者の定着及び人材育成に関する意見交換を行い、職場定着支援及び看護実践能力の育成支援を進めた。	リーダー研修「看護研究」講師の派遣
本学の看護キャリア開発支援センターを通してOSCE等の教育支援を行っている。	本学のシミュレーション教育センターを活用し新人看護師のシミュレーション研修を実施している。
実習指導者講習会に、教員を講師として派遣。	注射や吸引などの教材モデルの貸し出し
臨地実習指導者の方の研修参加費用の助成を行っている。(年に1名)	大学から講師の派遣を行っている。
1年に1回、大学において、実習施設の看護職を対象に臨床指導者研修を開催している。	研修会の講師派遣

<ul style="list-style-type: none"> ・臨地実数指導者研修会を開催している。本学におけるカリキュラムや領域別実習における学生の特徴などを本学教員から説明するとともに、臨地実習指導者同士のグループワークによって体験の共有や役割について考える機会としている。 ・本学で実習先の臨床指導者に向けて臨床指導者研修を行っている。また、依頼のあった施設に出向き臨地実習指導者研修等の講師を派遣している。 ・県内の新人保健師の研修を担当している。 ・領域全体では実施していないが、各教員の担当している施設で共同研究を実施している(老年)。 	<p>国際医療福祉大学九州地区生涯教育センターにおいて「保健師助産師看護師実習指導者講習会(厚労省認可)」を開講している。</p>
講師派遣	埼玉石心会病院での研究・発表指導
実習先施設との連携協定に基づき、研修等を実施	・実習懇談会の開催
助産師エンカレッジ支援研修会(助産に関する講義等)を新人看護師や指導者を含めた地域の助産師を対象に実施している。また、看護協会の臨床実習指導者養成講習会の講師を担当するなどの支援を行っている。	<p>実習施設が現任教育の一環として行っている臨床実習指導者研修の講師を教員が担当している。在宅看護領域では新人指導者の研修会を行っている。当該県内看護協会「看護職員実習指導者等講習会」の一部を教員が担当している。東部健康福祉センター(御殿場健康福祉センター合同)の新人保健師等研修会の支援</p>
県・市町村保健師新任研修看護師への倫理的サポート(講演とGW)新人研修(看護診断に関する講義)、臨床研究倫理審査委員看看連携事業の相談認定看護師教育課程の教員会委員、入試委員会委員	研究指導などの実施
実習病院での新人看護師指導者研修会の講師依頼を積極的に受けている	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回実習全施設を対象に研修会(大学で)を実施している。 ・実習施設のうち数施設に対し、職員研修の講師を派遣している。
研修会、院内研究指導等	院内の看護研究に対する研究指導
新人・中堅看護師の現任教育への参画。「大学教育から現任教育への継続教育の発展に繋げる」を目的に、看護部の6つの研修において、看護学部教員8名による講義を実施。	千葉県委託の実習指導者講習会を本学にて開催している。
実習施設病院(附属病院)の指導者研修カリキュラムの一部として、大学での講義・演習に参加してもらい、大学の教育内容および実習前学生のレディネスを理解してもらっている。	臨床指導者への教育講習
医療機関や行政機関における新採用看護師(保健師)研修会のプログラム作成支援と講師の受託	実習指導の説明会を実施している。(在学生の情報等)
臨床実習指導者研修への講師派遣	臨時実習指導者研修会参加中の看護師に対する指導・助言
1年に1回、本学主催で実習指導に関するテーマで実習で臨床指導を行っている方、もしくは今後指導を行う方を対象に、臨床指導者研修会(講義およびグループワーク)を行っている。現在、本学の臨床指導者研修会受講を臨床教授制の臨床助教の条件としている。	臨床看護研究の支援(事例研究)
県からの委託を受け、助産師研修等を実施している。	<p>臨地実習指導者と教員の合同FD研修会として実習指導者と全教員が集い、年に1回大学において看護系大学学士課程の臨地実習とその基準作成に関する調査報告を基にテーマを決定し、学生の4年間の成長過程の中でどのような役割と連携をもって実習指導を行うかについて研修会を開催している。</p>

テーマに対応した講師派遣	・新人看護師研修に使用する備品の貸与・実習指導者の事例検討へのコメンテーター
実習指導者講習会の運営	指導者連絡会での講義、
・附属病院における新人看護職員研修及び継続教育研修の一部にファシリテーターとして教員が参加 ・附属病院実習指導者とのワーキング活動の実施	看護研究指導
保健師の研修会、臨床指導者と教員の事例検討会	臨床実習指導者研修での講義を担当している
新人看護師研修	1年に1回、実習指導方法と学生のレディネス状況について集合研究会
看護学科として臨地実習施設連絡会議を開催し、研修を通じて指導者間の交流の場になっている。	本学の「看護の智協働開発センター」が企画して、京都市の200床以下の病院全ての看護師を対象に新人看護師研修を実施している。
実習指導者養成研修における担当者との教育内容の協議ならびに講師派遣	臨床実習指導者研修会の開催実習指導者連絡会の開催
基礎看護学実習、領域別看護学実習等における実習説明会・報告会の場を活用し、実習受け入れ施設の実習担当者とともに、学生指導の課題、方法等についての検討を行っている。	臨地実習の振り返りと今後の課題について意見交換を行い、学生の学びを支援・促進するための実習指導の在り方を考えるため、臨地実習指導者研修会を開催している。
大学病院が実施している臨床実習指導者研修の講師を派遣している。	臨地実習指導者研修会の企画 講演会および演習：テーマ『誰もが必要なリーダーシップ』講師 滋賀大学経済学部企業経営学科 准教授 小野善生
講義に出向く。指導マニュアルの作成協力。	新人看護師研修、シュミレーション研修時の実習室及び備品等の貸与看護研究、倫理に関する研究の支援実習施設等の研修会への講師派遣
基礎看護学実習連絡会議 2回実施 学内実習(演習実施における情報共有)	臨床実習指導方法に関する講習会を実施し、湘南医療大学の教員と実習指導者双方が一堂に集まり、互いの理解を深めるために、実習に向けての課題、特に環境づくり等について話題提供を受け、課題に沿った対処や工夫についてグループ討議を行うとともに情報共有することにより、学生の实習指導に活かす
看護研究指導、研究発表会講評、看護過程研究	山梨県主催の実習指導者講習会について聴講を支援している。
事例研究活動への指導・支援	実習指導者連絡会における共同FDの開催
臨床実習指導者研修会実施	看護師を対象とした研修会の講師を教員が行っている。
大学における設備や備品(機器等)を活用した研修	施設の看護師の研究についての指導者を出している。

Q25. 2017年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。 実習施設等と大学間において、人事交流(ユニフィケーション)の制度や取り組みがあると回答された方のみ D. よろしければ制度・取り組みの内容等について、具体的にご記入ください。	
看護学会の研修会の案内および学内演習時の非常勤講師として参加してもらっている。	大学病院看護師に看護学部の講義・実習の講師を依頼している。また、看護学部教員がリカレント教育、実習教育支援、看護研究支援などを行っている。
ユニフィケーション推進委員会 ・実習指導、人事、教育	実習施設の実習指導者で本学部の要件を満たす指導者を非常勤講師として委嘱
看護部から交流人事として看護学専攻の教員として3年間勤務してもらい、その間大学院の修士課程に進学し臨床にもどる。このことを大学病院では、キャリアアップ教育者コースとしている。	本学教員身分としての出向受け入れ
大学院を修了した大学病院の看護師と大学の助教の間で半年程度の期間、年1名の交流を行っている。	慶應義塾大学病院看護部との間において実習指導者の研究プログラムを作成し、実習指導者が臨地実習指導にあたるシステムを運用している。
附属病院看護師が本学の演習へ参加している。また、本学教員が附属病院の研究支援等を行っている。附属病院看護師が非常勤講師として本学の講義を担当している。	・すべての施設ではないが、大学と病院の調整はあるが、病棟は領域で実習の振り返りの多情報交換をしている。また、国家試験の問題などの情報交換の要求あり。
大学病院の看護師が、大学に半年間派遣され、教育に参加する。	同一法人内での臨床看護師と教員の人事異動
【施設等⇒本学】 ・看護演習における指導 ・認定及び専門看護師による講義 ・教育看護師による授業支援 【本学⇒施設等】 ・臨床勤務 など	隣接している大学病院から1名、人事交流で大学に派遣され、演習や実習を担当している。
特命助手・臨床講師の導入	臨床教員が実習科目の責任者として教育活動を展開している。
病院の看護職員が2年程度、大学教員として出向することがあった。	「聖路加国際大学看護学部・看護学研究科および聖路加国際病院看護部連携会議」(＝大学側から学部長、研究科長、教務部長、学生支援センター長、実習担当教授が出席。病院(実習施設)側から、看護部長、副看護部長、FDSD部長などが出席。)を毎月一回開催し、実習での課題、評価、その他の情報共有を行い、緊密な連携をとっている。
大学病院でのエフォート50%、大学でのエフォート50%の教員ポストがある。	人材育成センターによる取り組み(地域住民を対象としたナーシングフェスタ開催)
人事交流の一環で、大学病院看護師が大学院に社会人学生として入学している。	東海大学看護研究会を通して、4つの医学部附属病院と2つの教育機関及び1つのアドバンス(認定看護師教育)コースにおいて交流、年1回学術集会の開催。
定期的な委員会を開催している	国領キャンパス看護教育交流会
文部科学省大学改革推進事業「看護師の人材養成システムの確立」の事業中から事業終了後も、引き続き看護教員が大学病院の新人看護師育成教育プログラムに参画し、また本学科の看護演習科目に臨床の看護師が非常勤講師として任用を受け、教育に関わっている。	同じ法人である実習病院の看護職員が看護学部の教員になるなど、制度ではないが人事交流を行っている。また、男女共同参画推進局に看護職キャリア開発支援センターがあり、看護学部と看護部が協働して、研修を行うなど看護職の支援を行っている。
基礎看護学実習Ⅱ(2年生)開始に備えた学生と指導者との交流会(看護部主催)領域別実習(3・4年生)開始に備えた学生と指導者との交流会(看護部主催)	例年、「臨地実習検討会」を開催し、実習施設担当者と本学教員との交流を行っている
臨床教授制度の職名を活用し、大学病院から看護師・保健師が看護教員として派遣される連携体制をとっている。	臨地実習指導者研修会、非常勤講師(講義)、学内演習講師

3年以上の実務経験を有する本学附属病院の常勤の看護師及び助産師等を対象として、本学大学院での修士課程での修学及び修了後1年間助教として実習指導等を行わせることで、看護学生実習指導者及び看護教育者の人材育成を図るプログラムを設置しています。	人事交流協定の締結
看護学科と附属病院看護部との人事交流を基盤として、看護学科教員が病院で専門領域に係る実践研修を実施することにより教育に必要な看護実践能力、マネジメント能力、実践に貢献する研究能力を高め、また、看護師が看護学科で教育及び実習指導を行う教育実践研修を実施することにより教育力を高めるシステムを確立することを目的としている。	本学事務局に病院の看護係長を出自により配置している。
実習施設の看護師等を臨床教員として任命し、学内及び実習施設での教育を教員と共に行っている。	希望する教員には臨地での研修を実施している。
研究支援、教育研修	教員がCNSとして実習施設の業務を行っている。
青森県と本学との間で締結したユニフィケーションに関する協定により、2017年度は5名の教員がユニフィケーション従事職員として、県から人事発令されており、月1～2階程度、業務従事先の病院において、各教員の専門領域におけるコンサルテーションや介入プログラムの計画・実施を行っている。	臨床教授、准教授の制度、授業の担当教員として委嘱している。
附属病院の看護師を年に2名程度「臨床特任講師」という名称で受け入れ、大学教員の立ち位置から臨床指導者としてのあり方等について学習してもらうものである。	制度としてはないが、母性の実習施設の母乳育児支援の専門家(国際ラクテーションの資格)である助産師に母性看護学援助論の科目の中で演習を依頼している。
実習指導のあり方勉強会の開催	総合実習の学内発表会(倫理発表会)に実習施設の指導者に参加していただき、実習指導の共通認識を醸成している。
<ul style="list-style-type: none"> ・複数科目の学内の演習において、ユニフィケーションを行い、あわせて教員とのミーティングを開き、情報支援を行っている。 ・実習施設の院内研究のアドバイザーとして年間担当している。 ・学内授業への看護師の参加(PBLのチューター、実技演習の補助教員、ゲストスピーカーとして専門性の高い講義を依頼) ・家族支援のイベントを年1回開催している。 	実習施設(国立病院機構)から1名(2～3年)、本学の教員として従事される。
本学の看護キャリア開発支援センターを通して人事交流(教育支援、研修支援、看護研究支援)を行っている。	病院の医師や看護師などに講師として授業を行っていただいたり、臨床指導をして頂いた。大学からも病院看護部の研究指導をした
H26～H27大学に県職員を1名受け入れ。この制度はH29で終了。大学の教員不足で始まった取組みで、これまで3名の県保健師を派遣して頂き、大学院設置においても大きく貢献して頂いた。	OG学生を招待し、3年次4年次学生との交流会を行っている。
市からの派遣で2年交代の助手で着任	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指導 ・授業でのゲストスピーカー
平成18年から看護連携型ユニフィケーション事業で、1施設と提携しよりよい看護の実現を目指して取り組んできたことを土台に、平成23年に包括的連携協定を結んだ。実践、教育、研究の質の向上を目指して、連携協議会のもと、部会に分かれて事業を展開している。・学生の臨地実習・教員の臨床研修における場の提供・基礎教育・継続教育・大学院教育における相互協力・教員によるコンサルテーションの実施・臨床実践能力(知識・技術・態度)及び実践モデル等の開発・検証に関する共同研究・県民・市民の健康づくりに資する活動の共同開催・その他看護・社会福祉連携活動の実施	NHOと連携のもと設置した大学の為、NHO関連の施設から准教授として迎え入れた。

実習教育協議会を設立して、臨床実習充実のため交流会や各種企画運営をしている	臨床教員として人事交流を行っている。実技演習などの教育にも臨床教員が携わっている。
公衆衛生看護学実習の実習施設である市町の保健センターとの間において、教員・保健師相互の資質向上を目的とした交流研修派遣制度がある。	実習施設の臨床看護師が非常勤講師として講義の一部をご担当頂いている。
研修会、研究指導等	看護管理の講義で授業交流を行なっている。
演習指導者の活用。「卒業時の臨床看護実践能力の向上を図る」を目的に、本学の専門教育科目6科目において、演習指導者40名を活用。	グループ内の医療法人、社会福祉法人とユニフィケーションの協定を締結している。
附属病院看護部に所属する修士修了者で助教に適任と判断された看護師が、3年程度の期間を大学で助教経験し、また臨床に戻るといった人事交流を行っている。また大学教員で臨床に戻ることを希望した場合も同様である。	専門科目におけるゲストスピーカーとして招聘する等
演習等への学生指導	学部、大学院への非常勤講師派遣
県と検討過程はある。専門看護師資格(精神看護、老人看護)を保有する教員がいる為、大学が実習施設と業務提携を結び、実務研修を有料で行っている。	大学病院の指導者を1年間助教として出向。
附属病院看護部との間で人事交流の制度がある	看護学研究の実際について、実習先の看護師に対して指導している。
県内の、連携協力協定病院をはじめとした病院から計3名受け入れている。	実習前の施設研修(実習担当教員) 実習教育研修会(実習施設指導者との交流、研修、会議)
県立の病院から、看護師が研修生として本学に出向している。演習・講義を聴講したり、実習指導補助を担っている。	ゲストスピーカーとして講義を、看護技術演習では、グループの技術指導を依頼している。
教育と現場の交流促進及び看護・教育の実践力の向上を目的に人事交流を行っている。	看護理論における講師派遣
連携協議会の定期的開催	臨床看護師の研究指導実習指導者との話し合い
看護学科と看護部間での人事交流	実習前の研修
・附属病院との間での人事交流を実施	実習教育会議、実習調整会議
設置母体がおなじ県立病院とのユニフィケーション協定を締結してユニフィケーション事業を年間計画で展開している。看護教員の短期臨床研修や共同研究、学習会の企画運営等を展開している。給料システムの違いや人事交流をする人的ゆとりが双方にないことなどから、人事交流は展開できていない。	各実習施設と大学間で年1~2回実習連絡協議会を開催し、実習指導における学生指導、支援の向上や情報共有を行っている。また、学生の学びやすい環境づくりのため、事前研修を通し、指導者と教員による実習内容や方法の検討、実習前打合せを行っている。
実習が円滑に進むように、年度の実習開始前に各担当教員が病棟での研修を兼ねて、スタッフ間との調整をはかっている。	日常生活援助論演習において、実習施設の看護師が模擬患者役として学生の教育の一部を担当している。

Q25. 2017年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

実習施設等との共同研究や合同研修(勉強会)等の制度や取り組みがあると回答された方のみ

F. よろしければ制度・取り組みの内容等について、具体的にご記入ください。

教員が附属病院の研究支援を行っている。	共同研究
看護学科内のFDおよび領域主催の講演会、勉強会の案内を行っている。	臨床指導者研修の一環としてグループワークのファシリテータを教員が担当している
コアスタッフ会議を附属病院実習担当者と持っている。東温市と東温スタディとして疫学研究。実習指導者ほか附属病院看護師等を対象に実習指導に関わるテーマで講演会を行った。(看護教育セミナー)	本学看護学部では、研究推進委員会において本学看護学部専任教員と臨時実習関連施設の臨地教育等との共同研究を推進する取組みがある。
・医学部実習指導検討会 年6回。実習指導方法、実習環境の整備・看護部臨床研究支援及び共同研究 年3回	臨地実習指導者研修部会および実習委員会による年3回の臨地実習指導者研修会を実施しており、指導体制および協力体制の強化を図っている。また、教職員ワークショップや大学院FD講演会、研究発表会等を実施しており、本学附属病院の実習指導者も参加している。
・事例研究会を一緒に行っている(成人)・大阪府の主催で府下全域の保健師教育機関と実習施設の合同連絡会(研修会含む)が年1回(地域)・指導者の人事育成研修、アクションリサーチ(在宅)	各専門分野ごとの競争研究、研修を実施している。
研究の支援および退院支援研修の取り組みを行っている。	年1回、実習施設を含むグループ法人全体による学会・学術集会を開催している。
実習施設での勉強会等に参加している。	病院・施設等との連携を強化することを目的とし、臨床(地)教授・臨床(地)准教授・臨床(地)講師を研究分担者として共同で研究を行っている。
主要な大学病院とは、保健学科との合同委員会を設置し、相互に人事交流、研修・研究支援、就職に関する事項の推進を図っている。大学病院とは、研修会、講演会、国際フォーラム等を合同で共催している。他の施設には、医学部、保健学科で開催される研修会、講演会、FD研修、国際フォーラムなどの案内状を送り、参加を呼びかけている。また、看護部の研究を支援するお助けサロンを設置している。	①看護教育会議(年3回開催。大学教員全員と看護師長全員が出席する)の開催②聖ルカアカデミア(大学と病院が共催で行う学内学会)を毎年実施。研究や業務改善の発表を行っている。
自由意思での参加を募集して、共同研究・共同勉強会を実施しています。	実習教育会議
・合同研修(勉強会)として、倫理に関する問題や事例の検討、看護ケアなどをテーマに行っている	東海大学看護研究会内の教育委員会で年2回の研修会、研究委員会で個別研究指導や統計処理の研修会、共同研究の推進を図っている。
教員と関連する病院部署看護師などで勉強会を行っている。	実習に関する教育連絡会
平成29年度から6市町村の中堅期保健師を対象に、PDC Aサイクルの研修を行っている。上記以外には、平成30年12月に4町村の保健師を対象に、保健師記録に関する研修を行う。	科研費を獲得して行っている研究に、看護職員が参加している。看護職員が取得している科研に、教員が参画している。看護部主催の看護研究会に学部の教員が講評するなどの取り組みを行っている。
共同研究を実施している。	臨地実習指導者研修会、病院看護部の看護研究指導

<ul style="list-style-type: none"> ・施設からの依頼による研究指導や集合教育、個別指導に対応 ・看護実習に関する協議会 ・看護教育に関するFD研修 ・抄読会(定期的実施。広く案内を出しており、訪問看護ステーションや地域の病院等、学外からも出席者あり) ・共同研究(本学附属病院看護部、外部施設等) ・県下の全大学の公衆衛生看護担当教員と保健所・市町の保健師が県庁に集い、実習の振り返りや課題の共有のグループワークと、教員からの話題提供を行っている。 	<p>実習施設指導者を交えた領域別の研究会等を開催するほか、大学と実習施設の共催で実習指導者研修会を開催している。施設の指導者との会議の中では、実習で起こったエピソードを基にディスカッションを行い学生への理解を深める努力を続けている。</p>
<p>発達障害のある学生に対する実習について合同研修会を開催したり、実習病院の臨床看護研究のアドバイザーの取組みをしている</p>	<p>本学主催のセミナーに病院関係者が参加している。</p>
<p>実習施設の看護部と学部教員で構成する連絡会議の下部組織として研究支援部会が設けられており、研究シーズの発掘や研修会を実施している。・科研費を取得した研究・共同での海外研修・病院から支援されたせん妄ケアのシステム化に関する共同研究。</p>	<p>大学主催で年に1回、実習施設の指導担当者や管理者の方と全教員が、昨今の動向を踏まえた臨床及び学内での指導方法など検討する会議を設けています。</p>
<p>実習協議会で講演会を行い、学生の理解や実習指導について研修を行っている</p>	<p>青森県の複数の保健所の管内保健師の研修会に、教員が講師として継続的に参加している。</p>
<p>「コンピテンシーモデルを用いた看護管理者能力開発プログラムの評価」の共同研究/精神神経科病棟の看護師や精神科デイケアのスタッフとの共同研究</p>	<p>倫理に関する研修会を開催した。教員が実習先病院の研究指導を行った。</p>
<p>附属病院看護師の研究に対する教員からの支援共同研究 院内看護研究を大学教員がサポート</p>	<p>学園内医学会への共同研究、病院主催の看護研究会へ教員も司会や演者として参加している。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・実習まとめの会として、年1回大学病院看護部と大学とで話し合いを行っている。 ・在宅看護学実習実習協議会(1回/年)、公衆衛生看護学実習協議会(1回/年)も実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護部研修(年間で1つのテーマ)の講師を務めている。 ・合同研修として高齢者看護に関する勉強会を実施している。 ・実習先の職員の学会発表のためのサポートをしている。
<p>臨床のスタッフが計画した研究に共同研究者として参加。</p>	<p>附属病院のNSが研修会やセミナーに出席する</p>
<p>看護学専攻教員が看護部スタッフに対して研究支援を行う場として、月1回「看研カフェ」を実施している。</p>	<p>病院主催の教員と施設の指導者との実習指導に関する学習会(実習指導事例のグループワーク)</p>
<p>年に1度、合同でFDを開催</p>	<p>公開講座など計画している</p>
<p>大学病院看護部と保健学科看護学専攻の間で、共同研究支援委員会が設置されている。大学病院との共同研究や大学病院看護師との研究を支援する委員会であり、研究支援の形態(共同研究、スーパーヴァイザー等)を決め、教員との調整を図り、研究を遂行している。</p>	<p>共同研究推進の委員会がある。実習施設の看護研究の相談を教員が受けている。</p>
<p>共同研究、臨床看護師の研究支援</p>	<p>毎年1回実習施設指導者との合同研修(勉強会)を実施している。</p>
<p>附属先駆的看護実践支援センターが開催する附属の大学病院看護部との共同研究及び大学院生、教員用の研修会において、大学病院看護職も参加できるように合同研修として開催している。</p>	<p>制度としてはないが、各領域で取り組んでいる。①母性の実習施設の講義の一部を依頼するとともに授業評価を研究としてまとめている。②病院看護部の要請で「看護課程」の講義・演習を4回行っている。</p>
<p>実習施設の各病棟や部署からの看護研究支援依頼が、計画的に年に1回程度あり、研究計画から実施、学会発表、論文投稿までを支援している。</p>	<p>実習説明会・研修会及び意見交換会を実施している。</p>
<p>医学部附属病院との「看護教育検討会議(2ヶ月に1回)」や「看護教育合同研修会(年に1回)」を行っています。</p>	<p>研究指導に出向している領域がある。</p>
<p>実習施設の学生指導で関わっている共同研究</p>	<p>看護過程の展開について大学で指導している内容</p>

<p>実習施設を対象とした教育講演等を年2回程度、大学として予算化し実施している。そのほかに、各実習領域ごとに共同研究や研修を実施する。附属病院の実習指導者委員会について、病院スタッフとともに企画運営を行っている。</p>	<p>大学病院との合同での招聘講演会の開催</p>
<p>看護学科と附属病院看護部との連携プロジェクト</p>	<p>臨床の研究指導や共同研究の実施および研修会の開催</p>
<p>附属病院看護部との看護研究ユニフィケーションがあり、看護部の看護研究に関わっている。年3～4回の集合研修と各病棟の看護研究を各教員が受け持ち、計画書づくり、倫理審査申請書作成、研究実施、分析および研究発表まで支援している。</p>	<p>臨床実習連絡協議会ワーキンググループによる実習指導と評価に関する共同看護研究</p>
<p>臨床看護研究推進センターにおいて、国立高度専門医療研究センター看護部における臨床看護研究の推進・発展に寄与するため、看護研究に関する講義・講演・個別指導等を行っている。</p>	<p>シミュレーション指導者育成プログラムや、スキルアップ研修を年に2～3回程開催している。</p>
<p>研究および研究発表会</p>	<p>病院と大学での共同研究を行っている</p>
<p>年1回(2月)、ほぼ全実習施設から約150名の実習指導者にお集まりいただき、看護学科教員全員と「実習指導者会議」を開催しております。午前中の「全体会」では、事前にテーマを設定して、外部の講演講師にご講演いただいたり、パネルディスカッションを企画したこともございます。午後は各領域毎に「分科会」と称して、検討会をしております。</p>	<p>臨地実習指導者研修セミナー及び指導者カンファレンスを実施している。</p>
<p>臨床教員との交流を行い、実習指導が効果的となるように情報交換等を行っている。</p>	<p>実習施設において研究会を開講するとともに、個人的な研究指導を行っている。</p>
<p>主たる実習施設である岩手県立中央病院と合同勉強会を実施している。</p>	<p>研究サポート、講義</p>
<p>中堅期保健師研修の実施・評価に関する共同研究を実施した。</p>	<p>ケア検討会</p>
<p>・実習施設に大学教員が出向いて、実習指導短期教育プログラムを毎年実施している。4回シリーズで最終的に実習指導案を作成し、修了証を渡す。・研究支援を7施設に対して、実施している。</p>	<p>・実習指導に関する研修会</p>
<p>実習施設と共同研究を行う場合、研究費をつけている。</p>	<p>実習施設とのより良い連携を図るため、定期的に連携会議を開催している。</p>
<p>・実習連絡会に合わせて勉強会を行い、又、学内でのFDを公開研修会として参加を促している。 ・組織的にはないが、実習施設から各教員へ依頼があり、研究指導や学習会、共同研究などを実施している。</p>	<p>教員の研究に研究協力者として実習施設の看護師が参加したり、CNS等との勉強会を一緒に行っている。三島市及び伊豆市の保健師学習会にそれぞれ出向き、地区担当制の在り方を数回ずつ検討した。外来看護・看護外来について認定看護師さんと一緒に共同研究を行っている。また、スタッフに対して勉強会を年に数回、開催している。実習領域にてお世話になっている教員が臨地実習施設に行き、研究指導などの勉強会を行っている。</p>
<p>本学教諭と現場看護職者が対等な関係で研究的な手法で看護現場の課題に取り組む共同研究を実施している。また共同研究の経過を振り返り、研究成果を広く共有するため、年1回の「共同研究報告と討論の会」を開催している。</p>	<p>共同研究を実施している。事例検討会や勉強会(学生指導について、療養支援方法、薬物管理など)を実施している。</p>
<p>京都府立医科大学看護研究交流会、協同研究を行っている。</p>	<p>実習施設連絡協議会において、講演会を開催し、実習施設の看護管理者や実習指導者と共に交流をして今後の実習指導に役立てている。</p>
<p>新人教育支援(プログラム作成、スタッフ教育)、臨床教育ニード(研修計画支援)等</p>	<p>専任教員が実習施設へ職員研修の講師として赴く。</p>

<p>県内病院の看護研究サポートを実施</p>	<p>毎年6月に研修会の実施(大学側主催)</p>
<p>包括連携事業の一環として、次のような取り組みをした。①基礎教育・継続教育・大学院教育における相互協力(ナースカフェ、教員によるキャリア・サポート研修、シミュレーション教育学習会、看護師研修への講師派遣)②教員によるコンサルテーションの実施(化学療法を受ける子どもへの看護に関する勉強会、マネジメントリフレクション)③臨床実践能力および実践モデル等の開発・検証に関する共同研究(看護職の教育力育成に関する検討)④県民・市民の健康づくりに死する活動の共同開催(赤ちゃん同窓会の企画・運営への教員、学生の参加)</p>	<p>毎年1回臨地実習全施設を対象に臨地実習協議会を大学で実施している。内容は講演、意見交換会、交流会で2時間30分程度。施設の参加者は110名程度。連携実習施設と共同研究(任意)のシステムがあり今年度より取り組んでいる。</p>
<p>・本学において代表的な実習病院と大学とで実習教育協議会を年に1~2回開催し、実習施設と教員で実習及び学生の状況等情報提供を行い、意見交換、協議を行っている。・在宅看護実習においては、実習先の指導者との意見交換会を実習終了後に開催し、実習内容の相互理解を深めている。(地域)・オレムセルフケア看護理論を施設の業務に取り入れることを目的とした教育介入の研究を、1施設と大学の1看護領域の合同で行っている。大学側で科研費を取得し、現在10年目を迎えた。学習段階から始め、実践段階では理論を取り入れた看護計画の電子化を行い、実践の看護業務を理論に基づき展開している。現在は評価段階で、理論に基づく記録のプロセス監査を作成し、監査を実施、評価している。施設内の1委員会において、大学・施設合同で定例(月1回)で事例検討会を行い、委員が学習したことを各部署で展開、施設での報告会を行っている。集合形式の研修会は、課題に合わせて実施、今年度は看護過程と記録監査の研修会を行った。研究の成果は、共同研究として毎年学会発表を行っている(小児)・実習施設の看護研究指導に積極的に教員を派遣している。・看護師研修の企画、運営を、看護部と大学教員で共同で実施している。現在実施している研修は、エデュケーションナースの育成で、臨地実習指導者でなく、病棟や病院において広く教育を担うスペシャリスト育成を目的としている。企画、運営において、大学の人材や教育に関する知見を活用するようにしている(成人)・実習施設の研修の講師。実習施設の研究指導(精神)・精神看護領域では、修士修了生である病棟師長とともに、病棟スタッフとともに共同研究をしている。</p>	<p>滋賀子どもプレパレーション検討会、キャリアジャンプ</p>
<p>実習施設からの研究協力依頼に協力している</p>	<p>在宅看護学の教員が、病院の看護師教育として研究の講義指導を行っている。大学教員が市を巻き込んだ地域連携ワークショップ等を実施している。</p>
<p>看護コンソーシアムによる意見交換会を定期的実施</p>	<p>定期的な臨床指導者との研修会</p>
<p>学部の附属施設(地域交流看護実践研究センター)を通して、実習施設を含む病院等に勤務している看護師との共同研究を実施している。</p>	<p>病院との共同研究の実施。</p>
<p>災害時の精神医療チーム等の共同研究小児を対象とする看護師への倫理的サポート支援プログラムの開発</p>	<p>外部講師を招聘し、合同研修を1回/年以上開催している。</p>
<p>実習FD等</p>	<p>実習指導に関する研修会、共同研究</p>
<p>共同研究の推進。「臨床上的問題を科学的に探究する」を目的に、一つの共同研究を進めている。</p>	<p>年に1回 実習施設と合同で「実習中のインシデント」などの課題を設定して話合っている。</p>

附属病院看護師との共同研究があり、大学主催、看護部主催ともに内容が双方に共通するものであれば参加可能である。	実習合同連絡会議を、年1回開催している。
併設の看護研究交流センター事業の「地域課題研究」において、実習施設等の看護師等と共同研究を行っている。	毎年度、実習指導者研修会を開催し、実習指導に関する講演会、グループワークを実施している。
「臨床看護研究支援センター」を設置し、病院等が取り組む臨床看護研究を支援する。	授業参観、授業協力、研究会参加 研究支援
大学の組織としての取り組みや制度というより、教員の個人研究として実習施設との共同研究を行っている	年に1回、連携会議を開催し、講演会、グループワークを実施している。
毎年度末に臨地実習教育会議を開催し、実習施設と実習の現状を共有・討議し、より良い連携・協働のあり方を検討している。	「看護実践連携研究会」で共同研究等を行い、「看護実践連携研究会発表会」を実施している。
時々の企画で、実習指導者対象の研修会や研究に関するセミナーを教員と実習施設の職員に呼びかけ、参加してもらっている。	実習教育研修会年1回 実習施設指導者との合同研修 大学の実習教育のあり方
共同研究医療機関の新人研修に本学の4年生の希望者を参加させる	実習指導に関する検討会
・附属病院実習指導者との合同学習会 ・実習施設との共同研究助成事業	・精神看護学において実習指導者研修会の開催(定例) ・臨地実習指導者研修会(年1回)
コミュニティケアセンターが中心となって、地域の活性化に向けての共同研究・事業を行っている。	毎年3月に「臨地実習協働運営交流会」を開催し、講演会等及びその年度の反省会、次年度の課題を協議している。
看護学科が実施している看護研究発表会に実習病院および施設からも参加できるようにし、看護研究の発表の機会となる取り組みを行っている。	「臨地実習合同連絡会」の開催
研究会の実施	臨床看護師の研究指導実習指導者との話し合い
目標管理や目標評価などについて、実習施設と大学の共通課題としてコーチングに関する合同研修会を実施した。	臨床研究指導及び共同研究を実施している。
大学の地域在宅ケア研究センターを中心に、実習施設における看護研究指導、および共同研究を実施している。	チーム医療研修でグループ病院の他職種とのグループワークを行い、意見交換を実施した
毎年、実習施設との連絡協議会を開催して、実習指導について検討を行っている。	実習施設からの要請により、研究指導および特定のテーマに基づき、講師として勉強会に協力している。
共同研究、研修会、病院行事参加(町の保健室等)	臨地実習各施設の指導者と本学部の看護教員を対象として、看護の実際や教育全般に関する研修会を年1回開催する。
小児看護:テーマ「小児看護学実習における小児看護の「技」のみえる化プログラムの開発と評価」において臨地教員と共同研究を実施。	臨地実習先の施設(病院、施設等)関係者に対して実習指導者意見交換会を開催し、ワークショップを通じて意見交換や情報の共有を図り、より効果的な実習指導を施す環境と体制を整える取組みを実施している。
研究実施においては、双方の倫理委員会の承認を受けて実施	・臨床指導者研修会の開催(「近年の学生の傾向と臨床指導」) ・臨床講義の実施(「看護理論研修会」)
実習施設での事例検討会や院内発表会への参加	本学特別研究助成費において、実習施設との協同によるシミュレーション教育プログラムの開発に係る研究を行った。
実習施設である京都市立病院や京都第二赤十字病院と教育研究に関する包括協定を締結し、本学教員と実習指導者との間で、臨床教育合同研修会の実施、看護の質向上を目的とした継続教育に関する取り組みを実施している。	・ICTを用いた看看連携に関する研究 ・大学病院における育児短時間勤務に従事する看護師の職務満足に関する実態調査 ・育児休暇中に情報提供や不安などを語り合える場として、「リーママカフェ」を開催し、参加者の質問紙調査から職場復帰に対する思いや必要な支援について示唆を得、学会にて発表した。等
年に1回実施講師を招き、学生との関わり、実習指導について教員、指導者と共に学び理解を深める。	実習指導者連絡会における共同FD、施設の要望により講演会等

<p>・制度として特に取り決めはないが教員個々に行っている。</p>	<p>本学部と実習施設の連携を充実させるため、実習先の指導者と本学教職員を対象に「実習協議会」を開催している。内容：本学部の教育方針や教育の特徴などの情報提供、グループディスカッションなど</p>
<p>・領域実習のオリエンテーション時のランチミーティング等・実習施設との意見交換会など・看護学科のFD講演会への参加の呼びかけ</p>	<p>実習施設からの要請により、研究指導および特定のテーマに基づき、講師として勉強会に協力している。</p>

Q25. 2017年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

実習施設の看護部や実習指導者に対して、臨床教授(臨床准教授・講師を含む)制度を導入していると回答された方のみ
H. よろしければ制度の内容等について、具体的にご記入ください。

臨床経験が20年以上の指導者を「臨床指導教授」、14年以上を「臨床指導准教授」、7年以上を「臨床指導講師」として認定している。	臨地実習指導講師制度を導入している。
愛媛大学医学部看護学科臨床教授等の称号付与に関する規程一抜粋一第5条臨床教授として専攻できる者は、医療機関等における豊富な臨床経験を有し、優れた臨床能力及び教育能力を有するものとし、次のとおりとする。(1)臨床教授は、臨床経験20年以上の者(2)臨床准教授は、臨床経験10年以上の者(3)臨床講師は、臨床経験5年以上の者 ほかの規程がある。	県立病院の看護職員を対象として、規程に基づいて任命している。1年任期で毎年春季に任命し、実習指導や学内の看護学教育への支援をお願いしている。
経験年数に応じて臨床教授、臨床純教授、臨床講師の名称を付与する。	臨地実習における指導体制の充実を図るため、臨地実習協力施設に所属する実習指導者に対して、看護学部長の申請に基づき、学長が臨床教授、臨床准教授及び臨床講師の称号を授与している。
臨床教授を一人雇用している。	称号付与
臨床教授等の称号を付与している。	臨地実習施設の看護部長より、推薦基準を満たし指導に携わっている看護師を推薦していただく。実習連携委員会、看護学部教授会で承認を得た後「臨地教員」の称号を付与している。
臨地実習に協力していただける病院や老人保健福祉施設、または地方公共団体の保健行政部門に勤務する優れた看護職者に称号を付与し、実習先の指導体制の充実を図っている。	「北里大学看護学部臨床教授等に対する称号付与」看護職の基礎教育及び、大学院教育において、特段の貢献が期待されるものに対して称号を付与し、教育指導体制の充実を図る。対象は本学部と同一法人が運用する大学病院、東病院、北里研究所病院、北里大学メディカルセンターに勤務する看護職員。
現在、附属する大学病院においては、看護師経験年数、役職に応じ、臨床教授、臨床准教授、臨床講師に任命し、実習指導にあたってもらっている。また、その条件を厳しくした。	本学看護学部における実習教育に協力する医療機関等において、臨地教育等に優れた者に対する称号の付与等に関し必要な事項を定め、看護実践教育の指導体制の充実を図るとともに看護の質の向上を図ることを目的として、自治医科大学看護学部臨地教授等の称号の付与制度を導入している。
大学附属病院看護部長が臨床教授、同病院副看護部長が臨床准教授、同病院病棟看護師長が臨床講師	本学附属病院で実習指導にあたる看護師に対し、看護臨床教員の併任発令を行っている。
毎年、実習指導に関わる実習指導者に対して、臨床教授(臨床准教授、講師を含む)の称号を付与している。	臨床教員(准教授、講師)が、実習科目の責任者として教育活動にあっている。

<p>授業科目履修規則に定める臨床実習等の指導に協力する医療機関等に所属する医療人に、選考の上、付与する。また、医療機関等における豊富な臨床経験を有し、優れた臨床能力及び教育能力を有するものとする。称号の種類は、臨床教授、臨床准教授、臨床講師とする。</p>	<p>「臨床教授等の称号付与に関する規程」により、以下のとおり定められている。(抜粋)(趣旨)この規程は、聖マリア学院大学(以下「本学」という)における臨床教育に協力する学外の医療機関等(以下「実習等協力機関」という)の優れた医師、看護師等に対する称号の付与に関し必要な事項を定め、以って実習等協力機関との連携強化に資することにより、臨床教育の指導体制の充実を図ることを目的とする。(称号の種類)称号の種類は、臨床教授、臨床准教授または臨床講師(以下「臨床教授等」という)とする。(選考基準)医師・看護職・技師職系に係る臨床教授等の選考については、医療機関等における豊富な臨床経験を有し、優れた臨床上の業績を有すると認められる者で、原則として次の各基準を満たす者とする。(1)臨床教授は、保健医療機関等における臨床経験又は臨床教育経験が15年以上の者(2)臨床准教授は、保健医療機関等における臨床経験又は臨床教育経験が10年以上の者(3)臨床講師は、保健医療機関等における臨床経験又は臨床教育経験が5年以上の者</p>
<p>教育委員会に申請し、5年を限度に臨床教授・臨床准教授・臨床講師の称号を付与している。</p>	<p>大学の教育及び臨床実習指導に携わる保健医療福祉の専門職者であり、専門分野について優れた知識と豊富な経験を有しかつ教育に熱意を有する者のうち、教育上必要があると認められる者に臨床(地)教授等の称号を付与する。</p>
<p>・臨床現場における豊富な臨床経験を有し、優れた臨床能力、教育能力及び研究業績を有する医療人であって、経験年数、業績並びに専門看護師等の有資格等を要件に看護学科における臨地指導又は本学の非常勤講師として任用された者に2年以内の年度末(更新可)の間付与。</p>	<p>【学部実習担当者の役割責任】 1. 学部実習担当者は聖路加国際大学看護学部の実習カリキュラム・実習目標を理解し、看護管理者とともに効果的な実習となるよう実習環境を整えるよう努める。 2. 担当教員および実習部署スタッフとの連携をとり、実習目標が達成できるように支援する。 【臨床教員】 実習施設指導者に称号を付与する。無報酬。科目単位認定者或いは学長の推薦により、任命する。</p>
<p>臨地実習委嘱講師制度:臨床経験3年以上、年齢60歳未満の看護職について大学・付属病院との合意で推薦し、教務委員会で審査、学系教授会、学科会議で審議の上、最終決定を行う。</p>	<p>外部講師として授業の中の1コマを講義いただいている</p>
<p>特命助手、臨床講師の導入</p>	<p>実習先に対して臨床教授制度の案内と募集を行い、応募者の役職並びに専門領域に関する臨床挙行の実績及び学会発表等を含む研究上の業績・日本看護協会の専門看護師・認定看護師制度等による資格について、本学の基準を基に付与する称号を定め、教授会で審議・承認後、証書と共に付与している。</p>
<p>臨床教授、臨床准教授、臨床講師の枠組みを決め、各病院の看護部長などに推薦を依頼している</p>	<p>学園内講師として、講義・演習を依頼している。実習指導において調整役・直接指導等を依頼している。</p>
<p>臨床教授・准教授・講師附属病院の他にも外部実習施設等の指導者に対して、経験年数等によって、臨床教授・臨床准教授・臨床講師を授与する。毎年、更新する。</p>	<p>25年度より臨床職制を制度化し、現在では10人程度の看護職員が臨床講師の役割を担っている。</p>
<p>実習に関わっている担当部署の師長等による、臨床教授等を任命している。年1回の見直しをし、その都度、新規、更新を行っている。</p>	<p>大学院(臨床教授、准教授)</p>
<p>学外実習施設の実習指導者に対して臨床教授・准教授・講師を設けている。臨地経験、研究業績等に関する審査基準が設けられている。</p>	<p>看護部長・副看護部長・行政機関の所管課長以上には臨床教授、看護師長・行政の係長には臨床准教授、副看護師長・行政の主任や主査には臨床講師として委嘱状を渡している。</p>

規定を設けて、発令している	教授会や研究科委員会において、臨床教授等の適任者に対する意見を聴いて、学長が称号を付与する。付与する期間は、原則2年間とし、延長ができる。給与や謝金等の報酬は支給しない。臨床教授等は、看護学実習の指導に当たり、必要な協力を行う。
「医学部臨床教授等の称号付与に関する規定」ならびに「医学部臨床教授等の称号付与に関する規定の運用方針」に基づき、「臨床教授等選考委員会」での決議を経て、毎年度年度当初に選考している。	臨床教授
臨床教授・准教授・講師を置き、臨地実習だけではなく学部教育において数コマの授業を担当していただいている。	大学における臨床教育に協力する学外の医療機関等の優れた医療人に対する称号の付与等に関し、必要事項を定め、臨床教育の指導体制の充実を図ることを目的とする。実習先へ制度の内容を伝え、希望に応じて称号を付与している。
臨床教育の指導体制の充実を図ることを目的として、本学科が行う臨床実習または臨地実習等の臨床教育に関し、本学科が委嘱する学内・学外の保健医療機関等の優れた医療人に対して称号を付与している(臨床指導教授、臨床指導准教授、臨床指導講師)。	演習科目や講義など、兼任教員として申請し、実施している。
医学部細則に定める臨床実習等の指導に協力する医療機関等に所属する医療人を対象とし、その所属長の承認を得て、医学部長が付与。医学部及び実習等協力機関等との協議の上、作成された臨床実習等のカリキュラムに従い、所属する実習等協力機関等において、臨床実習指導等必要な職務を行う。選考基準：臨床教授(臨床経験を15年以上有する者)、臨床准教授(臨床経験を10年以上有する者)他	一部の実習施設の看護部長を臨床教授として委嘱している。
選考基準を定め、委員会にて履歴書と業績を確認のうえ、各実習施設の看護部長に臨床教授、副看護部長に臨床准教授、師長および指導担当者に臨床講師の称号を付与している。	本学における臨床教育に協力する医療機関等に所属する、優れた医療人に対して、規定に従い臨床教員(臨床教授、臨床准教授、臨床講師)の称号を授与する。給与の支給は無いが、教員として礼遇される。
本学科・学院が行う臨床実習または臨地実習等の臨床教育に関し委嘱する学内・学外の保健医療機関等の優れた医療人に対して称号を付与し、もって臨床教育の指導体制の充実を図ることを目的とする。	本学の要請により実習生を受け入れてその指導に協力する施設等(以下「実習協力施設」という。)に所属する保健・医療・福祉関係者に付与する。
学外の臨床経験豊かな看護師、助産師及び保健師に臨地実習等の指導を委嘱し、指導体制の充実を図っている。臨地実習等の企画、立案にも参画していただいている。	臨床教授、准教授・講師の制度がある。1年ごとの委嘱である。
医学部看護学科における学生の臨床実習を含む臨床教育に協力する本学科以外の優れた医療人に対する称号の付与等に関し必要な事項を定め、もって臨床教育の充実を図る制度である。	臨床教授、臨床准教授および臨床講師を毎年度委嘱している。
臨床教育に協力する学外の医療機関等の優れた医療人に対して臨床講師の称号を付与し、臨床教育の指導体制及び教育内容の充実を図っている。臨床講師は、所属する実習協力機関等において、保健学科と実習協力機関等との間で作成された臨床教育カリキュラムに基づき臨床実習指導等を行っている。	本学附属病院の実習指導者を臨床講師として発令している。
臨床教授：看護部長臨床准教授：教育担当副看護部長	臨床教授制度の導入をしている。
臨地における講義講師として正式に委嘱のうえ、講義を実施していただいている。	臨床教授、臨床准教授を発令し、連絡会議を開催し、臨地実習の状況報告及び看護教育についての意見・情報交換を行う

<p>2017年度の臨床教授等(臨床教授、臨床准教授、講師)の称号付与人数は89名です。毎年5月に任命式を行い、任命状付与および教職員カード(図書館利用可)を配布しております。学長から本学の紹介や、国家試験合格状況、就職状況などの情報提供をし、出席者と大学側で意見交換や懇談を通じて理解を深めております。</p>	<p>職位と経験年数によって、すべての領域で毎年更新している。</p>
<p>実習施設からの推薦を受けて、職位・経験年数に基づき称号を付与している。</p>	<p>・看護部長に臨床教授の称号を付与。・大学院(CNS)の演習や実習指導に関わる認定看護師と専門看護師に臨床講師の称号を付与。</p>
<p>主たる実習病院(1施設)の看護部長を臨床教授として任命している。</p>	<p>臨地実習等の指導に協力する医療機関等に所属する医療人で臨床系教育の指導に携わる者に付与する。(臨床教授等の称号付与に関する規程 第3条)</p>
<p>主に大学院に関わる医師他、学部実習の基幹施設の看護部長に認定している。</p>	<p>病院の看護部長を臨床教授とし、各病棟、外来等の師長を臨床准教授に、実習指導者の内の責任者を臨床講師とする制度を持っている。実習指導に関する中心的な存在である。</p>
<p>実務経験年数に応じて臨地実習教授等の称号を付与する。</p>	<p>大学の臨床・臨地実習指導を担当する病院・施設・機関等における豊富な経験を有する優れた指導者に対し、臨床教育講師又は臨地教育講師として委嘱する。</p>
<p>学士課程では臨床講師、大学院CNS実習等に臨床教授等の称号を付与している臨床教授等は経験年数、業績等で講師・准教授・教授を判断している。</p>	<p>科目担当者を特任教授としている</p>
<p>看護部長レベルには「臨地教授」、看護副部長レベルには「臨地准教授」、の称号を提供することで実習指導に対する役割意識をもってもらう</p>	<p>主実習施設の看護部長(臨床教授)副看護部長(臨床准教授)看護師長(臨床講師)実習指導者(臨床助教)を付与している。</p>
<p>大学院CNSコースの実習に関わる指導者のうち、一定の基準を満たした者について臨床教授等の称号を付与している</p>	<p>看護学部の実習施設となっている東北地方の赤十字病院の看護職員に対して、施設との協議に基づき臨床教員の称号を与えている。</p>
<p>実習に関わる病棟指導者を臨床教授、准教授、講師と任命している。</p>	<p>病態・医学に関する臨床教授制度を導入している</p>
<p>高知県の主要な病院の専門医や看護部局長を臨床教授として任命し、学内の講義や臨床の実習などでの学生の指導、育成に協力をいただいている。</p>	<p>本学における臨床教育に協働する学外の医療機関等の優れた医療人に対する称号の付与に関し必要な事項を定め、もって臨床教育の指導体制の充実を図ることを目的としている。</p>
<p>臨地教育の指導体制の充実を図る目的で、学部生及び大学院生の臨地実習指導を含む教育に協力を得る学外の医療機関等の優れた看護職者に対する称号として、臨床教授(臨地教育機関等において看護部長、看護副部長の職にある者)、臨床講師(看護師長・実習指導者等)を付与している。年1回、臨床教授と本学教授との懇談会を開催している。</p>	<p>実習施設の管理職(看護部長等)に臨床教授を依頼し、実習の円滑な遂行の協力を得ている</p>
<p>・臨地実習教員は臨地実習講師及び臨地実習教授とし、臨地実習教員として委嘱された期間は本学の教育暦として認定することができるものとしている。なお、臨地実習教授は、実習に関わる専門職として10年以上の臨床経験と優れた臨床及び実習教育の能力を有する65歳未満で、学科長等が推薦する者としている。・実習施設の看護部長を臨地教授に任命している。年に1回実習施設に実習指導者の本学の臨床講師の登録をお願いしている。</p>	<p>臨床教授(附属病院看護部長)、臨床助手(附属病院実習指導者)</p>

<p>選考基準は、臨床経験年数により、①臨床教授(20年以上の臨床経験)、②臨床准教授(15年以上の臨床経験)、③臨床講師(10年以上の臨床経験)となる。臨床教授等の称号は、臨床実習施設に常勤し、実習教育に直接携わる看護師、保健師等であり、65歳以下である等の要件を満たして選考された者に付与する。なお、臨床教授等としての謝金は支給しない。</p>	<p>臨床教員制度を導入し、教育プログラムの内容検討や課題のある学生への対応等について積極的に関わってもらっている。</p>
<p>臨地教授制度を導入。学内教育と臨地教育との連携を強化し、より充実した臨地教育を実施するため、臨地実習を行う病院又は施設等の臨地・臨床実習指導者に対し、臨地教授、臨地准教授又は臨地講師の称号を付与。</p>	<p>学内規定に基づき、臨地実習教育の指導体制の向上を目的として、臨床教授(看護部長クラス)を発令している。現在特別の職務は依頼していないが、今後臨床准教授、臨床講師を発令し、学内演習指導等も協力して実施する予定。</p>
<p>実習受入施設に所属する者で、当該教育の分野に関して優れた知識および経験を有し、かつ、当該教育に携わる者に臨床教授等の称号を付与している。</p>	<p>臨床教授を取り入れている。</p>
<p>県内公的病院において、臨床教授制を導入した。主には臨床実習指導についてである。</p>	<p>規程を作成し、臨床経験年数により、臨床教授、臨床准教授、臨床講師を任命し、OUSEの評価者などのなっていたが、協働で学生の指導に当たる体制を構築している。</p>
<p>経験豊かで優れた看護職者等を臨床教授として委嘱し、実習指導等をしていただく。</p>	<p>毎年度、基準を満たす実習施設に対して推薦依頼を行っている。</p>
<p>看護学実習、学内演習において演習指導者として協力を仰ぐとともに、教授会の議を経て称号を付与している。</p>	<p>「京都看護大学看護学部看護臨床教授等称号付与規程」に基づき、本学の臨床教育者研修を修了した臨地実習教育の総括に当たる看護部長若しくは副看護部長又はそれに準ずる者を「看護臨床教授」として、臨地実習の統括の任に当たる看護師長又はそれに準ずる者を「看護臨床准教授」として称号を付与する。</p>
<p>看護教育講師という名称で看護部の推薦者を学内で審議後決定している。</p>	<p>看護学部において、看護実践教育の指導体制の充実を図るため、臨地教育に協力する医療機関等の優れた者に対し称号を付与している。</p>
<p>臨床講師の称号を授与している。</p>	<p>非常勤講師として講義の一部を担当</p>
<p>臨床教育の指導体制の充実を目的として、実習等の指導に協力する医療機関の医療人に対して、臨床教授等の称号を付与する。</p>	<p>臨地実習指導講師の称号を付与している</p>

<p>実習指導者に対する実習指導の強化を行うため称号付与している。看護学科における学生の臨床実習を含む臨床教育に協力する学外の医療機関の優れた看護職者に対して称号を付与し、もって臨床教育の指導体制の充実を図ることを目的として取り入れている。本学が定める臨床教授称号基準に基づき、実習施設から推薦を頂き、本学で選考し、臨床教授の称号を付与している。臨床教授は臨地実習、講義、演習等の職務を担当する。付与基準は以下のとおりである。(1)のいずれかに該当し、かつ(2)を有する者です。(1)①看護学臨床教授は、看護部長職及び同等と認められる看護職の最高責任者にあたる者で、実務経験が20年以上、部長職等3年以上を有する者②看護学臨床准教授は、看護部長職もしくは副看護部長職・看護師長職等その施設等の看護職最高責任者を補佐する任にある者で、実務経験が15年以上、各職位を3年以上有する者。または、専門看護師・看護専任教員の資格を有する者③看護学臨床講師は、以下の要件をいずれかを満たすものとする。ア看護主任職にあたる者で、実務経験が5年以上、職位3年以上を有する者。イ看護学校や看護大学での非常勤講師経験を3年以上有し、かつ実務経験を5年以上有する者ウ認定看護師の資格を有する者エ臨床指導者にあたる者で、臨床指導者としての経験を3年以上有し、かつ看護協会等が主催する実習指導者講習会を修了した者④看護学臨床助教は、臨床指導者にあたる者で、臨床指導者としての経験が3年以上を有する者で、本学開催の教員・実習指導者研修会を3年以内に修了した者とする。(2)各専門領域に関する臨床教育の実績及び学会発表(施設内での発表は除く)等研究上の業績を有する者</p>	<p>実習の指導体制の充実を図るため、臨床教授等の称号付与規程がある。</p>
<p>臨床教授等の称号付与は、臨地教育の指導体制の充実を図る目的で実施している。臨床教授等の称号付与は、実習協力機関に勤務する医療人を対象に付与。</p>	<p>「武庫川女子大学看護学部・大学院看護学研究科臨地教授等の付与に関する規程」に基づき運用している。2017年度には5名に付与した。</p>
<p>毎年、教員の推薦により任命している。報酬はない。</p>	<p>修文大学における臨床教育に協力する学外の医療機関等の優れた医療従事者に対する称号の付与等に関し必要な事項を定め、臨床教育の指導体制の充実を図ることを目的とする。臨床教育に必要な職務を行う。臨床教授等の資格は次に掲げる者で、63歳未満の者とする。一 臨床教授は、臨床経験20年以上の者。二 臨床准教授は、臨床経験15年以上の者。三 臨床講師は、臨床経験10年以上の者</p>
<p>臨床教授、臨床准教授の制度</p>	<p>臨床教授ではないが、客員教授、客員准教授を任命させていただいている。</p>
<p>定めた基準に達した実習指導者に対し、学科内の賛成を以て臨床教授等の認定を実施している。</p>	<p>大学における臨床教育の指導体制及び卒後臨床研修の充実を図るため、大学の臨床実習及び卒後臨床研修に協力・連携する大学以外の医療機関等の優れた医師、歯科医師、薬剤師、看護師、保健師、助産師へ称号を授与することがある。</p>
<p>・実習指導に協力いただく附属病院の看護師長等に対し、臨床教育教授、臨床教育講師等の称号を付与(3年更新)</p>	<p>実習の指導体制の充実を図るため、学生の臨地・臨床実習教育に協力する学外の優れた医療・保健・福祉専門職に臨床教授等の称号を付与する制度を導入している。</p>

Q25. 2017年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

1. 看護系課程に関わる臨地実習について課題や問題はありますか。

その他—記述内容

<p>※1各領域によって方針が異なっているように見える。※2 統合実習</p>	<p>※1 産科病棟において、同時期に複数の教育機関が複数の科目(学年が異なる)の実習を実施しているため対象を受け持つ機会が著しく制限される。科目は、母性看護学実習、助産実習、統合実習等である。</p>
<p>1.「その他課題」の具体的内容: 実習施設の医療の質、看護の質2.「⑧その他」領域名: 総合実習</p>	<p>・実習期間(4年生後期)に在宅看護学実習を設定しているが、時期的に遅い。(在宅)・学生が複数名で1名の患者を受け持つこと。(母性)・実習施設により、学生の学びに差が生じている(精神)・施設の人員不足もあってカンファレンスへの参加が困難な場合もある。(老年)・母性看護学を男子学生がどこまで学習するのか。(母性)</p>
<p>④-15 大学全体の予算の削減, それによる実習経費の維持の困難, そのため新たな実習施設の開拓が困難である。⑥-15 実習場所の指導者は良いが、多職種(医師)のレベルが低く、実習の指導内容の妨げになる。</p>	<p>⑧看護管理学①基礎看護学のその他課題(教員間の実習に対する理解・指導の目的・内容について合意形成が難しい、教員の看護実践能力不足、臨床看護師の看護に対する理解不足、看護実践の質の不十分さ)②③は実習先の確保が特に厳しい、他の学校と実習が重なることもある。</p>
<p>外部の実習施設で、他校の場合男子学生を断っており、現在は何とか受け入れてくれている。今後担当教員が変わると男子学生は断ることを意思表示されている。</p>	<p>小児:看護大学の増加により十種施設確保が困難。離職により毎年新人が多く実習指導者が指導の時間をとるのが困難。成人:成人期入院患者が少なく本来の目的と異なる高齢者を受け持つことになる。短い入院期間により複数の患者を受け持つので、学生は記録に追われる。</p>
<p>※2 地域看護学(公衆衛生看護学)</p>	<p>①実習施設が大学病院という特徴から基礎看護学実習の対象者の選定条件により患者の病状が重症であったり、入院期間の短縮により、受け持ち患者の選定が困難である。③・担当教員2名のみで実習指導を行っているため、年間に占める実習指導週数が多く、負担である・冬季の実習は、学生の感染症発症率が高いため、易感染の患児が担当できず、患者選定が困難になる</p>
<p>精神看護学:納得できる実習をさせてもらえる実習施設が遠方で交通手段が乏しいため、通学上の面で継続が困難になってきている。</p>	<p>実習時期によっては、受け持ち可能な母子がいないので妊婦や外来など実習内容を工夫している。</p>
<p>⑤は慢性期⑧は急性期</p>	<p>※1「成人」:臨床看護学実習(成人看護学実習)では、社会背景の影響から、老年期の対象者を担当する機会が増加した。また、入院期間の短縮化が加速しており、回復期にある対象者の生活調整を視野に実践する必要性が増してきた。※1「小児」:在院日数が短いため受持ち患児に限られる。また、臨床側が本学以外の複数の教育機関より実習生を受け入れており、実習期間の制限がある。※2「公衆衛生看護学実習」</p>
<p>看護学総合実習(統合実習)</p>	<p>感染症にり患しやすく、また蔓延しやすい。病院の感染管理が医療安全上厳格で、臨床での実習ができないことがある。</p>
<p>※1 ⑤成人期の患者が少なく、約4割の学生は高齢患者を受け持つ。※1 ⑦実習施設が遠い。教員の質に関する課題がある。他の看護学領域の実習との連携や積み上げが有機的でないため、統合科目としての位置付けで実習しにくい。</p>	<p>※1 小児:実習病院が都外であり、学生は実習期間中、実習病院の寮に宿泊している。実習施設が遠方である。</p>

⑧その他:地域看護学	在宅領域-実習施設が遠方になると宿泊施設の確保の困難。交通費の負担が大きい。
専門職連携教育	主任が業務をしながら指導者としてダブルで役割を担う体制となっており、オーバーワーク気味である。このため、行動調整が遅れ遅れになる。
看護の統合と実践実習	受け持ち患者が少ない上、入院期間が短く、十分に看護を学べない(小児)。実習先の看護の質に関する課題(成人)。
※1 在宅看護学実習:実習機関から訪問先への移動が訪問看護師との同乗ができず、別途大学がタクシーを雇用し学生は別途訪問先に訪問しなければならない状況が生じている。※2 看護統合実習	大学病院での実習のため、受け持ち患児の疾患が難しく、病態や治療を理解するのに時間がかかる。臨時教員確保のむずかしさ。⑧公衆衛生
成人:医療安全管理の視点から、学生が計画した看護を実施する機会が減っているように思う。そのためコミュニケーションと看護が多くなり「手」を使う看護の経験が不足してきたことに課題を感じる。老年:冬場の介護施設の実習では、インフルエンザで急遽閉鎖されることがある。冬場の天候(雪)によっても実習が行えないことがある。	基礎においては今後のカリキュラム変更で実習目標を地域に変更した場合に施設確保が困難になる可能性がある。在宅においては実習用自転車(確保・搬送、駐輪場の確保)と交通安全の課題・問題がある。
老年:実習先の施設の身体拘束の問題があります。学生がいる時は解除できます。まったく支障がなくても身体拘束されているケースもあり、これらは施設のスタッフ不足とも関係しているようです。施設としての身体拘束解除の検討に繋がるように努力していきたいと思えます。場所が遠方なので、交通事故のリスクもあり、検討していきたい。	国際看護学
統合領域	※1基礎 急性期病棟で実習を行っているため病状の変化が大きい患者が多く、基礎実習の学生には難易度が高い。小児 実習施設は他学と日程調整をして確保しないとけない状況である。受け持ち患者は実習時期により不足する場合もある。成人 これからの看護職の育成のための看護学実習の位置づけや方向性、あり方を検討することが課題である。老年 老年実習の対象となる慢性期中心の病院や介護施設では、総合病院と比べて看護の質、臨地実習指導者の教育レベルが劣る。そのため、数少ない比較的良質な施設に他大学の実習が競合し、実習施設の不足が生じている。在宅 実習施設からは、1回当たりの受け入れ人数を少なくしてほしいと要望される。教員の指導時間を増やすことにより、1施設の受け入れ人数を多くしてもらっている。そのため、教員は非常勤助手を含めギリギリの人数で行っている。※2広域看護学領域(総合看護実習)
※1 同じ養成校で同時期に母性看護学実習と助産学実習が重なるので教員の負担が大きい。また、異なる養成校が同時期に母性看護学実習と助産学実習を行い、重なることから実習施設の確保が困難	・医療機関以外の実習施設(例えば、特別支援学校や児童発達支援センターなど)を開拓する際に、学習環境は素晴らしいのだが、交通手段が限られており、通学上の限界がある。・広範囲に実習施設があり、学生の居住地と必ずしもマッチしない。・医療機関以外の実習施設(例えば、特別支援学校や児童発達支援センターなど)を開拓する際に、学習環境は素晴らしいのだが、交通手段が限られており、通学上の限界がある。
※1. 実習環境に関する課題(12)になるのかもしれないが、10グループ60名が一斉に実習に出るため、グループカンファレンスできる部屋の確保が困難である。 ※2. 地域ケア実習	実習施設への移動に時間を要す(距離が遠く、公共交通機関の利用が不便)

※1【母性】母性看護学実習で男子学生は、女性の教員または学生と行動を共にしなければ実習することができない実習環境がある。このような環境で、男子学生の母性看護学実習における到達目標を達成させることが課題である。※2【地域看護学実習】2・5【看護統合実習】3	実習先を確保するにあたり他大学との競合がある。
在宅領域 その他の課題・実習施設までの移動距離が長い・実習施設が複数あり交通費の負担に格差が生じる	1:グローバルヘルス3、10:公衆衛生看護学
地域看護学領域	実習施設への所要時間や交通費について、学生間で大きな差が出ないように配慮している。
老年:・実習施設の確保:近隣の施設を確保できず一部遠方の施設があるため、学生の交通費や移動時間の負担がかかる。・実習先の指導者スタッフ:指導者がリーダー業務や師長代行と兼務であったり、午後から委員会などの他業務で不在のことも時々ある。・学生の質:実習への準備ができていない学生(学習面・体調管理面)や、実習態度が「社会人」として望ましくない学生が最近目立つ(増加傾向にある)と感じる。	・(基礎)入院患者の入院期間短縮、高度医療を受ける方が多い、基礎実習の実習目標以上の課題がある。・(小児)短期入院が多いため、2週間の実習で看護計画を立て、ケアをするまでに至らないことも多い。実習内容と形態(運営)について課題がある。
公衆衛生看護学実習(地域看護学領域)	総合看護実習
個別の領域ではなく、受け入れ医療機関毎のワクチン接種の必要度にあわせながら大学側でワクチン接種を学生に促しているが、大学として計画的に取り組む必要がある。	実習施設における感染症発生による実習受け入れ困難
*1 基礎:患者からの血圧測定時に胸を触られるなどの性的嫌がらせ *2 看護管理領域	②-1)看護系の大学が増えている状況の中、私学等で学生数増員による実習施設の確保及び受け入れ学生人数枠を増やすことが難しい。さらに、3年次の母性看護学実習と4年次の助産学実習が重複すると、教員の指導体制や教員の臨地実習における資質が問われる。⑧-1)総合看護学実習を現在9月に実施しており実習施設も定着してきている状況である。実習施設からは、就職内定学生の受け入れを要望される場合があるが、学生配置の関係上で調整が困難な場合もある。また、看護系大学が多くなり同じような時期に実習期間が配置されていることや学生数の増員による施設の確保に困難をきたす場合がある。⑧-2)早期体験実習を7月末～8月初旬にかけ実施しており実習施設の定着はしてきているが、施設数が多いため打ち合わせ等が煩雑になる。地域看護学実習・早期体験実習・総合看護学実習
【小児看護学実習の課題や問題】非常勤実習指導教員の配置や人数について検討が必要	実習施設が遠方である(母性看護学領域)。
地域看護学:在宅領域だけでなく公衆衛生看護学領域(保健師養成)に関わる内容も含まれるため、その他に記載しました。	③同じ実習病棟で同じ時期に他の学校と実習が重なっている場合がある。④現在の実習施設は遠方のため、近位の医療機関を探しているが見つかって受け入れが厳しい状況がある。他大学の参入で実習受け入れ人数や日程に大幅な制限が加わっている。⑤実習施設が感染症に対して敏感なため、学生に咳嗽や微熱、少しでも下痢があった場合に感染症でないことを確認しなければ実習できない。→出席時間数が不足する場合が生じる。⑥実習期間を3週間続けて確保することの困難。⑦実習先が県下20ヶ所あり施設ごとに細かな決まりごとがあることと複数の施設を1人の教員が受け持つので移動距離が長く、時間がかかる。
総合分野(総合実習及び予防的家庭訪問実習)	公衆衛生看護学領域(選択15名)

総合実習	教育の質向上が必要である。在宅看護分野の経験、臨床経験が浅いため患者のアセスメント力など授業の展開が困難。また大学教育経験がないため教育力が乏しいので教育者として育てるのに時間がかかる。教員として臨床経験は5年必須と考える。
その他※2・・・統合実習	※2：助産師教育課程
<p>●基礎8：急性期病院が実習施設の場合、入退院サイクルが早いため、2週間の実習期間中、同一の受持患者を確保することが難しい。15：施設によっては介護職や看護助手との役割分担を明確に行っている。そのため、看護職のロールモデルをとおして学べる看護技術が少なくなっている。例えば、入浴介助や環境整備は介護職や看護助手が行うことが多く、特に環境整備については、看護職が行うこととは思わない学生もいる。●在宅2、4：在宅保健看護実習は、施設の数が少ないうえに、受入人数が限られている。学生数が2名であると、割とすんなりと受け入れてもらえるが、それ以上だと、厳しいときがある。施設の規模にもよるが。</p>	15基礎：基礎看護学以外の教員の実習量の負担15老年：ケアの拒否、患者からのセクシャルハラスメント(触られるなど)⑧その他：公衆衛生看護学
在宅：実習費が安いいため、実習受け入れを断られることがある	看護基盤学領域、総合看護学領域
<p>その他*1(成人)：入院期間の短縮にともない、学生の受け持ち日数が限られ、看護過程展開が難しい。その他*1(精神)：精神医療、保健、福祉が地域移行にシフトしている中で、就労・訪問等地域での実習を検討する場合、実習場所の確保が困難なことがある。その他*2：総合看護(災害看護学実習、しまの健康実習)</p>	⑧地域
<p>実習指導要員の不足(特に成人看護領域) 大学側から教員数の制限(基準の2倍以内)を言われており、実習助手等の雇用が思うようにできないが、実習場所が遠方の場合が多いため指導体制に苦慮している。</p>	カリキュラム運営における基礎看護実習の実施時期の調整
<p>【基礎】・・・超急性期病院のため、短期間で受け持ち患者が退院し、学生がじっくりと関わることができない。・スタッフが忙しいため、清潔ケアを学生と教員に任される。(看護師さんと一緒に実施できない)・以前に、患者さんによるセクシャル・ハラスメントがあった。(継続的な課題ではない)【小児】・・・少子化に伴い、病院施設に入院されるお子様が少ない時期には、学生全員が2週間(実質7-8日間)同じお子様を受けもたせていただくことは難しく、2、3日のみ受けもたせていただき、外来実習などを経て、実習を組み立てている状況である。</p>	⑥老年：受持ち患者の入院期間の短縮化による学生への影響⑦在宅：実習スケジュール・実習施設の確保が難しい⑧公衆衛生
<p>*1子どもの安全を確保しながら、学生に看護を実践させるためには、マンパワーが必要である。(③)*2 公衆衛生看護学実習</p>	※1：教員、学生に関する個人情報管理等の課題※2：⑧看護実践発展看護学領域
<p>在宅：公共交通機関の乏しい地域に所在している訪問看護事業所の実習では、学生に過度な交通費の負担をかけるを得ない。</p>	実習中のカンファレンスや学習指導を行う部屋の確保が困難である。面談室や処置室を使用する場合もあり、全く使用できる場所がない実習先施設もある。

公衆衛生看護	<p>※成人 → 成人慢性期実習における実習形態(特に場所)の課題があります。成人期にある慢性病者は、就労や役割を持ち生活している人が殆どで、セルフマネジメント支援も教育入院という形から外来支援へと移行している。継続看護を学ぶ上でも外来看護あるいは患者会などの活動の場で実習を行うべきと考える。精神 → 実習施設が、同敷地内になく、特に遠方にある場合には、学内業務と実習指導を並行することが難しくなる。在宅 → 管理者や実習指導者も訪問に出ることが多いため、事前調整や事務上の連絡に時間を要することがある。</p>
看護管理学実習	<p>【基礎】臨床指導者の体制が不十分(臨床指導者の研修に参加しても、業務に追われ、その役割が果たせない 状況にある。受け入れ側の看護師の学生に対する倫理的及び教育的配慮が不十分。(学生に関わる看護師の育てることへの意識の低さ。)、看護師スタッフの学生への対応のまずさ(無視したり学生を傷つけるような言動がみられたり、ハラスメント的な対応がみられることがある。【在宅】実習先及び訪問先が公共交通機関利用が困難(運行本数が少ない)のため、訪問実習はステーションの車に同乗させていただいている。実習施設との密なる連携と事故のない学外での実習の継続が課題である。【地域】⑧・大学側の実習時期の指定(時間割)に従うと、一度に3~6の実習施設に学生を配置することになるが、教員の定数が1名のため、担当教員による実習全体の把握困難が生じている。一部大学の送迎バスを利用しているが、それぞれの実習場で開始時間、終了時間が異なり、外で待機する場所もないために、学生に不便な思いをさせている。公共交通機関がない場所、一日に数本の便数の場所での実習のため、自家用車を使用したい学生もいるが、大学の規則で使用できない(実習場は許可を出している)ことから、実習場と実習生の配置に苦慮する。</p>
公衆衛生看護学実習	<p>母性:特殊領域のため、教員が実習にはりつく必要がある。 在宅:看取りの対応(学生へのフォロー)が難しい</p>
<p>【成人】成人急性期看護学実習において、附属病院での3週間実習で入院・手術・退院までの経過をたどる手術件数が近隣病院(実習施設外)にも増えているため患者数の確保が難しい時もある。【老年】実習施設の確保において、病院やグループホームは問題ないが、介護老人保健施設の確保が困難な状況【在宅】看護情報は個人情報ほとんどであるにもかかわらず、個人情報保護の問題で制限がかなりかかってきており、学生の復習をする資料が手元に残らないなど、学習がしづらい現状があるため、改善が必要である。</p>	<p>成人・基礎領域:病院での実習は、主に周術期、慢性期で悪化した高齢者であり、基礎実習の対象者としてのむずかしさがある。同様の状況から、母性、小児、精神領域以外の実習対象者がほぼ、高齢者であり、いわゆる成人期を対象として実習が組めていない。現在の成人領域の実習は高齢者への入院・治療中の看護で、地域・産業看護(保健師課程)がない大学での発達段階に応じた実習:成人を対象とした実習の課題を感じる。</p>
<p>※1:遠方の施設や交通の便が悪い施設が多いため、学生の安全性の確保や宿泊施設の確保が困難、本学の立地条件の悪さが課題です(①)。実習先の立地場所が実習開始時間に間に合う公共交通機関がないため宿泊や自家用車を利用しての実習となっている(②)。※2:①老年看護学領域、②臨床機能看護学領域</p>	<p>※1 成人:患者から学生へのセクシャルハラスメント</p>
実習先が現在の場所以外にない	<p>※1 実習施設が大学から遠く、公共交通機関が少ないため利用しづらい。車が必要となる。駐車場の問題もある。 ※2-公衆衛生看護学領域(看護課程)</p>

※1②分娩件数の減少とハイリスク妊産褥婦の増加に伴い、学生が受け持ちをできる対象者が限られている※1⑤成人期の対象者が少なく、老年期の患者を受け持つケースが多い※2⑧その他：地域看護学	・遠方のため、宿泊しないといけない。・保育園実習で、教員が中に入ることを許可してもらえず、逐一指導ができない。
マネジメント実習	母性：実習施設のスタッフの中で実習方法の伝達方法がされていない。⑧その他：国際看護学(15.その他【国際看護学実習をこれまで受け入れたことのない病院がほとんどであり、その説明に時間を要する。その反面、実施後の実習現場と学生の両方に高い満足度が見られる】)
※1 新生児を対象とした看護技術については、対象が少ないだけでなく、同意等の問題もあり、限られた実習期間での実践が難しい。※2 地域看護学領域	入院期間の短縮による情報収集や看護展開の難しさ
実習先の距離(遠方)	本学から臨地実習先までの交通手段に負担が少ない実習施設の確保に苦労している。
実習先が多岐にわたるため、教員の巡回や指導の方法・体制について苦慮している。	教員の臨床判断能力・指導能力不足
・全領域のまとめである総合実習	

Q26. 2017年度における貴大学の保健師、助産師および養護教諭の教育課程についてお伺いします。

C. 保健師課程に関わる実習で課題や問題はありますか。

その他—記述内容

実習地が離島など遠方であるため、教員が現地に指導に行くための旅費確保が難しい。	・交通の便の悪い遠隔地も多く、履修学生間で不平等が生じている。 ・実習施設調整に関しては県が関与しているので、特に問題はない。
交通費や宿泊費が実習地によりかなり異なる	産業保健の実習先の確保が難しい、地域包括支援センターにも実習に行っているが謝金が高い(2千円/人/日)、また小さな間違いだと参加できる事業が少ない
産業保健での実習場の確保が困難であること。学生が実習できる家庭訪問事例が限られること。	実習中の宿泊施設の確保。実習施設への移動、実習中の移動など交通の便が悪く、費用の負担が大きい。
学生の費用負担	教員は非常勤助手を含め、ギリギリの数で行っている。施設によって受け入れ期間が決まっており、実習日数の確保に苦慮することがある。
行政機関において個人情報の厳正化により、経験できる事業の制限がある(子どもの虐待のカンファレンスなど)。	県内の看護大学数が多いため、実習が重複しないようにするための時期調に時間がかかる。(調整をしてくださる県担当者の協力体制はよい)
教員不足により3名の教員で公衆衛生看護学と在宅看護学を担当しており、保健師教育の専任教員3人を満たしていないため、厳密には指定規則に違反している。	公衆衛生看護学の専門性を指導できる教員の確保が難しい。
実習5単位では不十分である。実習単位数の増加が必要である。	実習施設が県内全域を対象としていることから、施設までの距離が遠くなる学生もおり、通学時間と交通費の面で学生の負担が大きいこと。また、学生への負担について差が出ないよう配慮している。
保健師教育課程を専攻する学生としない学生の時間割の調整(専攻しない学生のために魅力ある授業科目を設定する必要性を感じている)	遠方施設への宿泊費用、宿泊施設の確保
実習の課題は毎年ありますが、その都度、実習施設との話し合いや教員間のミーティングで課題の整理と対応策を見出しています。そのことが、実習施設の活動の強化に繋がっているように思えますし、教員の力量形成になっています。	実習施設が行政によって決定される(毎年変わる)
看護師免許を有する学生については、もっと家庭訪問を体験させてほしい。	実習期間を4週間は行政で確保して頂けるが、産業保健実習施設が今後継続して頂けるか不安。
保健師経験のある教員の不足	交通の便が悪い実習先が多く、移動に時間を要する。
・看護師の実習と重ならないように保健師課程の実習を配置しているため、保健師課程の実習終了時期が遅くなる。実習を経験せずに就職試験を受けなければならない学生もいる。 ・産休育休と代替教員の確保 ・学生が訪問可能な事例の確保が難しい。 ・保健師としての就職を志望しない学生のモチベーション。 ・学生の待機する部屋の確保が困難な施設がある。 ・事業への参加や家庭訪問時の移動手段の確保。	2018年度 実習未実施
実習市町と保健所の管轄地域が一部異なる。実習先によって、学生の通う時間や交通費に差が出る。	1.行政実習では、政令市、中核市と市区町村で事業の体験に差がある。2.実習地の継続が出来ないために、学生の学習に情報などの積み上げがない。可能ならば5年程度は継続できるとよい。
遠方の実習先への交通費および時間	本学から臨地実習先までの交通手段に負担が少ない実習施設の確保に苦労している。
産業保健、学校保健の実施施設の確保困難のため、実習がうすい:	開学2年目であり、実習をおこなっていないので、1とした

<p>・保健師選択を希望する学生は20人以上いるが、県の受け入れ人数制限があり、選抜からまれると他校に進学せざるを得ない。・少子化で、年々母子保健に関する家庭訪問や健診事業に実習期間では経験しにくくなっている。</p>	<p>選抜試験の方法についてが検討課題であった。</p>
<p>行政看護実習では、実習施設により体験できる内容に差があること。</p>	

Q26. 2017年度における貴大学の保健師、助産師および養護教諭の教育課程についてお伺いします。

F. 助産師課程に関わる実習で課題や問題はありますか。

その他—記述内容

<p>今は何とか実習時間の制限がある中(日勤帯)で10例の介助ができていますが、出産数の減少に伴い分娩介助10例を満たすためには実習期間の延長を得ない状況になることが予測される。</p>	<p>実習施設(病院)の分娩数の増減によって、変更を強いられる場合がある。このような場合は、教員が探してその確保にあてられている。附属病院のない看護学部を県が設置したのであるから、実習施設の確保に県の協力があっても良いと思う。</p>
<p>助産所実習において宿泊実習を行っているが、県外から他校(母性看護学実習や助産学実習)が実習に来ているため、調整が大変である。助産師課程と本校の母性看護学実習の時期が重なる場合の調整。</p>	<p>担当教員は、夏季休暇や土日出勤したときの代休を取ることができない。それは、実習施設側が実習を行う条件として教員の引率を条件としており、その条件が改善されないため。</p>
<p>優秀な学生が受験しないため、学力やモチベーションの低い学生を入学させざるを得ない。しかし、大学院に移行させる理由もない。教員の教育力の問題・・・</p>	<p>10人の分娩介助の確保のためによる実習期間延長</p>
<p>実習謝金が高額であり教育への影響が大きい</p>	<p>・夜間実習に関する課題(開始時期、宿泊施設、交通機関等) ・他校との実習に関する課題(実習の進め方等)</p>
<p>助産師教育で養成する学生が限られていることによる効率性の悪さが問題となっている。</p>	<p>学生が介助可能なローリスクの分娩が年々減少しハイリスク化している。</p>
<p>分娩期に発生する異常症状への早急な対応と学生へのフォロー</p>	<p>分娩が常に一定あるわけではなく、受け持ちできる産婦がないことがある。実習場の確保が難しい、他の教育機関との日程調整に多大な労力を要する実習指導者と教員の役割の不明確さ(教育課程の教員が実習で現場に張り付いている必要性がない状況でも、教員の存在が求められる)</p>
<p>分娩介助件数によっては実習期間の延長が必要となる</p>	<p>分娩介助10例がやっと達成できている。実習施設の分娩件数が少ない。実習期間確保も難しい。</p>
<p>修士課程で除算し教育課程を持っており、定員は決まっていない</p>	<p>対象者からの受持ち承諾がとれない。</p>
<p>14施設を開拓して実習を実施しているが、教員削減が計画されていることから、実習指導にまわる教員が不足している。また、広域にわたる実習のため、教員の施設移動時の安全(公用車運転で長距離移動等)について課題がある。</p>	<p>実習施設が遠方のため、学生の交通費や教員の通勤時間など負担が大きい。</p>
<p>・近隣の助産師養成施設(3校)との実習期間等の調整・実習施設の新人教育との兼ね合いで分娩介助に制限がかかることが多い。</p>	<p>夜間に分娩が多いが、分娩介助指導が出来るスタッフがないため、夕方以降の実習が出来ない。</p>
<p>分娩期ケア実習に対して産婦および家族から同意を得ることが困難になっている。「資格のない人に分娩を介助に関わってほしくない」とはっきり意思表示される場合もある。身体的ローリスクの病院でも、心理社会的ハイリスクの方が増え、受け持ち妊産婦の選定が困難になっている。</p>	<p>実習施設が同時期に複数の大学を相乗りさせているため、分娩獲得がさらに厳しい状況になっている。複数大学の受諾は病院の判断になるのは致し方ないが、新設校がこれほどなのかという参入をしてるので頭が痛い。ある意味、保健師課程の実習のように、行政レベルで一元化して実習受け入れの調整を担ってほしいと考える。</p>
<p>教育課程の課題として、看護学履修に関する必修科目が増え、選択科目である助産学のスケジュールが確保できず、春季、夏季休暇に集中講義を入れて対応している状況で、学生および教員ともにタイトである。</p>	<p>遠方施設への宿泊費用、宿泊施設の確保</p>

<p>修士課程における助産師課程であるため、指定規則に基づく助産師教育と修士号取得に向けた研究の両方を2年間で修めるには、講義スケジュールが過密である。また、看護教育における看護技術習得状況が低い。その状況の中、助産学実習と研究遂行それぞれに対して十分な時間をもって取り組めないことに、ジレンマを感じたり、精神的に余裕がなくなっていく学生が存在している。</p>	<p>母助教員は6名であるが、3年次の母性看護学実習と重複する時は非常勤助産師の確保が必要である。少子化で、1週間の限られた曜日・時間帯での実習は安全確保のためには必須であるが、直接介助10例程度を達成するのに非常に苦心している。さらに本学は助産院で継続事例を受持ち、分娩介助・妊娠期から1か月健診までの継続的な健康教育について学ばせている。その点はとても良いことであるが、助産院での受持ちの分娩日により学生の学習終了時期が様々であり、そのことが看護師・助産師国家試験対策に影響はしないか危惧がある。継続事例の分娩日の選定は今後も課題である。</p>
<p>実習施設が足りないため、選択できる学生数を1～2名減らしている。</p>	<p>2017年度は助産師課程対象の学生はいない(2018年度より対象学生あり)。</p>

Q26. 2017年度における貴大学の保健師、助産師および養護教諭の教育課程についてお伺いします。

1. 養護教諭1種の教育課程に関わる実習で課題や問題がありますか。

その他—記述内容

学部(保健学科)、大学院(保健学専攻)としてではなく、総合大学としての教職課程があり、養護教諭を希望する学生は主体的に自己管理のもと履修する。よって定員などはない。実態として毎年十数名が履修している。	就職が困難 採用試験対策の時間の確保
養護教諭1種については、保健学類(看護)ではなく学校教育学類(教育学部)の養護教諭特別科で養護教諭1種を取得できるため、上記課題等について不明	現在4年生で実習に行っているが、看護学実習との日程調整が難しい
採用人数が減少傾向にあるため、免許取得後の進路保証が困難	定員数は決まっていない。
2017年度まで養護教諭1種の教育課程を実施していたが、2つのキャンパスの移動が困難であること、時間割上必修科目を優先せざるを得ない状況の中で養護教諭の授業科目を組み入れることに困難を生じたことなど、様々な事情から、課程を取り下げた。	実習時期は5月～6月が望ましいが看護臨地実習のため9月実施になること。また、9月実施の場合、学校(または教育委員会)の都合で実習受け入れを断られることがあること。
看護師や保健師課程と重なるため、カリキュラムが過密になる。養護教諭課程の専任教員がいないこと。	看護学がメインのカリキュラムであるため、教職としての学びが乏しいという課題がある。それゆえに、唯一の学校現場での実習である教育実習は充実したものであるよう実習校の選定は毎年苦慮している。
・母校実習であるが、4年次夏休み(8月下旬～9月中旬)までの日程確保・調整が難しい。・教員採用試験前に実習を行いたい、カリキュラム上難しい。	本学科の養護教諭育成は、「看護師の資格を持った養護教諭」の養成であるため、看護の学びとしての臨床実習を含めた多くのカリキュラムをこなすことに重点が置かれ、養護教諭としての学びの時間を確保することが難しくなっている。
看護学実習において熱心に取り組むことができない養護教諭志望学生がいる。そのため、看護系教員が養護教諭志望学生全体を否定的にみることがある。	養護の専門性が高い教員の確保
教育現場ではあくまでも教員を志望する学生を受け入れたと考えているが、大学では免許取得を目指しており実習校には負担となる。	養護教諭免許状のみ(採用試験を受けない)を希望している学生に対して、実習校から指導を頂くことがあります。
読み替え科目が多く、養護教諭に特化した力量を高めることが難しい。	教育実習と他の授業が重なる可能性があり、時間割や大学行事などの調整が難しい。教育実習の実施時期は事前に関係各所との調整が大切となっている。
看護に関する科目との実施時期の調整	カリキュラム編成上、看護専門科目との調整(時間および日程調整含む)

Q29. 2017年度の看護系の学部・学科、大学院の学内研究費についてお伺いします。

その他—記述内容

教育研究基盤校費(大学院生分)	学内研究助成があり、各研究者に公募し、採択されれば個人研究とは別に配分する。
職責に応じて研究費の配分率を決定しておらず、職責毎の一人あたりの平均金額を回答することができません。当該数値は、毎年講座毎に教育費、研究経費を一定割合で配分しており、平成29年度の研究経費執行額を現員数で割り崩した金額となります。	大学院の教員については別途200,000円追加している。
研究室の人数により配分額が決定しており(職名による違いなし)、1人講座 660,000円、2人講座 810,000円、3人講座 960,000円、4人以上所属講座 1人当たり290,000円。これに次が加算される。個人の科研費申請件数により配分する経費あり。博士課程前期学生一人につき 67,000円、博士課程後期学生一人につき156,000円、上記学生の留学生一人につき 30,000円加算、研究生一人につき1月あたり1,300円加算があります。	個々に金額を定めている。
国立高度専門医療研究センターの臨床教員	特別専任教員の額
全学で1人600,000円と定められているが、毎年度学部内で職位に応じて傾斜配分をしている。	教授の内、非実験系の教授については400,000円となります。
大学院博士後期課程の院生研究費(ただし、博士前期課程は120,000円、博士前期課程長期在学コースは80,000円)	看護学部の共同研究費として採択件数、研究内容などにより配分する。最大200万円。
その他学長が特に認める者	学部生及び院生の研究補助費として、次のとおり支給している。博士課程1人につき10万円、修士課程1人につき5万円若しくは2万円(コースにより異なる。)、学部生は1グループ2万円。
非常勤助手・臨時助手は調整費として1人あたり60,000円(旅費を含む)を配分している	特任教員(教授、准教授、講師、助教)
特任教授については、週当たりの勤務日数により学内研究費を配分しています。1,160,000円(週4回)、870,000円(週3回)。	職位に応じて研究費が決まっていない。
特任教授	学長裁量経費(特別配分金)
上限25万の傾斜配分あり	学科共通研究費から助手に研究費1人100,000円を支出している。
学内独自の競争的資金	大学院研究論文指導教員は、院生1人当たり80,000円、大学院研究論文指導補助教員は、院生1人当たり30,000円を支給する。
看護教育研修センター(認定看護師教育課程の教員)	65歳(定年)以上の特約教授
専任教員に一律配分、別途学内競争的資金あり。	嘱託講師
教育講師	学部共同研究費年間3,000,000円
研究課題ごとに設定	助手については、学部独自で配賦している。
特任教育教授	学部共同研究費年間2,000,000円
特任教授:252,000円、専任教員:124,000円	学長重点配分経費2,000,000円、共同研究費 2,000,000円

Q35. 本調査に関するご意見、ご要望がありましたらご記入ください。
記述内容
<p>13-Q27-A 別途徴収額ですが、助産師選択者は年度により違いがあります。</p> <p>13-Q30-B 初期体験実習は一人1日1,080円×20人</p> <p>13-Q32-B ※別途 指導料 1例につき80,000円 14例有り112,000円の支払い</p> <p>5-Q18-B 看護論(セルフケア理論)と看護論演習の2件もあります。</p>
<p>Q34、35は、日数でなく時間数のため、計算できませんでした。</p>
<p>Q24 Bにつきましては、大学が非公表としているため、回答なしとさせていただきます。</p>
<p>・Q24のB及びCについて、本学では、懲戒処分については公表しておりますが、その他は公表しておりませんので回答いたしかねます。</p>
<p>Q.18-B「看護職向けの公開講座のテーマ」の記入欄に入りきらなかった分を追記します。</p> <p>①第2回家族看護学研究セミナー「家族間の暴力に看護師はどう関わるか」</p> <p>②QOL研究センター主催セミナー「臨床試験プロトコル治療における看護師の役割～子どもたちのQOLを高めるために～」</p> <p>③新生児の皮膚トラブルとその後のアレルギー発症に関する研究の動向</p> <p>④小児皮膚の基礎</p> <p>⑤ピアサポート専門員養成研修 3回</p> <p>⑥Long-term Care Quality 研究会(事例研究セミナー・研究発表)</p>
<p>Q19. B.全学主催のSD追加回答</p> <p>⑬平成29年度鳥取大学メンタルヘルスマネジメント研修</p> <p>⑭平成29年度鳥取大学労務管理及び障害者差別解消法に関する研修会</p> <p>⑮平成29年度鳥取大学事務系新採用職員フォローアップ研修</p> <p>⑯平成29年度鳥取大学ハラスメント防止研修会</p> <p>⑰平成29年度鳥取大学新任管理者研修</p> <p>⑱平成29年度事務系新規採用職員情報セキュリティ研修 2回</p> <p>⑲情報セキュリティ対策等自己点検(事務・技術)</p> <p>⑳平成29年度情報セキュリティ研修会(一般向け)?個人情報保護研修会(管理者向け)?特定個人情報保護研修会</p> <p>看護教育の質を担保する為にどの程度の教員数が適性とされるのか示していただきたい。昔のままの規則で最低限数表示ではなく、現在の必要数を早急に提示いただきたい。</p> <p>本学看護学専攻(看護師養成課程)および大学院修士課程公衆衛生科目群(保健師養成課程)、助産学科目群(助産師養成課程)は文部科学省の指定を受けており、指定規則に従うものである。実習で使用する施設は事前に文部科学省に登録することとなっており、登録施設に設置者の変更や移転が生じる際は、設置者変更日・移転日より3ヶ月以上前に文部科学省に申請しなければならず、実習施設から報告を受けなければ対処できない状況である。事前に実習施設の変更予定の把握をすることは非常に難しく、相手先施設にも負担をかけることから、他の指定養成校ではどのように管理されているのか、情報を共有できればありがたい。</p> <p>Q19A (枠未記載分)</p> <p>求められる学習支援を考える, 英文Eメールライティング研修～フォーマット編, 英文Eメールライティング研修～表現編</p> <p>英語コミュニケーション研修～リスニング編, 英語コミュニケーション研修～スピーキング編,</p> <p>アクティブラーニング導入ワークショップ, ルーブリック評価入門ワークショップ, 英語プレゼンテーション研修(中級編)</p> <p>アカデミック・ライティング研修(中級編), ワークショップ「FD・SD研修マネジメント」</p> <p>ワークショップ「改めて教育の質保証を検討する」</p>
<p>Q34 「年間総勤務日数」を算出することが困難であることから、便宜上、「年間総勤務時間数」として記載しております。</p>
<p>教員対象のアンケートと学生対象アンケートが混在していてわかりづらく感じました 年々質問数が増え回答に時間がかかります。質問を整理して少なくしていただくよう希望します。 Q26研究予算について、実際に使用できる予算も回答を得た方がよい。Q26に記入された金額から、光熱費、共通経費(〇〇協議会経費等)を引かれ、実際に使用できるのは半分以下です。</p>

【Q14】研究コースと専門看護師課程の入学定員は、合わせて10人である。
【Q27】A,Bともに、県内在住者の入学金は282,000円である。
【Q31-B】実習委託料は、1週間あたりの金額である。

Q14について、入学定員におけるコースごとの定員はないため、まとめて研究コースに記入し、専門看護師教育課程の定員は空欄とし、志望者、入学した人数はそれぞれのコースに記入しました。

5.公開講座について B看護職者等の専門職向け講座（13～48）

- 13.家族の意思決定支援
- 14.病状に揺らぐ家族への支援
- 15.看護職・介護職のための腰痛予防推進リーダー研修
- 16.在宅看護専門看護師に学ぶ退院支援
- 17.課題解決に向けた実施と評価
- 18.地域連携の実際－訪問看護の立場から
- 19.地域連携の実際？急性期病院の立場から
- 20.子ども虐待における看護職の役割と病院での虐待予防に向けた取り組み
- 21.アタッチメントの基本的知識とアタッチメントに着目した親子へのかかわり
- 22.アタッチメントに焦点をあてた養育困難な親子へのかかわり
- 23.第1回 身近なロールモデルから学ぶ退院支援の仕組みと連携
- 24.NICUに置ける母乳育児支援
- 25.看護の実践知を見える化する事例研究とは
- 26.病院と生活の場をつなぐ地域包括ケアを充実するための秘策
- 27.家族看護の計画立案
- 28.認知症を有する在宅療養者の健康管理とケア
- 29.呼吸器疾患を有する在宅療養者の疾患管理とケア
- 30.摂食嚥下障害を有する在宅療養者へのケア
- 31.教育指導のためのスキル
- 32.在宅で死を迎える顔料容赦と家族のケア
- 33.在宅における臨床判断の基礎
- 34.在宅でのがんの専門的な治療を継続する療養者と家族のケア
- 35.在宅での神経難病の治療を継続する療養者と家族のケア
- 36.在宅で療養する小児と家族へのケア
- 37.在宅における臨床判断の実際
- 38.在宅における補完代替療法
- 39.糖尿病を有する在宅療養者の疾患管理とケア
- 40.フィジカルアセスメントと急変時の対応
- 41.褥瘡・浮腫等の皮膚の病態を有する在宅療養者の管理とケア
- 42.ホスピスケアにおける家族ケア
- 43.発展途上国におけるトランジショナルケア：世界で数千万人の命を助ける仕事
- 44.トランジショナルケアと循環器看護実践
- 45.がん患者の抱えるトータルペイント看護
- 46.CNSとともに地域包括ケアに生かす連携を探る
- 47.信頼される訪問看護ステーション 経営のあるべき姿を目指して
- 48.機能強化への取組実際 1
- 49.機能強化への取組実際 2

追加情報

Q27 大学入学金 県内188,000円 県外282,000円 大学院入学金も同様
Q32 B. 1人1年1万円 という契約の病院あり

初年度学納金について

入学料 県外在住者564,000円、県内在住者282,000円。入学料、授業料は学部・大学院とも同額である。

経費については大学本部の了解が必要となりますので記載を見送らせていただきましたことご了承ください。

Q27のA及びBの設問について、入学料は県内居住者と県外居住者で異なります。(211,500円(県内居住者)、423,000円(県外居住者))

Q28は看護学科の授業料減免額の実績を記載しています。(入学料減免は実績なし)

●Q28 について(補足)

学部・学科の奨学金はなく、大学院生対象の奨学金は以下のとおり。

①給付型 年180万円

②給付型 年26万円

ただし、いずれも看護科学域に限っておらず、該当者なしの場合もあり。

●Q34 について

2017年度は該当はないものの、RAの給与形態は月給ですので、解答欄の作成をお願いします。

Q27.Aで回答した入学金は、県外生の金額であり、県内生は282,000円です。

Q14補足

入学定員 研究コースと専門看護師課程(CNS)を合わせて15人

Q27補足

A大学入学金 県内者188,000円、県外者376,000円

B研究コース・専門看護師過程(CNS)入学金 本学卒業生94,000円、本学卒業生以外の県内者188,000円、本学卒業生以外の県外者376,000円

※県内者とは、「入学の日の1年前から引き続き三重県内に住所を有する者」もしくは、「入学の日の1年前から引き続き三重県内に配偶者又は1親等の親族が住所を有する者」

※県外者とは、県内者以外の者

年々項目数が多くなり、記載が大変です。

[Q19. C.]

FD特別講演会(3件)のテーマ

- ・滋賀医科大学医学部看護学科と看護部とのユニフィケーションの実際
- ・病院と大学が協働して取り組む看護師のキャリア開発
- ・「ナイチンゲールを泣かせないで」臨床研究の進め方

[Q27. A.]

注)大学(学部)の入学金について、県内生は282,000円

・Q27-A 別科助産学専攻の学納金について「専攻科助産師」の欄へ記入しています。

・Q32 別科助産学専攻について記入しています。

Q27「A」の学納金については、「その他」に父母会の委託徴収金80,000円を含む。

Q30「C」, 「F」, Q31「C」については、父母会からの補助。

Q24-B,Cについては発生の有無や内容については公表しないこととしている。

Q27-A 学納金の実験・実習費について、保健師を選択しない場合は4年次のみ年間240,000円になる。

質問12-Q26-H 養護教諭1種の定員数について、定員は設けておりませんので、定員の「95」と回答しております。ただし、4回生時に、保健師・助産師課程の実習と重なる可能性が高いため、3回生時で保健師・助産師課程を選択した学生について、養護実習には参加できなくなります。

大学における看護教育を概観するうえで、専門科目の単位数などを調査するとよいと考える。

本学には4つのキャンパスに看護学科がありますが、この調査には保健医療学部看護学科(大田原キャンパス)分と、大学院分を回答しています。

Q20-E 大学院では、CAP制度は導入していない。

Q30-B 1日あたりの実習委託料の最低額は、謝金不要と申し出をいただいており支払いをしていない場合。支払った額の最低額は540円/日。

Q31-B 1日当たり1人分の実習委託料(市区町村)の最低額は、謝金不要と申し出をいただいており支払いをしていない場合。支払った額の最低額は540円/日(一律540円/日のため最高額も540円/日)。

Q30 -C: 看護師の資格取得に係る実習の内、本学グループ病院での実習では看護師寮を提供している。大学院分は本学の他キャンパスで集約し回答しているため、小田原保健医療学部では計上していない。

Q24については、発生の有無や内容については公表しないこととしている。

<p>【Q18.B 看護職者等への専門職向け講座の続き】</p> <p>⑬質的研究実践講座</p> <p>⑭ノリフトケアコーディネーター養成講座</p> <p>⑮認知症看護スキルアップセミナー</p> <p>⑯きらきら訪問ナース育成者養成講座</p> <p>⑰オーダーメイドで学ぶ訪問看護</p> <p>⑱認知症看護対応力向上研修</p>
<p>Q17に関しまして、申請時は他大学、採択時は弊学という新規件数が2件あります為、数値が多くなっておりま す。宜しく願い申し上げます。</p>
<p>【補足】</p> <p>Q24-G:利益相反に関する金銭的情報についての該当有無に関わらず、報告させている。</p> <p>Q27:大学院に進学する学内出身者に対して、入学金を免除しています。</p>
<p>・Q27-A学納金について、預り金は除く。保健師選択者は3年秋学期、4年春学期に30,000円ずつ徴収。</p> <p>・Q27-Bについて、内訳が他大卒:300,000円、735,000円、200,000円、211,000円、合計:1,446,000円、本学卒: 150,000円、735,000円、0円、211,000円、合計:1,096,000円となる(預り金除く)</p> <p>・Q30-A、Q30-D、Q31-A※2について、実習は不定期実施となり、日程管理をしていないため、勤務総時間数で の提出とした。</p> <p>・Q31-Bについて、該当欄がなかったため、こちらに記載(Q31-Aは実習施設数が4つに分類されているのに対 し、Q31-Bでは3つしか分類されておらず、その他の欄がないため)。その他(産業保健師実習分):最低最高額 1,500円/年間支払総額261,000円</p> <p>・本調査に関する意見、要望:国の施策への反映させる基礎資料にしていきたい。</p>
<p>Q23B フィリピン1、韓国1、ラオス1、イギリス1、スペイン1</p>
<p>Q24については、発生の有無や内容については公表しないこととしている。</p>
<p>・Q19-B. 全学主催のSD「公開講座の追加分」</p> <p>⑬新たな知識と力で人と組織を変えるレゴ・シリアスプレイ</p> <p>⑭あなたの仕事がサクサク進む!「段取り力」向上セミナー</p> <p>⑮PCスキル・マナー等</p> <p>・Q24について、発生の有無や内容については公表しないこととしている。</p>
<p>Q24については、発生の有無や内容について、公表しないこととしている。</p> <p>Q26-Hの学部の定員数について、定員を設定していないため、記入していない。</p>
<p>11.大学と実習施設等の教育連携について</p> <p>設問I.看護系課程に関わる臨地実習について課題や問題はありますか。 の設問箇所で入りきれなかった部分を以下、記載いたします。</p> <p>【15.その他の課題(自由記述 欄)】</p> <p>・小児 同じ実習病棟で同じ時期に他の学校と実習が重なっている場合がある。</p> <p>・精神 現在の実習施設は遠方のため、近位の医療機関を探しているが見つかって受け入れが厳しい状況がある。 他大学の参入で実習受け入れ人数や日程に大幅な制限が加わっている。</p> <p>・成人 実習施設が感染症に対して敏感なため、学生に咳嗽や微熱、少しでも下痢があった場合に感染症でないことを 確認しなければ実習できない。→出席時間数が不足する場合が生じる。</p> <p>・老年 実習期間を3週間続けて確保することの困難。</p> <p>・在宅 実習先が県下20ヶ所あり施設ごとに細かな決まりごとがあることと複数の施設を1人の教員が受け持つので移 動距離が長く、時間がかかる。</p>
<p>特になし</p>

<p>Q14の設問について、本学は大学院修士課程・博士前期課程の入学定員は8名なのですが、入学時のコース内訳がありません。</p> <p>頂きましたご回答の指示により、定員は研究コースに8名と記入し、専門看護師コースの定員は空欄のうえで、昨年度専門看護師コース志望者数・入学者数のみを記載しました。次年度以降も同様の設問を載せられる場合は、コース内訳が無い場合の回答方法を設問下の注釈に記載いただきたいです。何卒、よろしくお願い申し上げます。</p>
<p>Q30.Bは、時間給の平均値で記載しております。</p>
<p>①本学大学院生修士課程の学生をTAとして採用しているが、授業担当科目のコマ数単位での採用としているため、Q34については当該項目の日給・時給のいずれにも該当しません。</p> <p>そのため、当該項目に内容が無い場合として、無記入で回答いたします。</p> <p>②本調査が何の役に立っているのかが分からない。回答内容は一部を除き、ホームページ等に公開しているものが多い。受験生が進学先を検討する等のデータベースになるならまだしも、協議会のホームページ刊行物に掲載されるだけでは、調査回答しても意味がなく利用価値は低い。業務の効率化を進めている中で、微細な設問が多いこのような調査に回答することは、大きな手間となっている。働き方改革関連法が2019年4月から順次施行されるにあたり、労働時間法制の見直しが迫られる中、慣例的に調査を継続する必要性を再考いただきたい。</p>
<p>提出が遅れて申し訳ありません。現時点で可能な限り回答致しました。ご容赦ください。</p>
<p>Q24について、発生の有無や内容については公表しないこととしている。</p> <p>Q28について、「附属病院等」欄の金額は、「教育後援会」の奨学金を記載している。</p> <p>※該当項目がないための対応。</p>
<p><Q23-B続き></p> <p>4大学: イギリス・カナダ・スペイン・ベトナム</p> <p>3大学: アルゼンチン・インドネシア・タイ・フランス・</p> <p>2大学: イタリア・エジプト・オーストラリア・ケニア・シンガポール・ネパール・ペルー・メキシコ・中国(香港)</p> <p>1大学: アルメニア・イスラエル・ウクライナ・ウズベキスタン・エチオピア・オーストリア・ガーナ・カンボジア・キューバ・キルギス・ザンビア共和国・スリランカ・セネガル・タンザニア・デンマーク・ドイツ・ドミニカ・トルコ・ニュージーランド・パプアニューギニア・パラグアイ・ブルガリア・ブルネイ・ポリビア・マケドニア・ミャンマー・モロッコ・モンゴル・ラオス・リトアニア・中国(マカオ)・南アフリカ</p> <p><2016調査修正></p> <p>Q14入学状況:(志願者数)計529→502・男58→60・女471→442(入学者数)計92→83・男10→11・女82→72</p>
<p>【補足】</p> <p>Q24-G: 利益相反に関する金銭的情報についての該当有無に関わらず、報告させている。</p> <p>Q27: 専攻科助産師の欄に助産別科の納付金を記入しています。</p> <p>Q27: 助産別科に進学する学内出身者に対して、入学金を免除しています。</p>
<p>本学は平成27年度に開学した大学のため、卒業生数党が空欄となっております。何卒ご了承くださいませよう、お願いいたします。</p> <p>Q28の奨学金についてはグループ医療法人の奨学金のため、未記入としております。</p>
<p>学部は新規開設後の学年進行途中のため、2017年度に実施した臨地実習は半期分のみでした。よって半期分の回答記述になっています。</p>
<p>開学2年目を迎え(2017年)、在学生も2学年次生までであり、実習も基礎看護学領域以外は実施していない。また教員も、開学年次までに着任する予定であり、現時点では着任していないので教員数が少ない。</p>
<p>本学は、平成29年度に開学のため、現在の所、臨地実習がありません。</p>
<p>本学において完成年度を迎えておらず、2017年度では1年生しか在籍しておりませんので、回答内容が少なくなっておりますことをお知らせいたします。</p>
<p>・Q24については、発生の有無や内容については公表しないこととしております。</p> <p>・本学部は平成29年度(2017年度)開設であり、調査対象年度は1学年のみの開講となるため、未開講である保健師養成課程・助産師養成課程、領域別実習、卒業生に係る質問に関しては「0」、「なし」又は未回答とさせていただきます。</p>
<p>本学は2017年度開設の大学につき、保健師教育課程は3年次【2019年度開講】(2年次に選抜あり)</p>

調査票の提出が遅れましたことをお詫び申し上げます。
2017年5月現在、または2017年度につきましては、開設年度のため、ご質問のほとんどにお答えすることができません。
十分なお答えができず申し訳ありません。
今後ともよろしくお願い致します。

2018年度開設の学部であり、設問が2017年度を対象にしていることから、多くの設問に回答できませんでした。